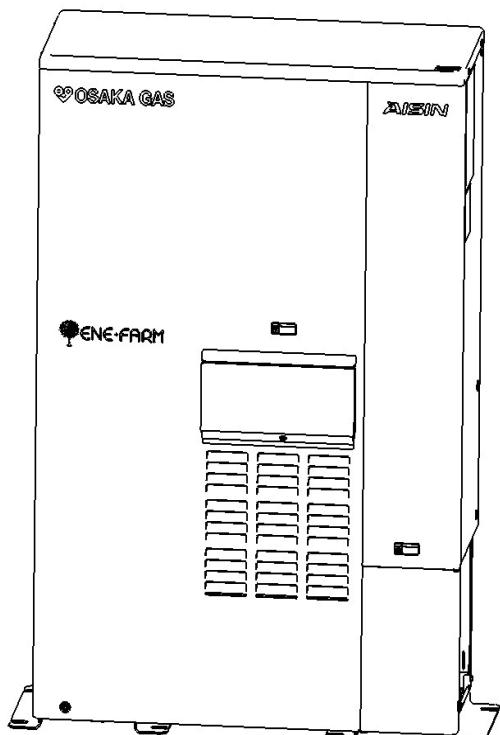


商品コード	型式	ガスの種類
192-AS05 (自立運転機能付き)	FCCS07B1NJ	都市ガス13A
	FCCS07B1PJ	LPG
192-AS06 (標準モデル)	FCCS07B1N	都市ガス13A
	FCCS07B1P	LPG



大阪ガス

取扱説明書（保証書付）

目次

特長	1	ご使用の前に
仕様について	3	
安全に正しくお使いいただくために必ず守ってください	4	
ラベルの貼付け位置と記載内容	11	
各部のなまえとはたらき	12	
ご使用方法	13	運転について
・リモコンの操作説明	13	
・基本操作の説明	15	
・ご使用前の確認・準備	23	
・運転・停止について	24	
・停電のときは	25	にお手入れ
・暗証番号	26	
お手入れと周囲の確認	28	
点検について	28	
停電時にお湯を使う（災害時などに貯湯タンクからお湯を取り出す）	29	
停電時に電気とお湯を使う	30	停電時
1. 停電前に	32	
2. 停電時の対応	33	
故障・異常かな?と思ったら	38	
エラー表示について	40	
エラー発生時の処置方法について	42	自立運転機能
長期間使用しない場合	45	
外形図	49	
アフターサービスと保証について	50	
大阪ガス製エネファームフルメンテナンスサポートサービスのご案内	51	
保証書	56	ください

このたびは大阪ガスのエネファームtypeS燃料電池発電ユニットをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございました。

保証書とともに、この「取扱説明書」を大切に保管してください。

ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。

● この取扱説明書での機器の呼びかた

- ・燃料電池発電ユニットを発電ユニット、燃料電池発電ユニットと熱源機を合わせたシステムをエネファームと呼びます。
- ・セット構成用台所リモコンを台所リモコン、セット構成用浴室リモコンを浴室リモコンと呼びます。
- ・後付構成用発電連係リモコンを発電リモコンと呼びます。
- ・ガスマーティー（マイコンマーティー）をガスマイコンマーティーと呼びます。

● 安全についての注意事項を記載しておりますので、必ずお守りください。

● お読みになった後、いつでも見られるところに必ず保管してください。

また、お使いになる方が変わる場合は、必ずこの取扱説明書をお渡しください。

保証書は、お買い上げの販売店よりお受け取りになり、大切に保管してください。

● 別冊の熱源機の取扱説明書とあわせてご覧ください。

● 取扱説明書を紛失された場合は、大阪ガスにご連絡ください。

● 製品改良により、本体・仕様などが説明書の内容と異なる場合がございますので、

あらかじめご了承ください。

特長

この機器は専用の熱源機と組み合わせて使用することで、電気および熱を供給します。

- ★ 発電ユニットから発生する排熱は、約30℃以下の水として熱源機に供給され、熱源機にて設定温度に調整されて、給湯栓に供給されます。
- ★ 発電ユニットで作られた電気は、家庭内（照明、テレビなど）で使用できます。
発電ユニットで作られた電気を優先的に使用し、不足分は電力会社から供給される電気を使用します。
- ★ 異常がある場合、リモコンにエラーを表示し、お知らせします。
- ★ 発電ユニットの操作は、「セット構成」の場合は、熱源機の台所リモコンおよび浴室リモコンより行い、「後付構成」の場合は、専用の発電リモコンより操作を行います。
- ★ 断水時や地震など万一の災害時には、貯湯タンクのお湯（水）を生活用水として利用できます。但し、自立運転機能付きの場合は、断水時でも発電を続けますので、貯湯タンク内の水を使用する場合は、停止していることを確認してください。

自立運転機能付きをお使いのお客さまへ

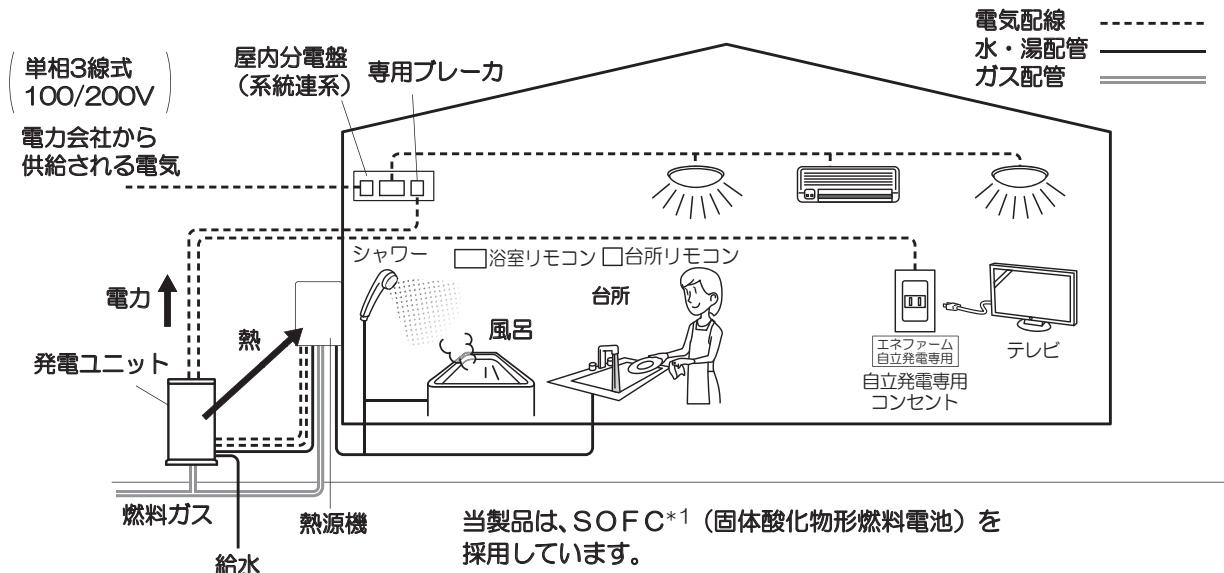
- ★ 停電した場合でも発電ユニットが発電中であれば、発電ユニットは発電を続けますので、発電した電気と熱源機内のお湯を使うことができます。<自立運転機能>
 - ※ 発電ユニットが発電を停止しているときに停電した場合は、発電することができません。また、地震等の災害などでガスの供給が停止している場合にも、発電することができません。
- ★ 自立運転機能で使用できる電気の量は約700Wです。
 - ※ 热源機で使用する電気の量を含みます。実際にご使用できる電気の量は700Wよりも、少なくなります。
- ★ 自立運転時は自動的に自立運転専用のコンセントに電気が供給されます。
- ※ 自立運転専用コンセントには「エネファームtype S 停電時自立発電専用」と表示されています。
- ※ 自立運転専用コンセントは停電しているときだけ、お使いください。なお、停電が復旧すると自動的に自立運転専用コンセントへの電気の供給は止まりますので、ご注意ください。
- ※ **自立運転機能の詳細は30～37ページをご覧ください。**

逆潮流ありの設定を選択されたお客様へ

- ★ 逆潮流に関してのご説明
 - ・ 逆潮流とは、発電ユニットにて発電された電力を電力系統を介して取引等を実施するものです。
 - ・ 逆潮流を実施する場合、大阪ガスまたは発電ユニットからの電力の買い取りを行う事業者さまへの申込みが必要となります。
- ★ 逆潮流ありの場合、発電ユニットはお客様の使用電力以上で発電運転（最大700W）を実施し、余剰となった電力は、大阪ガスまたは発電ユニットからの電力を買い取りを実施する事業者さまが買い取ります。
- ★ 逆潮流有無はご購入時にお客さまに選択して頂き、施工業者が設定致します。お客様ご自身で設定変更はできませんのでご了承ください。設定変更をご希望されるお客様は大阪ガスまでご相談ください。
- ★ 詳細は大阪ガスホームページ等をご覧ください。
- ★ 逆潮流のリモコン表示に関してはリモコンの取扱説明書をご覧ください。

特長

セット構成かつ自立運転機能付きの場合
※発電ユニットは台所リモコンおよび浴室リモコンで操作します。

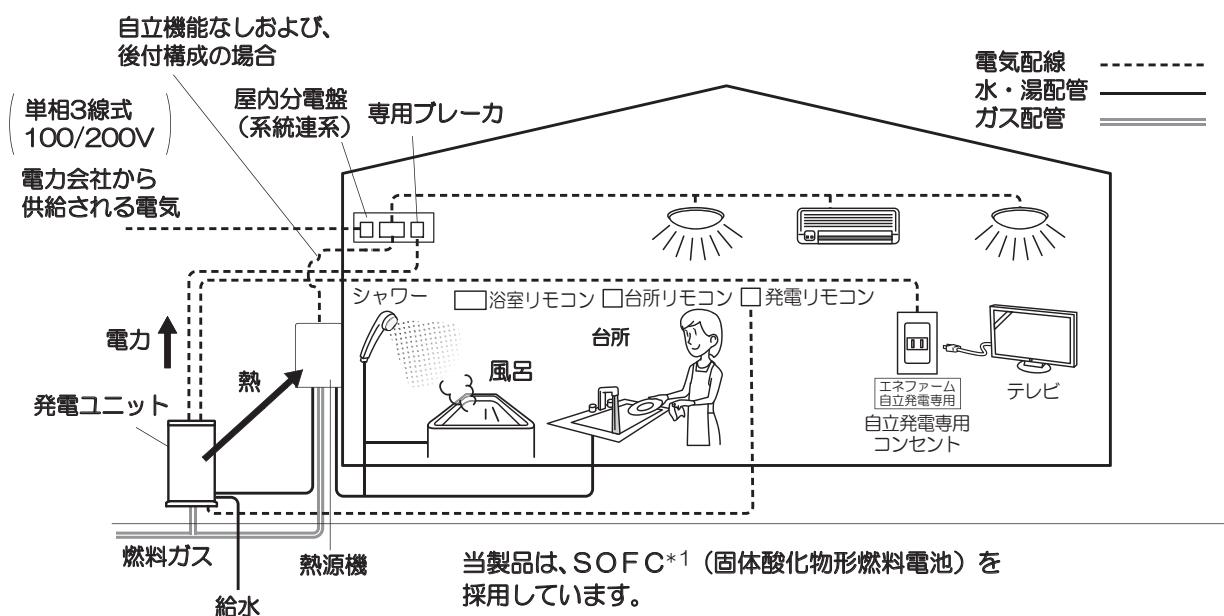


後付構成（自立運転機能付き、なし）またはセット構成自立運転機能なしの場合

※後付構成の場合は、発電ユニットは発電リモコンより操作します。

※自立運転機能なしの場合は自立運転コンセント及びその配線はありません。

※セット構成の場合は発電リモコンはありません。



*1 SOFCとは・・・

燃料電池は、水素と酸素を化学反応させて電気を起こす発電装置です。当機のように、セラミックを電解質に用いる固体酸化物形燃料電池のことを、英語で Solid Oxide Fuel Cellといい、頭文字をとって SOFCと呼んでいます。

仕様について

商品コード	192-AS05		192-AS06	
製品名	自立運転機能付き エネファーム type S 燃料電池発電ユニット		エネファーム type S 燃料電池発電ユニット	
燃料電池の種類	SOFC (固体酸化物形燃料電池)			
型式名	FCCS07B1NJ	FCCS07B1PJ	FCCS07B1N	FCCS07B1P
設置方式	屋外設置据置型			
タンク貯湯温度	約70°C			
タンク容量	28L			
外形寸法 mm	高1195×幅780×奥行330			
重量 kg	106 (乾燥重量)		100 (乾燥重量)	
接続	ガス	TU (R1/2おねじ)		
	給水・給湯	R3/4 (おねじ)		
	タンク排水	R1/2 (おねじ)		
	排水	QF16ジョイント		
	電気	単相3線式 100/200V		
発電	定格出力 W	700 (自立運転時700)		700
	電圧 V	200		
	周波数 Hz	50/60		
効率	発電効率 (LHM%)	52.0	51.0	52.0
	総合効率 (LHM%)	87.0	85.0	87.0
インバータ	インバータ方式	自励式電圧型電流制御方式		
	電圧調整方式	PWM方式		
	絶縁方式	高周波絶縁方式		
	接続電気方式	単相3線式		
	出力電気方式	単相2線式 202V		
ガスの種類	都市ガス13A	LPG	都市ガス13A	LPG
運転環境温度 °C	-10~43			
停電自立運転設計耐用時間 (のべ) h	500		—	

安全に正しくお使いいただくために必ず守ってください

ご使用の前に、この「安全に正しくお使いいただくために必ず守ってください」をよくお読みいただき、正しくお使いください。

ここに示した注意事項は、危害・損害の程度によって次のように分類されます。

【表示の説明】

 警告	この表示を無視して取り扱いを誤った場合、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。
 注意	この表示を無視して取り扱いを誤った場合、人が傷害を負う可能性や物的損害が想定される内容です。
お願い	安全に快適に使用していただくために、理解していただきたい内容です。

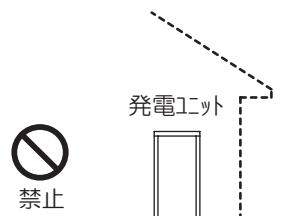
【絵表示の説明】

 必ず行うこと	 接触禁止	 一般的な禁止
 分解禁止	 発火注意	 火気禁止
 アース線を接続すること	 高温注意	

⚠ 警 告

屋内に設置しない

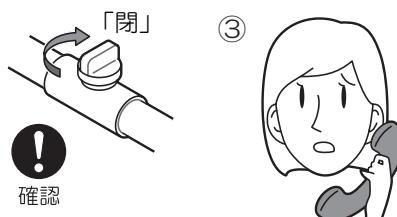
屋外設置据置型ですので、絶対に屋内に設置しないでください。
酸欠・一酸化炭素中毒を起こすことがあります。



ガス漏れに気付いたら

- ガス漏れ異常（エラーコード「1OFOO、1OFO1、1OF10、1OF11」）は、リモコンでのエラー解除はできません。
- 屋内でガス臭がする場合は、電気器具（換気扇・電灯など）のスイッチを入れ／切しないでください。引火し、爆発事故を起こすことがあります。
- ガス漏れに気付いた時は、次の処置を行ってください。
 - ガス栓を閉める。（ガス栓を閉めると、エラーコード「AOFOO」がリモコンに表示されます。）
 - 屋内でガス臭がするときは窓や扉を開ける。
 - ガス供給事業者に連絡する。

そのままにしておくと、火災や爆発の原因になります。
また、絶対に火を近づけたりしないでください。



安全に正しくお使いいただくために必ず守ってください

⚠ 警 告

異常時の処置

この機器から異常な臭い（こげ臭い・ガス臭い）・発火・煙・異常に大きい音・振動があるときは、すぐにリモコンで機器を停止し、次の処置を行ってください。

①ガス栓を閉める。（ガス栓を閉めるとエラーコード「AOFOO」がリモコンに表示されます。）

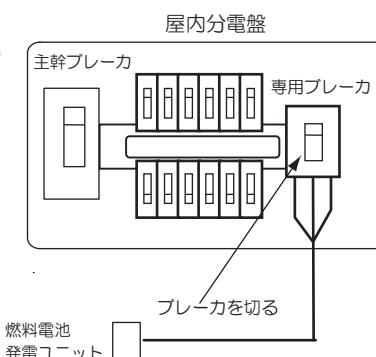
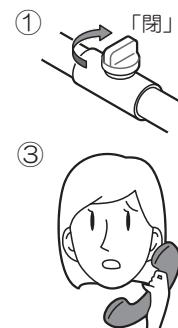
②発電ユニットに接続された屋内分電盤のブレーカーを「OFF」にする。

③ガス供給事業者に連絡する。

異常のまま運転を続けると感電・火災・故障などの原因となります。
※ ブレーカ部は濡れ手で触れないでください。



確認



地震・水害・火災の発生した時の処置

地震・水害・火災が発生した時は、ガス栓を閉め、屋内分電盤の専用ブレーカーをOFFにしてください。おさまりましたら、機器が安全に使用できるかどうかの確認をガス供給事業者に依頼してください。



確認

設置・付帯工事はガス供給事業者に依頼する

工事に不備があると、感電・水漏れに加え、排気ガスの建物内流入による中毒・火災の原因になりますのでガス供給事業者に依頼してください。

（設置・付帯工事は工事説明書に従い、有資格者が行います。）



確認

移設時の確認

増改築や引越しなどで移設する場合は、ガス供給事業者にご相談ください。

工事に不備があると、感電・水漏れに加え、排気ガスの建物内流入による中毒・火災の原因になります。（移設は工事説明書に従い、有資格者が行います。）

移設後は、電力会社への手続きが完了した後でないと運転することはできません。
(手続きについては、ガス供給事業者に確認してください。)



確認

ガスの種類・電源の確認

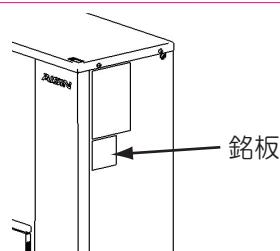
ガスの種類・電源が異なる場合、火災や感電の原因となります。

銘板に表示してある燃料種と使用するガスが一致していることを確認してください。

また、電源が「単相3線式100/200V」であることを確認してください。



確認



熱源機を買い替える場合

- 熱源機の組合せによっては、安全・性能が担保できず、やけど等の事故が発生する可能性があります。
- 熱源機を買い替える場合は必ず大阪ガスにご相談ください。



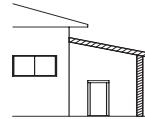
確認

安全に正しくお使いいただくために必ず守ってください

!**警告**

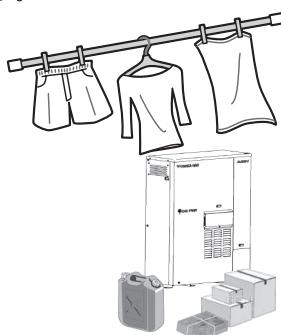
囲いをしない

設置後、発電ユニットを波板やビニールなどで囲んで屋内状態にしないでください。火災や酸欠事故の原因となります。



燃えやすい物を周りに置かない

洗濯物・新聞紙・灯油など
燃えやすい物を周りに置かないでください。
火災の原因になります。



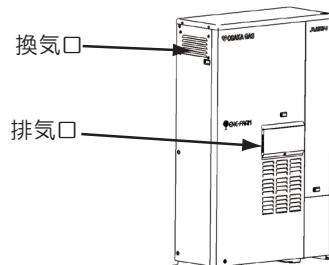
発火注意

火気を近づけない

換気口・排気口に火気を近づけないでください。
火災の原因になる場合があります。



火気禁止



引火のおそれがある物を周りで使用しない

灯油・ガソリン・ベンジンなど
引火のおそれがある物を
機器の周りで使用しないでください。
火災の原因になります。



発火注意

スプレー缶を周りに置かない、使用しない

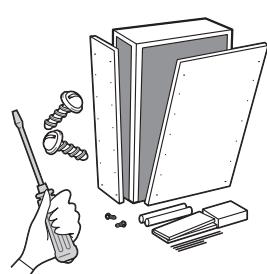
スプレー缶を周りで使用したり、
置かないでください。
熱でスプレー缶の圧力が上がり、
爆発・火災の原因になります。
周りでスプレーを使用すると、
スプレーに含まれる成分により、
機器故障の原因となります。



発火注意

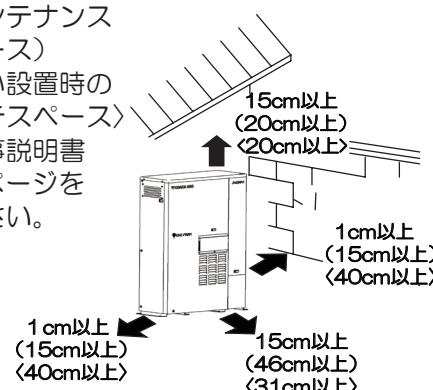
分解・修理・改造をしない

分解・改造を行わないでください。 分解禁止
感電・火災・水漏れの原因となります。
移設・付帯工事・修理をする場合は、必ずガス供給事業者に依頼してください。



離隔距離とメンテナンススペースの確認

周囲の可燃物に対して、
防火上の離隔距離をとってください。
距離が不足すると火災の原因になります。
この離隔距離に加えて、メンテナンススペースが必要ですので物を置かないでください。
上：防火上の離隔距離
中：（メンテナンススペース）
下：〈狭小設置時のメンテスベース〉
詳細は工事説明書
13~16ページをご覧ください。



確認

安全に正しくお使いいただくために必ず守ってください

⚠ 警 告

排気ガスを建物内に入れない

この機器の排気ガスが建物（自宅および隣家など）の吸排気口や窓などから建物内に入らないようにしてください。

排気ガスが建物内に流入すると、中毒などの原因になります。



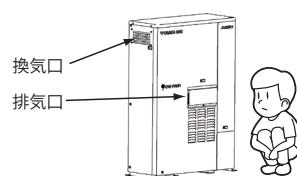
禁止

排気口・換気口に顔を近づけない

大量の排気ガスを吸い込むと、中毒の原因となる可能性があります。



禁止

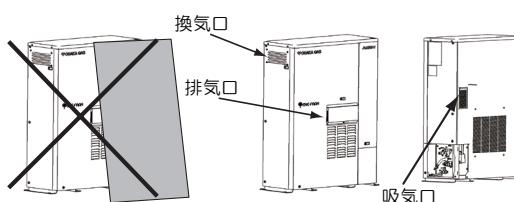


排気口・吸気口・換気口をふさがない

不完全燃焼の原因となります。



禁止



外壁の塗装、増改築、屋内の修繕時などに、機器本体が養生シートで覆われた場合は機器を使用しない

不完全燃焼や一酸化炭素中毒の原因になります。



禁止

積雪時の点検・除雪

積雪時は、排気口・換気口・吸気口がふさがれないように点検・除雪を行ってください。

不完全燃焼の原因となります。



確認

機器の吸気口がホコリ・ゴミなどでふさがっていないか確認する

不完全燃焼の原因となります。



確認

必ずアース工事を行う

アース工事が不完全な場合は、感電・火災の原因となります。（D種接地工事）

アース線は、ガス管・水道管・避雷針・電話のアース線に接続しないでください。

詳しくは工事説明書をご覧ください。



アース

水洗いしない

感電・火災の原因になることがあります。



禁止

排気口付近で子供やペットを遊ばせない

中毒のおそれがあります。



禁止

⚠ 注意

機器や配管に長時間たまつた水や朝一番のお湯は、雑用水として使用する。

飲用したり調理に使用しないでください



確認

飲用する場合は下記の点に注意し、必ず沸騰させてから使用する。

- 必ず水道法に定められた飲用水の水質基準に適合した水道水を使用してください。
- 熱いお湯が出てくるまでの水（配管にたまっている水）は、雑用水としてお使いください。
- 固形物・変色・濁り・異臭があった場合は飲用しないすぐに、販売店またはガス会社へ点検を依頼してください。



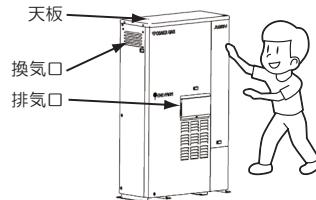
確認

安全に正しくお使いいただくために必ず守ってください

⚠ 注意

排気口、換気口、天板に触れない

高温になっており、やけどの原因になることがあります。



発電ユニットの上に乗らない、物を載せない

落下・転倒などにより、けがの原因になることがあります。



発電ユニットと熱源機間の配管の上に

乗らない、物を載せない

けが・やけど・水漏れのおそれがあります。



熱源機往き配管（高温側）に触れない

熱源機往き配管（高温側）は高温になることがあります。
やけどのおそれがあります。



排気口・換気口・吸気口に指や棒など異物を入れない

けが・やけどのおそれがあります。



パネルを開けて、発電ユニット内部に触れない

けが・やけど・感電のおそれがあります。



断水時には給湯栓を開けない

発電ユニットより低い位置にある給湯栓は設定温度以上のお湯が出る場合
があります。



シャワーなどお湯の使用時は、リモコンに表示の温

度をよく確かめ、手で湯温を確認してから使用する

60°Cの高温で使ったあと、あらためて使用するときは特に注意して
ください。やけど予防のため。



浴槽の湯温を手で確認してから入浴する

やけど予防のため。



ご使用にあたってのお願い

家庭用に使用してください

この機器は家庭用です。業務用に使用しないでください。

業務用に使用して事故や故障が発生した場合、保証の対象外になります。

BL認定品について

BL認定品は「優良住宅部品」「瑕疵保障・賠償責任保険付」です。

一般財団法人ベターリビングお客様相談室の電話番号は「03-5211-0680」です。

安全に正しくお使いいただくために必ず守ってください

ご使用にあたってのお願い

純正部品を使用してください

純正部品を使用しないと、故障の原因になります。

低温になる場所への設置について

外気温が-10℃より低温になる場所に設置しないでください。
設置すると、凍結により重大な破損が発生することがあります。

積雪地域での使用について

この機器を積雪地域で使用するとき、排気口・換気口・吸気口に雪などが固着する場合があります。固着が進むと、この機器は吸入不足になり正常に運転できません。

雪などの固着物は、排気口・換気口・吸気口を塞がないよう取り除いてください。

機器の組み合わせについて

組み合せることのできるリモコン・熱源機は限定されます。ガス供給事業者にお問い合わせください。

知っておいてください

- 雷や無線などのノイズが、この機器に悪影響を与えることがあります。
- ご自宅の電気工事などで、分電盤内の電流センサを外す場合は、事前にガス供給事業者へ連絡してください。
(電流値の読み込み不良により、発電ができなくなる場合があります。)
- 発電ユニットの吸気口から自動車の排ガスが直接吸い込まれると、発電ユニットの故障・性能低下の原因になります。

LPG使用の機器は、運転開始時に臭いがすることがありますが、異常ではありません。

地下水・井戸水・温泉水の使用禁止

- 給水は必ず水道水を使用してください。

地下水・井戸水・温泉水を使用すると機器内の配管に異物が付着したり、腐食して水漏れすることがあります。

電源について

- 緊急の場合以外はブレーカーを「切」にしないでください。
凍結予防運転のために電気を使用しています。

長期間使用しない場合の処置

10日間以上連續で使用しない場合は不在停止を行ってください。

長期間（1ヶ月以上）使用しない場合、またはブレーカーを「切」にする場合は必ず水抜きを行ってください。

停電時の注意

約24時間以上停電した場合は、暗証番号の入力、現在時刻の設定を行ってください。

ドレン配管のつまりに注意する（故障の原因）

ドレン配管の排出先は大気開放とし、泥や落ち葉などでつまらせないでください。

配管バルブを閉めない

メンテナンス作業時以外は、配管バルブを閉めないでください。正常な動作が妨げられ、故障の原因になります。

後付構成の給湯に関して

- 後付構成の場合は熱源機が「運転切」でも給水予熱されますが、故障ではありません。
- 後付構成で熱源機が「運転切」の状態でお湯を使用すると、お湯の温度が変動したり、湯切れで急に水になることがあります。運転切時もお湯の温度を確かめて頂いてからお湯をお使いください。また熱源機が「運転切」の状態ではシャワー等のご使用はお控えください。
- 後付構成では熱源機が給湯「切」、「入」でも予熱されるので、ふろ「足し水」機能をご使用いただいてもぬるくなりにくくなる場合があります。

安全に正しくお使いいただくために必ず守ってください

⚠ 警告（自立運転について）

自立運転専用コンセントには以下の製品をつながない

自立運転専用コンセントには停電時にのみ電気が供給され、停電が復旧すると自動的に電気の供給が止まります。途中で電源が切れると生命、財産に被害を受けるおそれがある以下の機器は接続しないでください。



禁止

- ・すべての医療機器
- ・灯油を用いた暖房機器
- ・バッテリーを搭載していないパソコンなどの情報機器
- ・炊飯器、電子レンジなどの調理機器
- ・冷蔵庫のような連続的に電力の供給が必要な機器
- ・その他、電源が切れると生命、財産に損害を受けるおそれのある機器

消費電力が合計で700W以上になる機器は接続しないでください。

【注意】自立運転機能で使用できる電気の量は700Wです。

※ セット構成の場合は、熱源機で使用する電気の量も含みますので実際にご利用できる電気の量は700Wよりも少なくなります。

自立運転専用コンセントを商用電力線につながない

自立運転専用コンセントと家庭内の普通のコンセントを延長ケーブルなどで絶対に接続しないでください。感電、発火などの事故になるおそれがあります。



禁止

自立運転専用コンセントは停電時のみ使用する

自立運転専用コンセントは停電時のみ使用することができます。停電時以外に自立運転専用コンセントに電気製品を接続しないでください。接続した機器に突然電流が流れ、機器を損傷したり、突然の動作による事故の原因になります。



確認

停電していない時に自立運転を行わない

思わぬ事故の原因になります。また、本来の機能が損なわれ、故障の原因となります。



禁止

⚠ 注意

ガスファンヒータの使用について

- ・ガスファンヒータのご使用中は、部屋の換気にご注意ください。
必ず1時間に1~2回（各1~2分）、窓を開けるなどして換気を行ってください。
- ・自立運転専用コンセントで使用できる電力が少なく、ガスファンヒータを使用すると過負荷が発生するおそれがある場合は使用しないでください。
- ・ガスファンヒータ運転中に停電が発生すると、ガスファンヒータの冷却が正常に行われず、温風の吹き出しが機器背面（エアフィルタ部や取っ手部分）が高温になり、手で触るとやけどのおそれがあります。
- ・自立運転専用コンセントでガスファンヒータを使用しているときに異常を感じた場合は、ただちにガス栓を閉じてガスファンヒータの使用を中止し、販売店またはもよりのガス供給事業者に連絡してください。



確認



禁止



確認



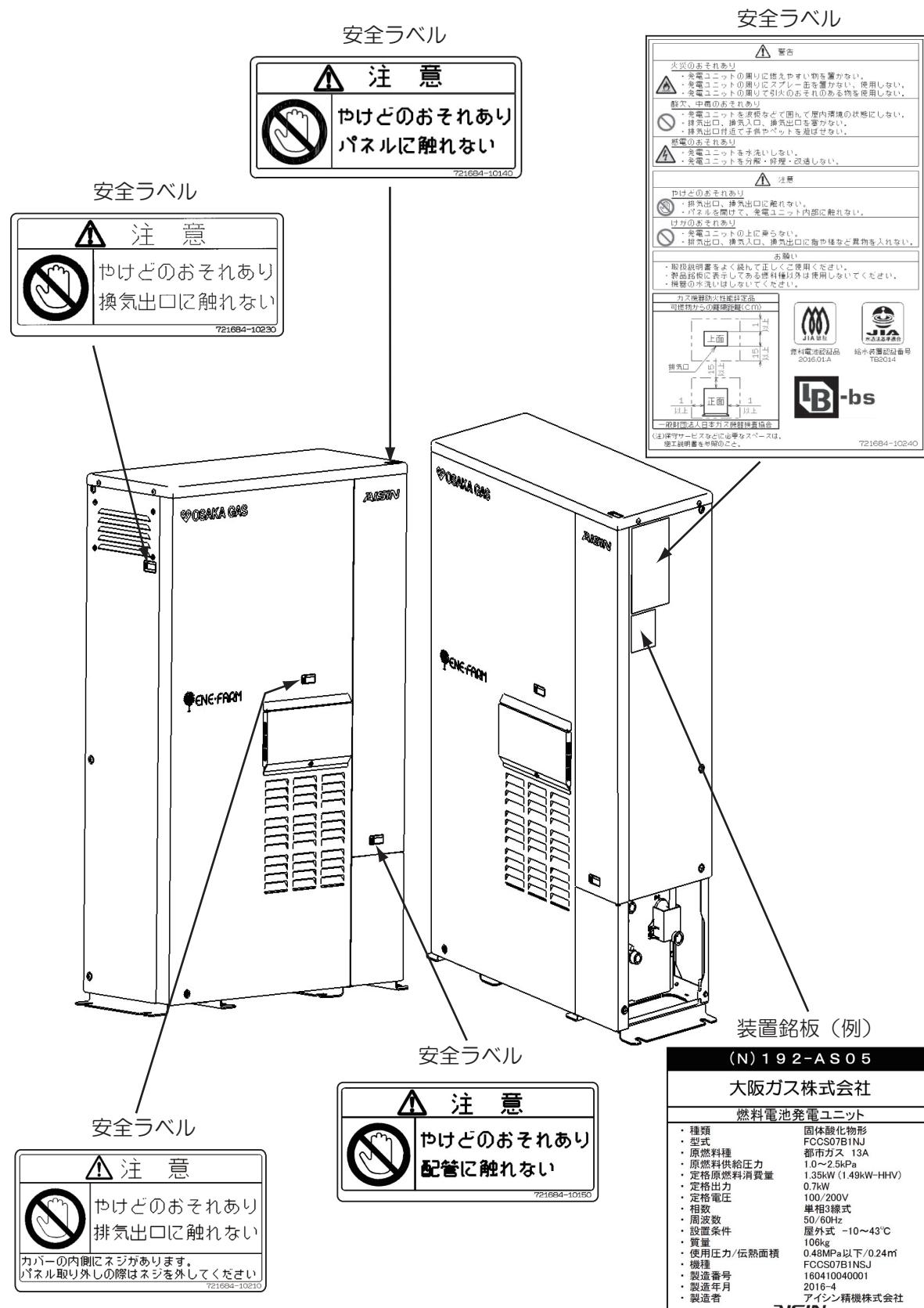
確認

ラベルの貼付け位置と記載内容

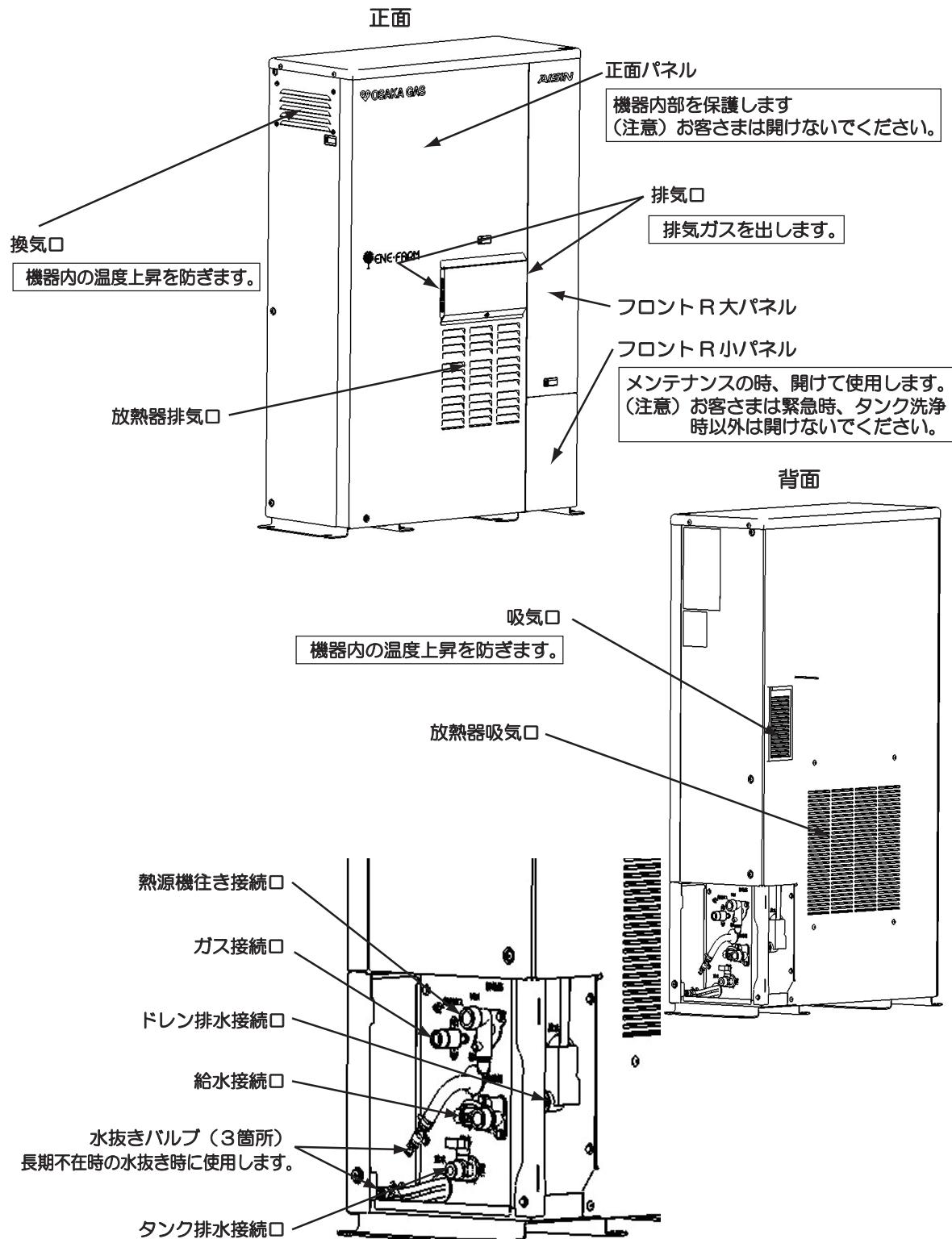
この機器を安全に使用していただくために、機器には安全ラベルが貼ってあります。
安全ラベルをすべて読んでからご使用ください。

ラベルは、はっきり見えるようにきれいにしておいてください。

この機器に貼ってあるラベルが汚れ、破れ、紛失などで読めなくなってしまったときは、ガス供給事業者に連絡して新しいラベルに貼り替えてください。



各部のなまえとはたらき



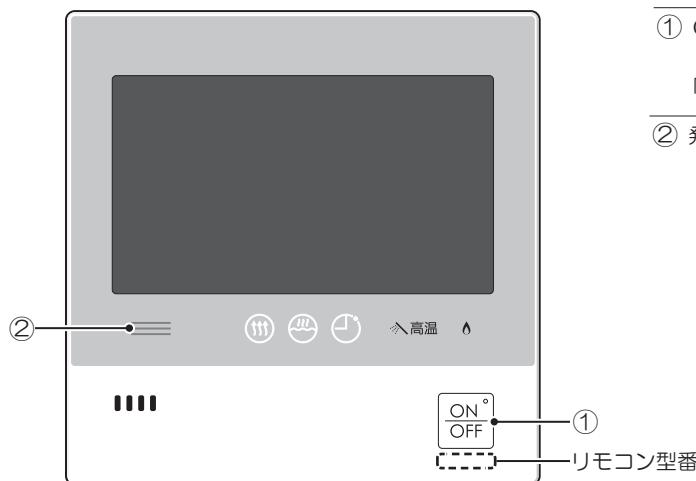
ご使用方法

● リモコンの操作説明

ここでは発電ユニットを運転・停止するためのリモコン操作について説明いたします。

- ・セット構成の場合と後付構成の場合では、リモコンの表示内容が異なります。次ページよりそれぞれのリモコン表示を併記します。お客様の構成に対応する表記をご覧ください。

各部のなまえとはたらき（リモコン）



① ON/OFFスイッチ・ランプ

運転の「入」「切」に。
「入」になるとランプ点灯。

② 発電ランプ

- ・発電ユニットで発電中に点灯します。
- ・現在の使用電力の状態を、色で表します。

使用電力が多い

1.2kW	オレンジ色 (節電お知らせ)	購入電力が増えています 節電してください。
0.7kW	青色	使用電力が少し増えています。
	緑色	発電ユニットの発電内で 上手に使用されています。
	少ない	

- ・逆潮流の場合は、買電中か売電中かを表示します。

オレンジ色 (節電お知らせ)	使用電力が発電電力より多いので 買電しています。
青色	使用電力が発電電力より少ないので 売電しています。

表示画面（タッチパネル）の操作の基本

- このリモコンの表示画面は、指でタッチするとスイッチ操作ができます。
- 圧力を感知するタイプのタッチパネルです。ある程度の力で確実にタッチしてください。

表示がグレーになっている部分は、タッチしてもスイッチ操作できません。



その他のリモコンの詳細機能についてはリモコン操作編を参照願います。
試運転操作については工事説明書を参照ください。

ご使用方法

台所リモコンおよび浴室リモコン
(セット構成の場合)



発電リモコン
(後付構成の場合)



発電状況表示の見かた

そのときの発電状態や、発電の設定を表示します。

発電中	
	発電しています。
	起動中(発電準備中)です。
	発電停止の動作中です。
	(電気使用量が少ない状態が続いたため) 発電停止の動作中です。 ^{※1}
	(電気使用量が少ない状態が続いたため) 発電ユニットは停止しています。 ^{※1}
(表示なし)	発電ユニットは停止しています。

※1 電気使用量が少ない状態が続くと、発電が停止するしくみになっています。

表示	状態
発電中	発電しています。
起動中	起動中(発電準備中)です。
停止中	発電停止の動作中です。
(表示なし)	発電ユニットは停止しています。
発電禁止	発電を強制的に禁止しています。
発電×	発電ユニットが使用できない場合に表示します。
逆潮流の場合	電圧抑制 ^{※2}
の自立運転機能付	発電ユニットの出力を一時的に抑えています。
自立運転マーク	売電中
自立運転マーク	発電した電力を売電しています。
自立運転マーク	自立運転しています。
自立運転マーク	高出力モード(P74)で自立運転しています。

※2：自宅につながれている送電線の系統の電圧が高くなりすぎたとき、発電ユニット側の電圧が上限を超えないよう、発電ユニットの出力を抑えます。電圧が正常範囲に戻ると、この機能は自動的に解除されます。

発電モードマークの見かた

	タンクリフレッシュ運転マーク	長時間お湯の使用がなかったときなどに、貯湯タンク内の水質を維持するための運転をしています。
	ガスマイコンメーター確認マーク(Mマーク)	この表示は約24時間出ます。その間発電ユニットは停止し、ガスマイコンメーターがガス漏れの有無を確認します*。24時間停止後は自動で運転を再開します。ただし、ガスのご使用状況や機器の動作状況により、リモコンに「01900」を表示し、停止を継続する場合があります。その場合は44ページを参照し、処置を行ってください。 ※詳細は24ページ「ご使用方法 運転・停止について」をご参照ください。

ご使用方法

● 基本操作の説明

1. 発電ユニットの水張り方法

※ 断水時に水（湯）を使用された場合、エラー表示部に17FOO、81FO1、82FO1が表示された時および貯湯タンク洗浄時に実施してください。

- ①リモコンをOFF (ON/OFFスイッチ部のLEDランプが消える)にして、液晶画面部にタッチしてください。
- ②メイン画面よりメニューを選択してください。

台所リモコンおよび浴室リモコン
(セット構成の場合)



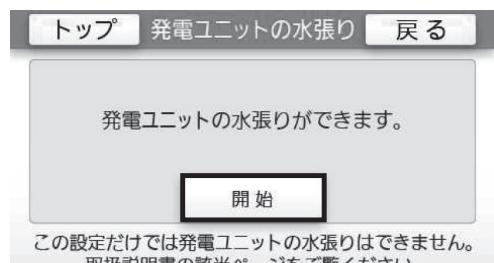
- ③メニュー画面より音・その他メニューを選択してください。



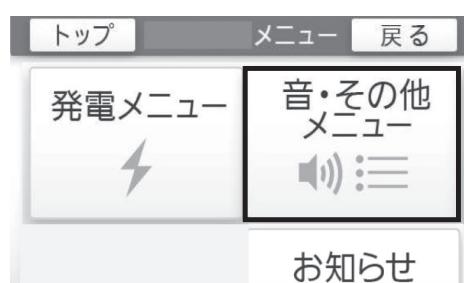
- ④音・その他メニュー画面より発電ユニットの水張りを選択してください。



- ⑤開始ボタンを押してください。



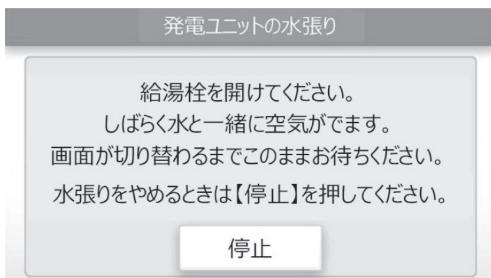
発電リモコン
(後付構成の場合)



- ⑥発電ユニットの給水栓・熱源機給水口にあるメンテ用バルブを開けてください。

ご使用方法

前頁続き



⑦空気が出なくなったら完了ボタンを押して給湯栓を閉めてください。

発電ユニットの水張り

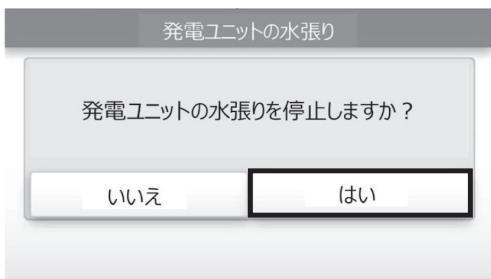
水と一緒に空気が出なくなったら
給湯栓を閉め【完了】を押してください。

完了

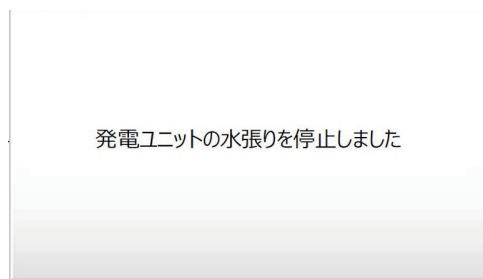
停止する場合



- ⑧「はい」を押してください。
「いいえ」を押すと前の画面に戻ります。



⑨給湯栓を閉じてください。



2. 発電ユニットの起動方法

※ お客様操作により、頻繁に起動・停止(不在停止等)を繰り返すと故障の原因になる恐れがあり、保証の対象外になる場合があります。機器の耐久性維持のため、不在停止機能のご使用は10回/年までを自安とし、10日以上不在にされる場合にご使用ください。

● 2-1. 発電禁止からの再開

- ①メイン画面よりメニューを選択してください。

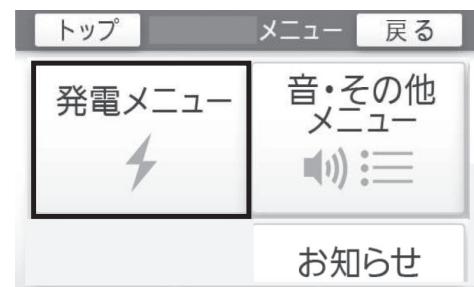
台所リモコンおよび浴室リモコン
(セット構成の場合)



発電リモコン
(後付構成の場合)



- ②メニュー画面より発電メニューを選択してください。



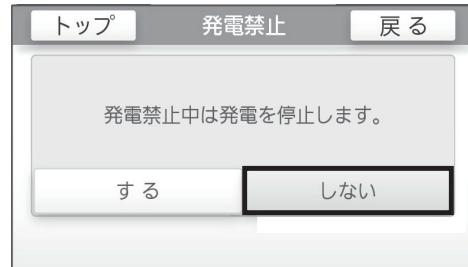
ご使用方法

前頁続き

- ③発電メニュー画面より発電禁止を選択してください。



- ④発電禁止画面より「しない」ボタンを押してください。



発電ユニットが起動をはじめます。

● 2-2. 不在停止からの再開

- ①メイン画面よりメニューを選択してください。
台所リモコンおよび浴室リモコン
(セット構成の場合) の場合



- ②メニュー画面より発電メニューを選択してください。

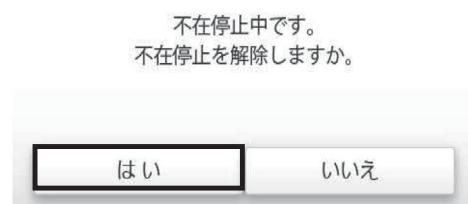


- ③発電メニュー画面より不在停止を選択してください。



- ①液晶画面部にタッチし「はい」を選択してください。

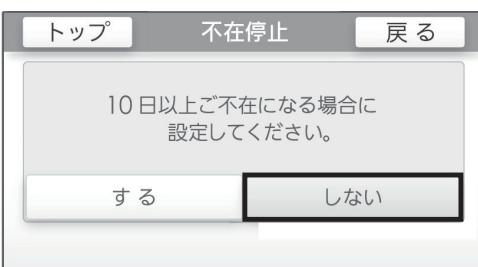
発電リモコン (後付構成の場合)



解除しました

発電ユニットが起動をはじめます。

- ④不在停止画面より「しない」ボタンを押してください。



発電ユニットが起動をはじめます。

ご使用方法

● 2-3. 発電再開からの再開

- ①メイン画面よりメニューを選択してください。
台所リモコンおよび浴室リモコン
(セット構成の場合) の場合



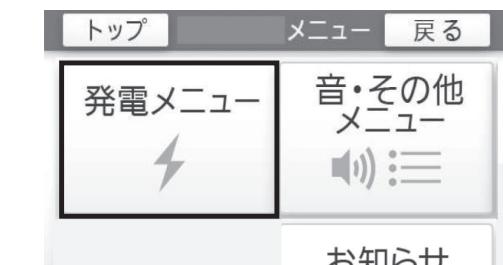
- ②メニュー画面より発電メニューを選択してください。



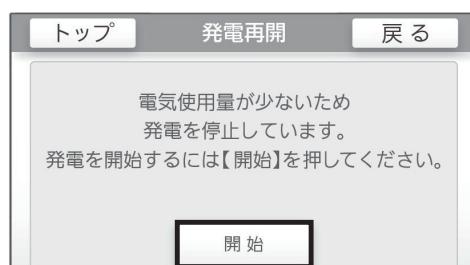
- ③発電メニュー画面より発電再開を選択してください。



発電リモコン
(後付構成の場合)



- ④開始ボタンを押してください。



発電を開始します

発電ユニットが起動をはじめます。

ご使用方法

3. 発電ユニットの停止方法

※ お客様操作により、頻繁に起動・停止(不在停止等)を繰り返すと故障の原因になる恐れがあり、保証の対象外になる場合があります。機器の耐久性維持のため、不在停止機能のご使用は10回/年までを目安とし、10日以上不在にされる場合にご使用ください。

● 3-1 機器の水抜きをするときなど、強制的に発電を停止させたいときの停止方法（発電禁止）

- ①メイン画面よりメニューを選択してください。
台所リモコンおよび浴室リモコン
(セット構成の場合)



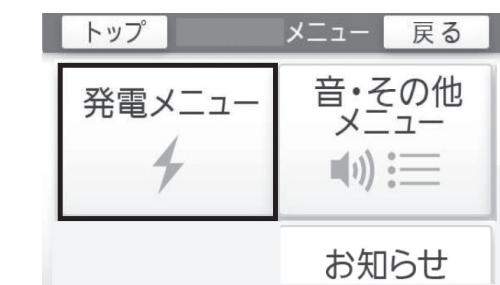
- ②メニュー画面より発電メニューを選択してください。



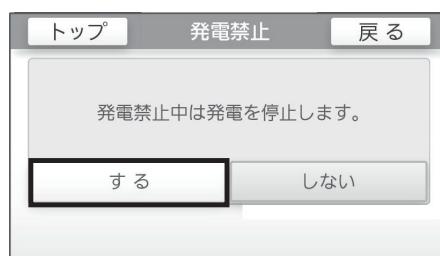
- ③発電メニュー画面より発電禁止を選択してください。



発電リモコン
(後付構成の場合)



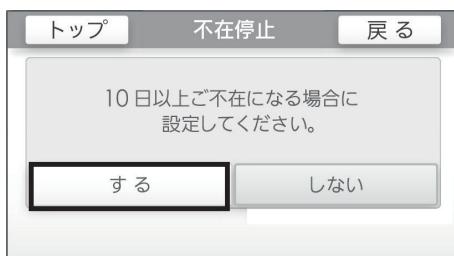
- ④するボタンを押してください。



● 3-2 10日以上家をあけるなど、すべての運転（発電・給湯・暖房など）をしばらく停止したいときの停止方法（不在停止）

※ 1ヶ月以上の長期不在時には、この方法に加えて水抜きが必要です。45ページを参考に水抜き操作をお願いします。
※ 10日以上お湯・暖房を使用しない場合、自動的に不在停止が「する」になります。（後付構成の場合は暖房の使用を除きます。）
※ 給湯・暖房などの停止方法は、それぞれの取扱説明書を参照ください。

- ① メイン画面よりメニューを選択してください。
② メニュー画面より発電メニューを選択してください。
③ 発電メニュー画面より不在停止を選択してください。
④ するボタンを押してください。
※ リモコン操作で不在停止設定を「する」にした後に、リモコンON/OFFスイッチのON操作をすると、不在停止が解除されます。（後付構成の場合を除きます。）



ご使用方法

4. 貯湯タンクの水抜き方法

※ 貯湯タンク洗浄には水抜きが必要となります。

⚠ 注意

水抜き時タンク排水配管には触れない

場合によってはお湯が排出されることがあります。やけどの原因になることがあります。



水抜き時はエア抜き栓の正面に身体を置かない

場合によってはお湯が飛び出します。やけどの原因になることがあります。



①～⑦：やけど防止のため、リモコン操作による貯湯タンク内の水温を冷却しています。

⑧～⑨：バーレブ操作による水抜き手順

①リモコンをOFFにし(ON/OFFスイッチ部のLEDランプを消す。)液晶画面部をタッチする。

②メイン画面よりメニューを選択してください。

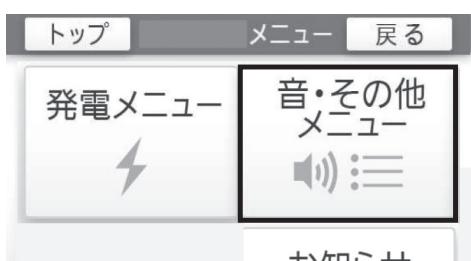
台所リモコンおよび浴室リモコン
(セット構成の場合)



発電リモコン
(後付構成の場合)



③メニュー画面より音・その他メニューを選択してください。

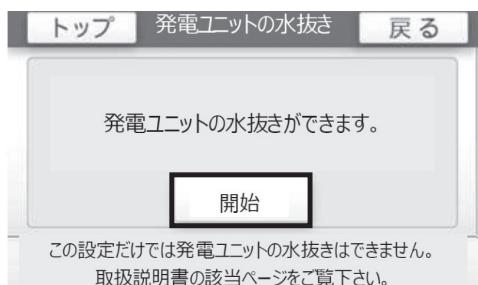


④音・その他メニュー画面より発電ユニットの水張りを選択してください。



ご使用方法

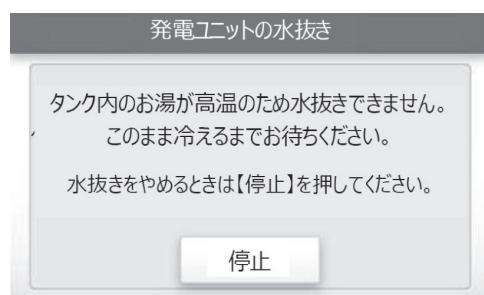
⑤開始ボタンを押してください。



※ タンク内水温が下がると⑥に移行します。
停止を押すと停止画面に移行します。

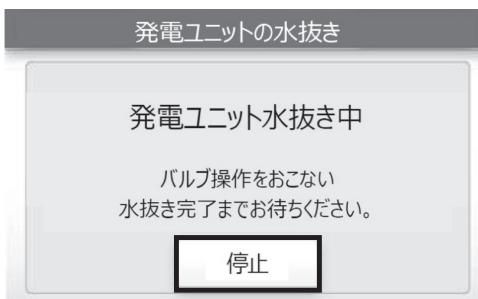
タンク内
高温時

※タンク内温度が
低い場合でも
10分間は冷却
します。

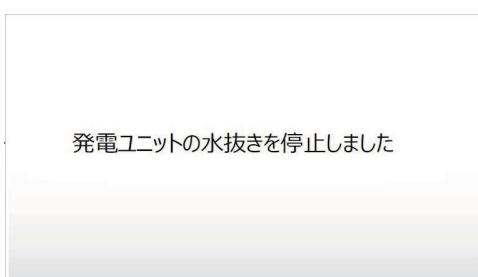
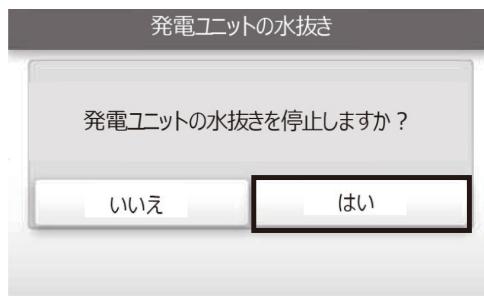


タンク内部温度冷却後

⑥タンク内水温が水抜き可能温度です。停止ボタンを押してリモコンによる水抜きを停止してください。

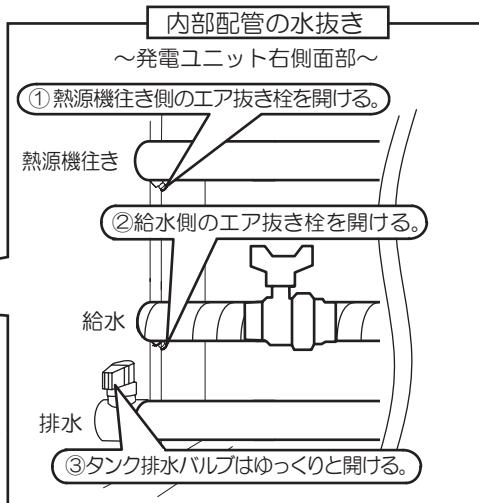
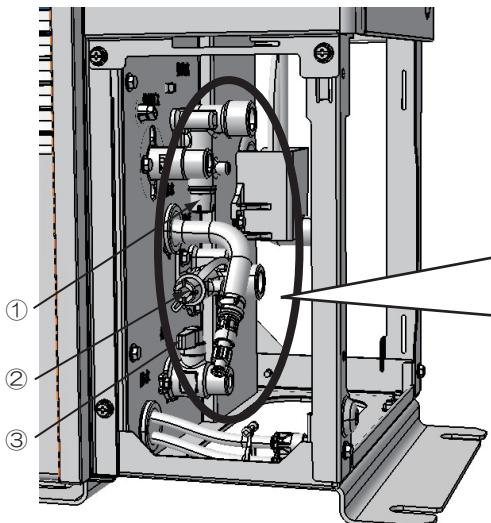


⑦はいボタンを押してください。



⑧停止画面を確認し下記バルブの操作をしてください。

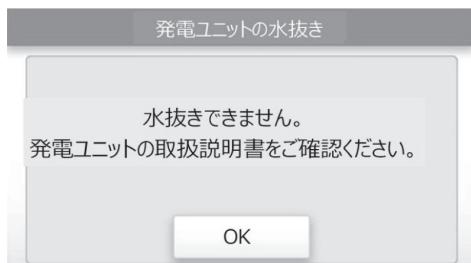
- ・給水バルブを閉じます。
※給水バルブを閉じずに以降の操作をすると、ユニット内部機器の寿命が著しく短くなりますのでご注意ください。
- ・熱源機往き配管途中のメンテ用バルブを閉じます。
- ・③タンク排水バルブをゆっくりと開けます。
- ・②給水側, ①熱源機往き側のエア抜き栓を反時計回りに3回転させます。



ご使用方法

- ⑨ タンク排水より水が出なくなったら、②給水側（下側）、①熱源機往き（上側）のエア抜き栓を閉め、
③タンク排水バルブを閉めます。

※ 水抜き手順で下記画面が表示される場合



水抜きは、発電ユニットが停止状態のみ受け付けます。
発電ユニットが完全に停止後、再度操作してください。

ご使用方法

● ご使用前の確認・準備

ご使用前に次の確認・準備を行ってください。

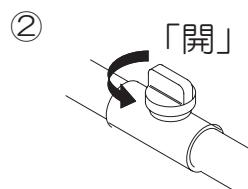
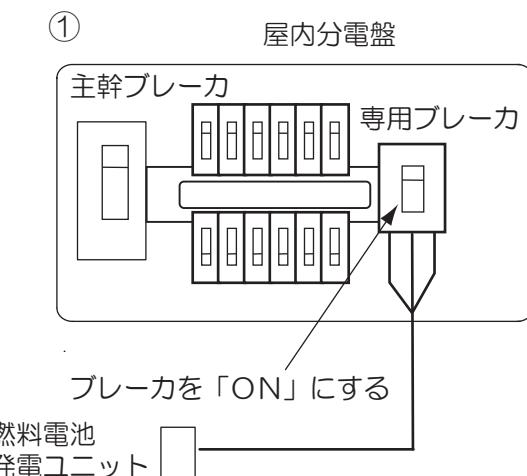
○確認

発電ユニット、熱源機周辺に異常がないことを確認します。

- ・機器の周囲に可燃物および、障害物がないことを確認します。
- ・機器の排気口、吸気口・換気口がふさがっていないことを確認します。
- ・据付金具が緩んでいないことを確認します。

○準備

- ① 発電ユニットに接続された屋内分電盤の専用ブレーカを「ON」にします。
- ② ガス栓、給水元栓、熱源機メンテ用バルブを開けます。



ご使用方法

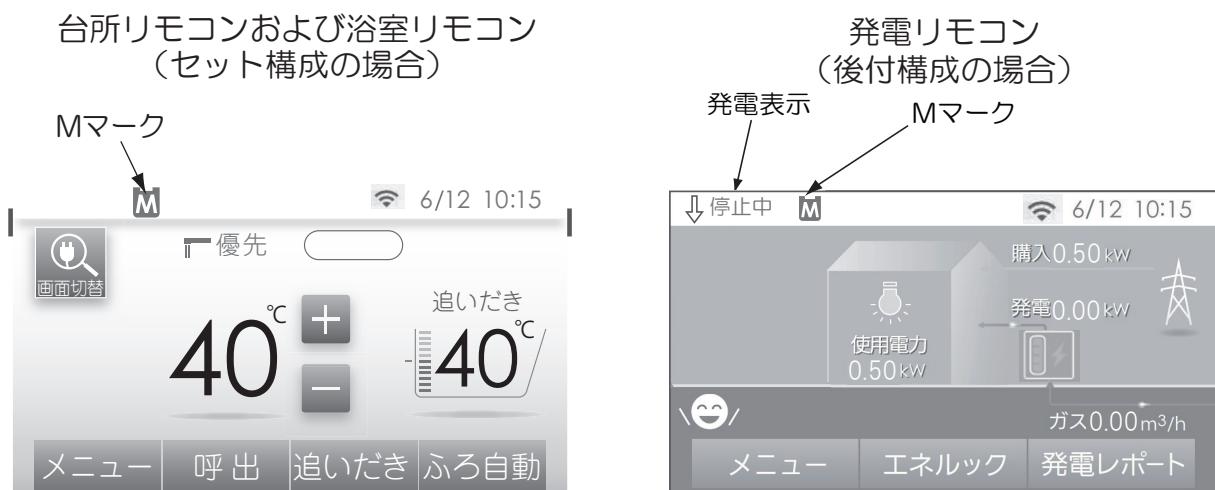
● 運転・停止について

- 以下の場合、発電ユニットは停止します。

- ① ガスマイコンメーターがガス漏れの有無を確認するために一時的に停止させるとき

ガスマイコンメーターには、30日以上連続してガスが流れ続けた場合、ガス漏れの疑いがあると判断し、警報ランプが点滅する機能があります。発電ユニットが発電し続けると、この機能によりガスマイコンメーターがガス漏れと誤判断し、警報ランプが点滅してしまいます。誤判断を防止し、この機能を正常に動作させるために、発電ユニットが26日連続して運転した場合、27日目に約24時間停止する仕組みとなっており、その停止期間中リモコンにMマークが表示されます。（約24時間停止した後、発電ユニットは自動で運転を再開します。）

ガスマイコンメーターの警報ランプの点滅を発見された場合は、ガス供給事業者に連絡してください。



- ② お湯・暖房を 10 日以上使用しなかったとき

自動的に不在停止となります。

- ③ 機器保護運転をしているとき

夏期に外気温度が高いときに、電気使用・お湯使用が少ないと機器保護のため停止することがあります。

この場合、リモコンにエラーコード「03F00、03F02、03F03、03F05、03F07、08F00、08F03」を表示することもありますが、故障ではありません。（停止後は自動で運転を再開しますので、操作は必要ありません。）

- ④ 故障診断をしているとき

故障診断をしているとき、自動的に停止し一定時間停止したままの場合があります。

- ⑤ 電気使用量が少ない状態が続いたとき

- 月末時当月の電気使用量が少ない場合は、リモコンのお知らせ画面に「電気使用量が少ない状態が続いたため、発電を停止します。発電を継続する場合はメニューの【お知らせ】を押してください」のメッセージが24時間表示され、翌月は自動停止します。

- ・翌月も発電を継続したい場合は、発電継続を選択してください。

- ・停止後発電ユニットを起動したい場合は、発電再開操作（18ページ参照）を実施してください。

- ・停止中の電気使用量が多くなった場合は、翌月より自動で再起動します。

- 以下の場合、発電ユニットは発電出力を下げます。

- ① 機器保護運転をしているとき

夏期に外気温度が高いときに、電気使用・お湯使用が少ないと機器保護のため発電出力を自動的に下げる場合、もしくは停止することがあります。

- ② ご使用による経年劣化により、ある程度の発電効率・発電出力が低下します。

- ③ 低出力から急に高出力に切り替わった場合は機器保護のために発電出力を自動的に下げる場合があります。

ご使用方法

● 停電のときは

○発電中に停電した場合（自立運転機能付きのお客さまの場合）

自立運転機能により発電を継続します。

発電した電気は自立運転専用コンセントより出力します。（停電してから約90秒後に出力開始します。）
(30~37ページ参照)

○発電中に停電した場合（標準モデルのお客さまの場合）

停電中は、アイドリング状態になり、復旧待機しています。ガス、水は閉めないでください。

※ 4時間以内の停電であれば、復旧後約5分で発電が開始します。また、お客様の発電ユニットの運転状態によっては停電中に停止する場合があります。

○停電が復旧した場合（自立運転機能付きのお客さまの場合）

自立運転を終了し、通常運転に自動的に切り替わります。

※ 自立運転専用コンセントは停電している時にだけお使いください。なお、停電が復旧するとすぐに電気の供給は止まりますので、ご注意ください。

○待機中・起動中・停止中に停電した場合

停電中は起動しません。

● 緊急時などガス栓を閉にした場合、屋内分電盤の専用ブレーカをOFFした場合

再使用の前に、23ページの「ご使用前の確認・準備」を行ってください。

ご使用方法

● 暗証番号

- ・機器を設置業者からお客様に引き渡しする際、お客様に登録していただく番号です。
 - ・機器に通電していない状態が24時間以上続いた場合は、再通電後に暗証番号を入力する必要があります。
- ※暗証番号を入力しない場合は、発電ユニットは起動しません。暗証番号の入力をお願いします。

暗証番号の設定

初回リモコンをONにすると下記画面が表示されますので、暗証番号（2桁）を入力してください。



※ 暗証番号未設定で画面を閉じてしまった場合は下記手順で暗証番号を設定願います。

①メイン画面よりメニューを選択してください。



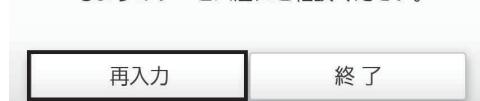
②メニュー画面よりお知らせを選択してください。



③お知らせ画面より暗証番号に関するお知らせを選択してください。



④再入力ボタンを押してください。



ご使用方法

⑤暗証番号（2桁）を入力し、決定ボタンを押してください。

⑥確定ボタンを押してください。

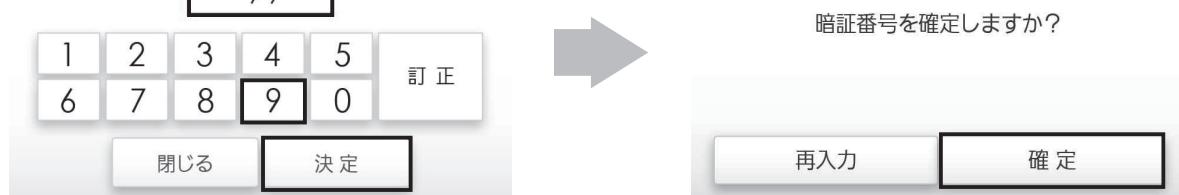
暗証番号を登録してください

暗証番号
99

1	2	3	4	5
6	7	8	9	0

訂正

閉じる 決定



暗証番号を確定しますか？

再入力 確定

24時間以上停電（無通電）した場合
電源再投入時、下記画面が表示されますので、
暗証番号（2桁）を入力してください。

※ 暗証番号未入力で画面を閉じて
しまった場合は上記①～⑥の手順で
暗証番号を入力願います。

暗証番号を登録してください

暗証番号
99

1	2	3	4	5
6	7	8	9	0

訂正

閉じる 決定

※ 日時あわせについてはリモコンの取扱説明書を参照してください。

お手入れと周囲の確認

《お手入れ》

- 機器の外観が汚れている場合、水にぬらした柔らかい布をかたく絞って、軽く拭きとってください。
 - ・機器を水洗いしないでください。
 - ・外観のお手入れに、ガソリン・シンナー・ベンジン・みがき粉・スプレーなどを使わないでください。
- 1年に1回程度、発電ユニット内の貯湯タンクの洗浄をしてください。
 1. 発電ユニットを停止させてください。（19ページ、3-1発電禁止を参照ください。）
 2. 発電停止完了後、水抜きをしてください。（20ページ、4水抜き方法を参照ください。）
 3. 水抜き終了後、水張りをしてください。（15ページ、1発電ユニットの水張り方法を参照ください。）
 4. 発電ユニットを起動してください。（16ページ、2-1発電禁止からの再開を参照ください。）

※ 上記2.の開始から3.の終了までは熱源機は使用できなくなります。

《周囲の確認》

23ページを参照し、「ご使用前の確認・準備」を月に1回程度行ってください。

⚠ 注意

発電ユニットと熱源機間の配管の上に

乗らない、物を載せない

けが・やけど・水漏れのおそれがあります。



禁止

熱源機往き配管（高温側）に触れない

熱源機往き配管（高温側）は高温になることがあります。

やけどのおそれがあります。



禁止

排気口・換気口・吸気口に指や棒など異物を入れない

けが・やけどのおそれがあります。



禁止

パネルを開けて、発電ユニット内部に触れない

けが・やけど・感電のおそれがあります。



禁止

点検に関して

機器への通電開始から10.5年経過後に停止します。引き続き安全にご使用になるためには、点検および定期交換部品、その他の部品の交換が必要になります。（有償）

- ・リモコンの液晶画面上部に下記のお知らせが表示されたときは、ガス供給事業者に連絡してください。
 - ★「発電ユニットの点検時期が近づいています。」
 - ★「発電ユニットの点検が必要です。」
 - ★「発電ユニットの点検時期を過ぎています。」（エラーコード「05FOO」も点滅）
- ※「発電ユニットの点検時期を過ぎています。」の表示になると、発電ユニットは自動的に停止します。
- ・点検は、専門のサービスマンが実施いたします。

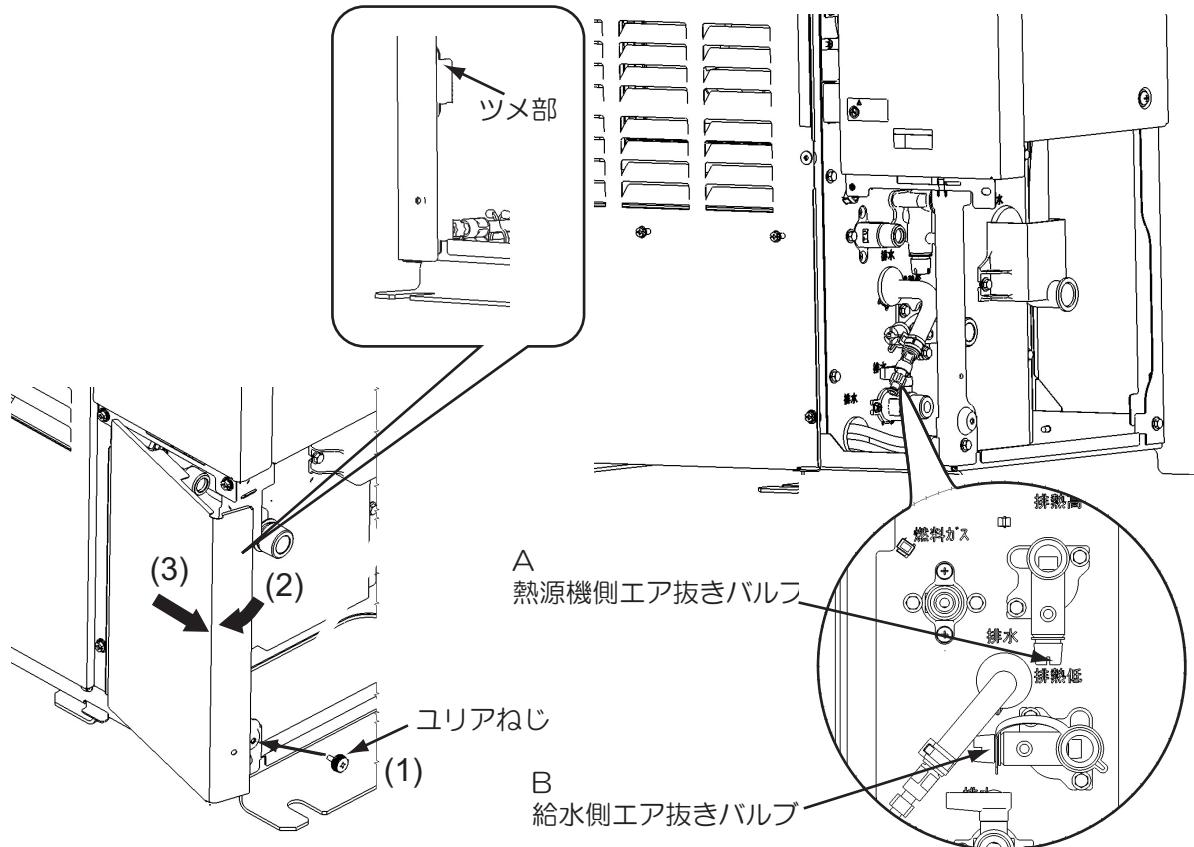
停電時にお湯を使う

災害時などに貯湯タンクからお湯を取り出す

⚠ 警告

エア抜きバルブから熱湯が出る場合がありますのでやけどに注意してください。

- 断水時や地震などの災害時は、貯湯タンクのお湯（水）を生活用水として利用できます。



- ① 発電ユニットが停止していることを確認してください。
- ② 分電盤の専用ブレーカーを「切」にします。
- ③ フロントRパネル小をはずします。
 - (1) ユリアねじをはずします。
 - (2) フロントR小パネルの裏の引っかけをはずしながら手前に寄せます。
 - (3) フロントR小パネルを右にスライドさせて取り外します。
- ④ 給水側逆止弁付バルブと発電ユニットと熱源機の間にあるメンテ用バルブを閉じます。
- ⑤ 热源機往き側のエア抜きバルブAを回します。
- ⑥ 給水側エア抜きバルブBを回します。
出てきたお湯（水）をバケツなどで受け、生活水として使用してください。
- ⑦ 取水が終わったら、給水側エア抜きバルブ、熱源機往き側エア抜きバルブの順で閉じます。

- ★ 再起使用する時は、発電ユニットの水張り（15ページ参照）を実施してください。
- ★ 停電時に、リモコンの日時がリセットされていることがあります。その場合は復電時にリモコンの日時設定を入力してください。手順詳細はリモコンの取扱説明書を参照してください。
- ★ 発電ユニットが停電により24時間以上連続停止した場合は、暗証番号を入力してください。手順詳細は25ページを参照してください。

停電時に電気とお湯を使う

(自立運転機能付きのお客さまへ)

⚠ 警告（自立運転について）

自立運転専用コンセントには以下の製品をつながない

自立運転専用コンセントには停電時にのみ電気が供給され、停電が復旧すると自動的に電気の供給が止まります。途中で電源が切れると生命、財産に被害を受けるおそれがある以下の機器は接続しないでください。



禁止

- ・すべての医療機器
- ・灯油を用いた暖房機器
- ・バッテリーを搭載していないパソコンなどの情報機器
- ・炊飯器、電子レンジなどの調理機器
- ・冷蔵庫のような連続的に電力の供給が必要な機器
- ・その他、電源が切れると生命、財産に損害を受けるおそれのある機器

消費電力が合計で700W以上になる機器は接続しないでください。

【注意】自立運転機能で使用できる電気の量は700Wです。

※ セット構成の場合は、熱源機で使用する電気の量も含みますので、実際にご利用できる電気の量は700Wよりも少なくなります。

自立運転専用コンセントを商用電力線につながない

自立運転専用コンセントと家庭内の普通のコンセントを延長ケーブルなどで絶対に接続しないでください。感電、発火などの事故になるおそれがあります。



禁止

自立運転専用コンセントは停電時のみ使用する

自立運転専用コンセントは停電時のみ使用することができます。停電時以外に自立運転専用コンセントに電気製品を接続しないでください。接続した機器に突然電流が流れ、機器を損傷したり、突然の動作による事故の原因になります。



確認

停電していない時に自立運転を行わない

思わぬ事故の原因になります。また、本来の機能が損なわれ、故障の原因となります。



禁止

お願 い

自立運転専用コンセントが設けられていることを確認する

停電時にエネファームで発電した電気を使用するには、自立運転専用コンセントが必要です。

「エネファーム type S 停電時自立発電専用」と表示のあるコンセントが、自立運転専用コンセントです。

断水時は給水・給湯栓を使用しない

自立運転時に断水状態※のまま水やお湯を使用されると、リモコン表示画面にエラーコード「81FO1、82FO1」が表示され、発電ユニットが異常停止します。

※ 断水状態：停電などの理由により、ご家庭への給水が停止している状態

停電時に電気とお湯を使う

(自立運転機能付きのお客さまへ)

- 発電ユニットが発電中に停電した場合は、自立運転機能により発電を継続しますので、発電した電気と熱源機のお湯をご使用いただけます。（後付構成または、自立運転機能なしの場合は熱源機でのお湯はご使用になれません。）

※ 発電ユニットが発電を停止している時に停電した場合は、発電することができません。

また、ガスの供給が停止している場合にも発電できません。

○以下の場合、発電ユニットは停止しています。

- ・ガスマイコンメーターがガス漏れの有無を確認するために一時的に停止させるとき

（詳細は、24ページ「ご使用方法 運転・停止について」をご参照ください。）

- ・お湯／暖房を10日以上使用しなかったとき

自動的に不在停止となります。

- ・機器保護運転をしているとき

夏期に外気温度が高いときに、電気使用・お湯使用が少ないと機器保護のため出力を下げる、もしくは停止することがあります。

この場合、リモコンにエラーコード「03F00、03F02、03F03、03F05、03F07」、「08F00、08F03」を表示することもありますが、故障ではありません。（停止後は自動で運転を再開しますので、操作は必要ありません。）

- ・故障診断しているとき

故障診断をしているとき、自動的に停止し一定時間停止したままの場合があります。

- 自立運転機能で使用できる電気の量は約700Wです。

※ 熱源機で使用する電気の量も含みますので、実際にご利用できる電気の量は700Wよりも少なくなります。

- 自立運転時は自動的に自立運転専用コンセントに電気が供給されます。

自立運転専用コンセントには「エネファーム type S 停電時自立発電専用」と表示されています。
事前に設置場所を確認してください。

※ 自立運転専用コンセントは停電している時にだけお使いください。なお、停電が復旧するとすぐに自立運転専用コンセントからの電気の供給は止まりますので、ご注意ください。

停電時に電気とお湯を使う

(自立運転機能付きのお客さまへ)

1. 停電前に

- あらかじめ計画停電など停電が予定されている場合は、以下の操作を行うことで停電時に発電させることができます。

- ガスマイコンメーターがガス漏れの有無を確認するために発電ユニットは一時的に停止します※。計画停電中の一時的な停止を避けるため、停電予定日の2~3日前に、あらかじめ発電ユニットを24時間以上停止させてください。
※詳細は、24ページ 「ご使用方法 運転・停止について」をご参照ください。

- ① リモコンで発電停止予定日までの日数をご確認ください。
 - ② • 停電予定期間中に次回停止がある場合：リモコン操作にて、あらかじめ発電ユニットを24時間以上停止させてください。（発電状況表示部の表示が消えてから、24時間以上停止させてください。発電状況表示については14ページを参照してください。）遅くとも計画停電の4時間前までには発電再開操作を実施ください。
• 停電期間中に次回停止がない場合：特に操作は必要ありません。
※ ①および②は、リモコンの取扱説明書をご参照ください。
- 自立運転ができない場合でも、発電ユニットの貯湯タンク内のお湯（水）を、生活用水として利用することができます。

停電時に電気とお湯を使う

(自立運転機能付きのお客さまへ)

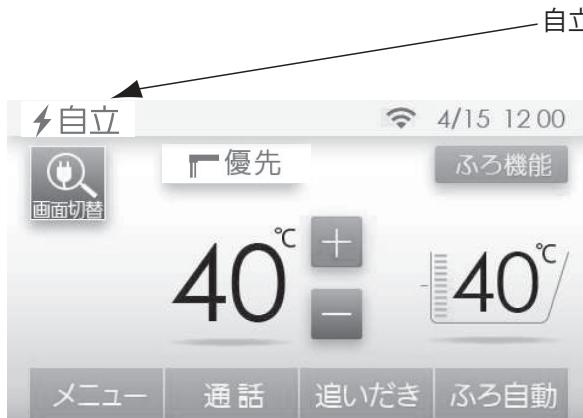
2. 停電時の対応

※ 災害時など、ガス漏れの危険性がある場合は使用を中止してください。事故の原因となることがあります。

■ 「自立」の表示がされていることを確認する

- 停電してから約90秒※後に、「自立」の文字が点滅表示されていることを確認してください。
- 使用電力が大きい機器をつなぐ場合は、高出力モードに切り替えご使用ください。また、発電ユニットの状態によっては、最大出力が制限される場合があります。

※ お客様の電気使用状況や、機器の経年劣化により出力開始までの時間は変化します。（最大約10分間）

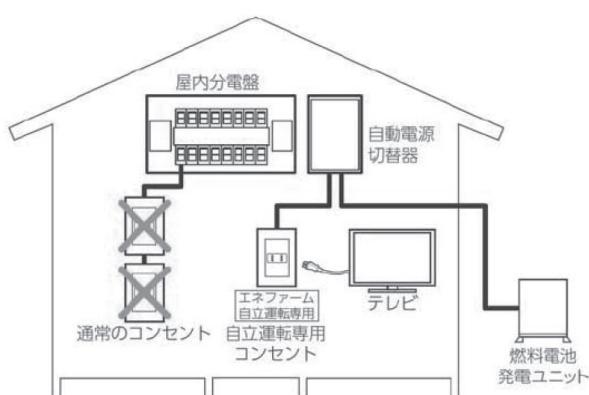


台所リモコンおよび浴室リモコン
(セット構成の場合)

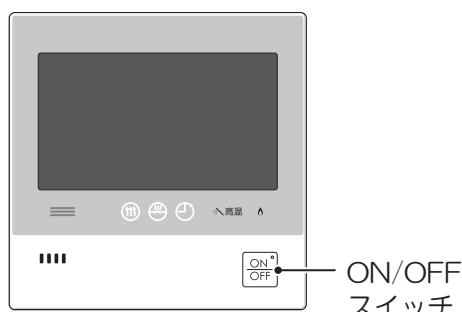


発電リモコン
(後付構成の場合)

■ 電化製品の電源プラグを自立運転専用コンセントに差し込む

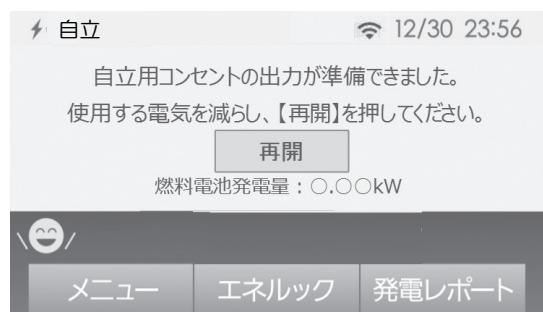


台所リモコンおよび浴室リモコン
(セット構成の場合)での過負荷復帰操作
ON/OFFスイッチでOFF-ONする。



- 停電時は自立運転専用コンセントしか使うことができません。
- リモコン表示で発電量を確認しながら自立運転専用コンセントに使用したい電化製品を一つずつ接続してください。
- 消費電力が700Wを上回る場合（過負荷）は、自立運転専用コンセントからの電気の供給が一時停止（約90秒～10分）します。一時停止後に自動的に電気の供給が再開します。ただし、過負荷2回目以降は、一時停止した後にリモコン表示内容に従ってリモコン操作を行う必要があります。
- 接続した電化製品の消費電力が発電量を超えないよう、運転状態をこまめに確認してください。

発電リモコン（後付構成の場合）
での過負荷復帰操作
再開ボタンを押す。



停電時に電気とお湯を使う

(自立運転機能付きのお客さまへ)

- 自立発電中、電力消費が少ないと自立出力を下げます。消費電力の大きい（但し合計しても700Wをこえない）電化製品を使用されるときは高出力モードに切り替えてください。
※ 低出力から急に高出力に切り替わった場合は機器内部温度が限度より高くならないように発電出力を自動的に下げる場合があります。

- ① トップ画面で発電量を確認し、発電出力が低い場合は「自立発電能力」ボタンを押す。（自立発電能力ボタンは、高出力発電が可能な時のみ表示されます。）

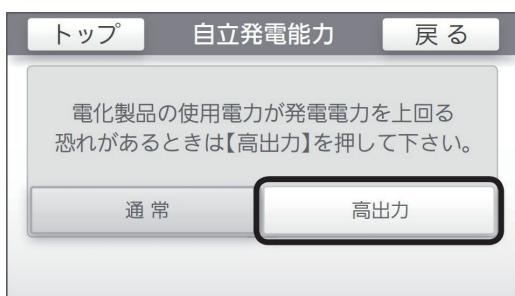
台所リモコンおよび浴室リモコン
(セット構成の場合) の場合



発電リモコン
(後付構成の場合)



- ② 高出力ボタンを押す。

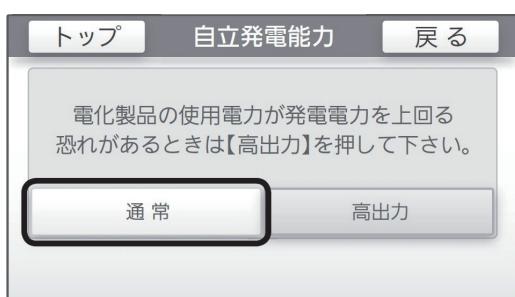


- ③ 左上部の文字が、自立・高に変わります。



- 高出力設定を通常に戻す場合

- ②の画面で通常ボタンを押します。



※ 通常モードに戻し忘れた場合は消費電力低下から約3分後に機器保護のため出力を下げます。

停電時に電気とお湯を使う

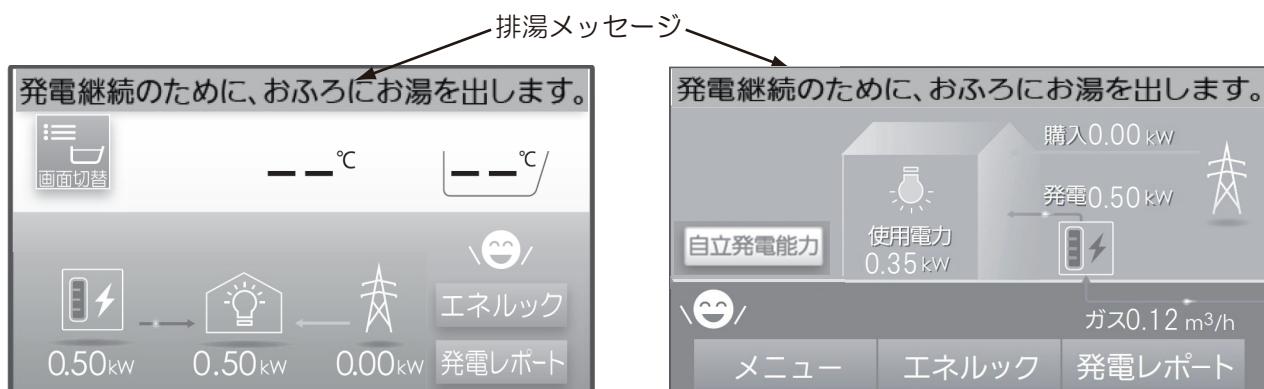
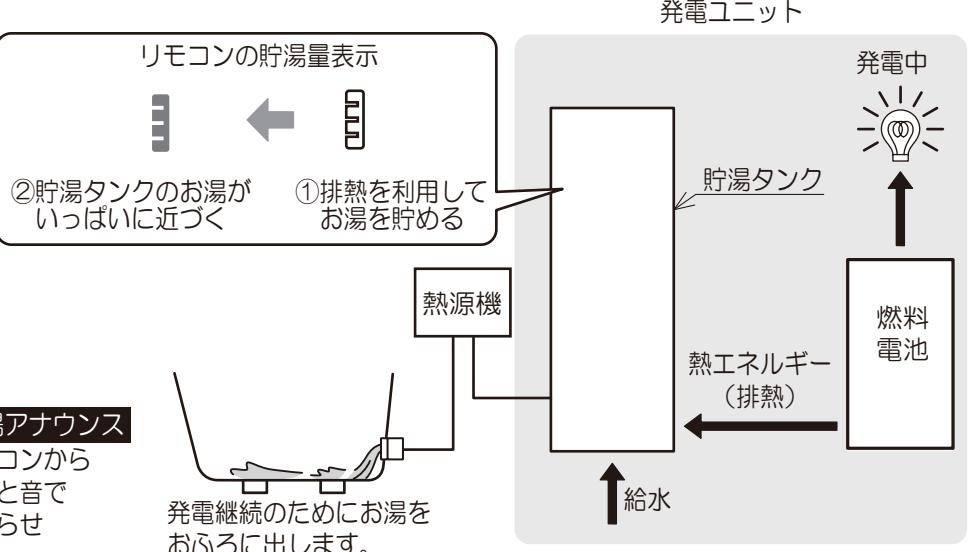
(自立運転機能付きのお客さまへ)

■ 排湯について（セット構成の場合のみ）

自立運転中は運転を継続するために排湯機能（※）により自動でおふろにお湯を出すことがあります。

※ 排湯機能とは…貯湯タンクがお湯でいっぱいに近づくと、リモコンの表示と音でお知らせした後、自動でおふろにお湯を出します。

貯湯量表示がいっぱいに近づくと、リモコンから「発電継続のためにおふろにお湯を出します」と表示と音でお知らせし、おふろにお湯を約10リットル出します。※状況により複数回お湯を出す場合があります。



！注意

- 排湯により、浴そうからお湯があふれるなど、思わぬ事故に注意してください。

お知らせ

- 自立時の自動排湯動作中に排湯を停止したい場合は、下記リモコン操作をしてください。発電を続けるために繰り返し排湯を行うことがあります。

①給湯トップ画面で「ふろ機能」をタッチする。



②「たし湯」をタッチする。



停電時に電気とお湯を使う

(自立運転機能付きのお客さまへ)

⚠ 警 告

自立運転専用コンセントには以下の機器を接続しない

自立運転専用コンセントには停電時だけ電気が供給され、停電が復旧すると自動的に電気の供給が止まります。途中で電源が切れると生命、財産に損害を受けるおそれがある以下の機器には接続しないでください。

- すべての医療機器
- 灯油を用いた暖房機器
- 炊飯器、電子レンジなどの調理機器
- バッテリーを搭載していないパソコンなどの情報機器および周辺機器
- 冷蔵庫のような連続的に電力の供給が必要な機器
- その他、電源が切れると生命、財産に損害を受けるおそれのある機器
- 最大電力が700W以上になる機器

主な電化製品の消費電力

- 数値は定格消費電力の一例です。実際の消費電力は、製品の種類や使用方法によって異なります。
- 電化製品の種類によっては、瞬間的に700Wを上回る電力負荷がかかるため、消費電力に関わらず使用できないことがあります。（冷蔵庫、洗濯機、エアコンなどは使用できません。）

製品名	消費電力の目安 (W)	製品名	消費電力の目安 (W)
携帯の充電器	15	卓上LED照明	20
ラジカセ	20	ガスファンヒータ	30
扇風機	40	ノートPC	75
液晶テレビ32型	150		
熱源機の暖房運転	180	熱源機の凍結防止運転	250
電気炊飯器	1100	ヘアードライヤ	1200

⇒ご使用できません

⚠ 注意

ガスファンヒータの使用について

- ・ガスファンヒータのご使用中は、部屋の換気にご注意ください。
必ず1時間に1～2回（各1～2分）、窓を開けるなどして換気を行ってください。
- ・自立運転専用コンセントで使用できる電力が少なく、ガスファンヒータを使用すると過負荷が発生するおそれがある場合は使用しないでください。
- ・ガスファンヒータ運転中に停電が発生すると、ガスファンヒータの冷却が正常に行われず、温風の吹き出し口や機器背面（エアフィルタ部や取っ手部分）が高温になり、手で触れるとやけどのおそれがあります。
- ・自立運転専用コンセントでガスファンヒータを使用しているときに異常を感じた場合は、ただちにガス栓を閉じてガスファンヒータの使用を中止し、販売店またはもよりのガス供給事業者に連絡してください。



確認



禁止



確認



確認

停電時に電気とお湯を使う

(自立運転機能付きのお客さまへ)

お知らせ

● 停電時に使用可能な電力は

熱源機の消費電力（数十W（※1））と合わせて最大で約700Wです。（セット構成の場合）消費電力の合計が発電量を超えないように注意してください。

※1 凍結予防など運転状態によって消費電力が変わりますので、リモコンの発電量と消費電力を確認しながらお使いください。

● 電化製品の電源を入れたとき

電化製品の種類によっては、一時的に使用できない場合があります。使用負荷によって過負荷を検知し、自立運転専用コンセントからの電気の供給が停止することがあります。

これらの場合、約90秒（発電ユニットの状態によっては10分程度必要になる場合があります）ほど待つと使用できるようになりますので、最後につないだ電化製品のコードを抜いた状態でお待ちください。

● 自立運転開始直後は

発電ユニットの状態によって、消費電力が700W以下の電化製品を使用した場合でも、一時的に使用できない場合がありますので、リモコン表示部の電力量を確認してから電化製品のコードをさしてください。

● 自立運転中に発電を停止させたい場合は、

リモコン操作により「発電禁止」で停止させてください。ただし、停電が復旧するまで再使用（発電）できません。

操作方法は、19ページ「発電停止方法」をご参照ください。

● 自立運転中は、

発電ユニットの蓄熱量が多いと、排気口から多くの湯気が出ることがありますが、故障ではありません。

● 断水状態（※2）時は、使用できる電気量を抑制したり、出力が不安定になることがあります。

・自立コンセントで使用する負荷が小さい場合

・発電ユニットの蓄熱量が多い場合

※2 断水状態：停電などの理由により、ご家庭への給水が停止している状態

● 以下の場合は自立運転を停止する場合があります。

・外気温が高く発電ユニット内水温が高い場合

※ 停止防止のために貯湯タンクのお湯を利用ください。

● 自立運転中は運転を継続するためにセット構成の場合は、自動でおふろにお湯を出すことがあります。後付構成の場合は、運転を継続するためにリモコンの貯湯量を確認していただき、給湯栓よりお湯をご使用して減らしてください。

故障・異常かな？と思ったら

次の場合は、故障ではありません。

症 状	原 因
排気口から湯気が出ている。	排気ガス中の水蒸気が凝縮し湯気が立つことがあります。 排気口付近に結露が発生することがあります。
前面パネルの排気口周囲に白い付着物がつく。	排気口付近の結露水に含まれる成分が付着する場合があります。付着した場合は布等によりふき取ることができます。
お湯を使っていないのに運転している。 お湯を使っているのに運転しない。	発電ユニットの発電・停止は、お湯を使う時間帯と必ずしも一致しません。
停止後も運転音がする。	機器を保護するために、停止後約10~12時間程度は運転しています。
排水配管から水がポタポタ出る。	排気ガス中の水蒸気が凝縮して水となり、排出されます。
発電出力を上昇させるのに時間を要する場合があります。	モジュール内部の温度が急上昇しないようゆっくりと出力を上昇させています。

故障・異常かな?と思ったときは、まずリモコンの表示をご確認ください。

※ 熱源機の取扱説明書も合わせてご確認ください。

症 状	原 因	処 置 方 法
リモコンが表示しない。	発電ユニットに接続された専用ブレーカがOFFになっている。	発電ユニットに接続された専用ブレーカをONにしてください。 ※ リモコンが表示したら、リモコンの時計合わせを行ってください。
リモコンが表示しない。 (自立運転機能付き)	停電時に自立運転専用コンセントに接続している電化製品の消費電力が発電量を超えている。	すみやかに接続した電化製品を取り外してください。
	発電ユニットがエラー停止している。	停電時、発電ユニットがエラーで発電を継続できなくなった可能性があります。 停電が復旧した後、リモコンにエラーが表示された場合は、38~39ページに記載の処置方法に従って処置を行ってください。
発電表示が消え、発電停止時にMマークを表示して停止している。	ガスマイコンメーターがガス漏れの有無を確認するための一時的な停止。 (※詳細は、24ページ「ご使用方法 運転・停止について」をご参照ください。)	Mマークの表示開始から24時間経過後に自動で運転を再開します。ただし、ガスのご使用状況や機器の動作状況により、リモコンに「01900」を表示し停止を継続する場合があります。 その場合は44ページを参照し、処置を行ってください。  台所リモコンおよび浴室リモコン (セット構成の場合)
「01900」を表示して停止している。	発電ユニット停止中に熱源機のガス使用が継続し、ガスマイコンメーターがガス漏れの有無を確認できなかった。	処置方法は、44ページを参照してください。
発電出力が家庭の電力需要量を大幅に下回る。	発電出力抑制モード中外気温が高いときなどに、運転継続させるための一時的な発電出力抑制。	しばらくお待ちください。 24時間経過しても発電出力に変化がない場合はガス会社または販売店に連絡してください。

故障・異常かな？と思ったら

症 状	原 因	処 置 方 法
発電エラーと「**F**」が交互に表示されている。	エラーが発生している。	<p>停止完了までお待ちください。（「発電X」表示中は再起動できません。）リモコン左上隅にある、発電マークと状態表示が消えたら停止完了です。42～44ページを参照し、エラーの処置を行ってください。</p> <p>エラー表示</p>  <p>台所リモコンおよび浴室リモコン (セット構成の場合)</p> <p>エラー表示</p>  <p>発電リモコン (後付構成の場合)</p>
「発電ユニットセルフチェック実施中」が表示されている。	故障診断のための一時的な停止。	<p>しばらくお待ちください。 24時間経過しても「発電ユニットセルフチェック実施中」の表示が消えない場合は、ガス供給事業者に連絡してください。</p>
発電中にリモコン左上の「発電中」の表示が「電圧抑制中」と表示される。	商用電源の電圧が設定値（電力会社による指定値）を超えないように、発電ユニットが電圧を自動検出し、発電量を自動で抑制します。	<p>商用電源の電圧が正常に戻れば「電圧抑制中」の表示は消え「発電中」に戻ります。頻繁に発生する場合は、お買い上げの販売店または電力会社にご相談ください。</p>
発電が停止しリモコン画面左上の「発電中」の表示欄に「↓」が表示される。	お客様の電力の使用量が少ない状態が継続し、十分な省エネ効果が得られないため発電を一定期間停止しています。	<p>お客様の電気使用量が増加すれば自動的に再発電します。電気使用量が増加しなければ長期間発電を停止する場合があります。停止中に起動する場合は【メニュー】→【発電メニュー】から【発電再開】を選択し【開始】を実行ください。</p>
リモコン設定よりも熱いお湯が出る。 お湯を出しても温度が上がらない。	この商品は、熱源機のガス消費量を抑えるために、熱源機に供給する水の温度を発電ユニットの排熱により予熱しています。このため、少ない流量でお湯をお使いの場合、設定温度よりも高めのお湯が出る場合があります。さらにお湯の流量を絞りすぎると、燃焼を停止する場合があります。	<p>お湯の量を増やしてご使用ください。 ※ 混合水栓でお湯と水とを混ぜてお使いの場合は、水栓から流れるお湯の量よりも熱源機を流れるお湯の量が少なくなります。混合水栓のレバーをお湯側にしてお使いください。</p>
お湯を出しても、熱くなったりぬるくなったりして、お湯の温度が安定しない。		
発電ユニットの起動時に数分程度音が大きくなる場合があります。	点火時に発生する燃焼音です。	音が継続して止まらない場合は、ガス供給事業者にご連絡ください。

エラー表示について

発電ユニットに不具合が生じたとき、熱源機のリモコンにエラーコード（**F）が表示されます。
発電ユニットのエラーコード一覧（1/2）

Ver.57.26

表示	故障内容	表示	故障内容
01F00	通常停止回数警告	43F01	燃焼排ガス温度高温異常
01F01	シャットダウン回数警告	43F02	燃焼排ガス温度低温異常
02F00	通常停止回数警告（起動禁止）	47F00	還流ガス温度センサ故障
02F01	シャットダウン回数警告 (起動禁止)	47F01	還流ガス漏れ異常
03F00	ホットモジュール起動許可条件成立待ち	47F02	還流ガス温度低温異常
03F01	スタック保護待機状態	50F01	停止時原燃料流量異常
03F03	シャットダウン後起動許可時間タイミングアウト	52F01	停止時エア流量異常
03F05	改質水タンク補給回数警告	52F02	エア流量異常
03F06	水抜き状態時起動警告	53F00	給湯混合弁原点復帰異常
03F07	改質水水量保護動作中	55F00	可燃ガスセンサ1異常
05F00	メンテナンス時間超過1	55F01	可燃ガスセンサ2異常
05F03	可燃ガスセンサ時間超過	55F10	可燃ガスセンサ1異常
05F04	可燃ガスセンサ時間超過	55F11	可燃ガスセンサ2異常
08F00	自立運転保護動作	57F01	伝導度上限異常または水位センサ短絡故障
08F02	水不足による保護停止	59F00	燃焼触媒故障
08F03	自立時過負荷検出	60F00	原燃料流量偏差異常
10F00	可燃ガスセンサ1 ガス漏れ異常	60F01	原燃料ガスプロアDUTY上限異常
10F01	可燃ガスセンサ2 ガス漏れ異常	61F00	エア流量偏差異常
10F10	可燃ガスセンサ1 ガス漏れ異常	61F01	エアプロア故障
10F11	可燃ガスセンサ2 ガス漏れ異常	62F00	改質水ポンプ故障
11F00	着火異常	63F00	フロートスイッチ断線故障
12F00	燃焼部#1失火異常	63F01	フロートスイッチ短絡故障
12F01	燃焼部#2失火異常	64F00	排熱回収水ポンプ故障
12F04	失火による出力異常	66F00	改質水補給異常
12F05	失火継続異常	67F00	水位異常または水位センサ短絡故障
15F00	起動異常	67F01	水位センサ断線故障
17F00	バイメタルサーモスタッフ作動	67F04	改質水ライン水張り異常
19F00	漏電・過電流ブレーカ保護作動	68F00	原燃料入口電磁弁駆動回路異常
20F00	冷却ファン故障	68F01	原燃料入口電磁弁異常
30F00	改質入口温度センサ故障	70F00	インバータ通信異常
30F01	改質入口温度高温異常	70F01	インバータ連系パラメータ受信異常
30F02	改質入口温度低温異常	72F01	給湯器ラインまたはインバータ異常
30F03	改質入口温度センサ不定故障	72F03	自立出力リレー固着警告
40F00	燃焼部#1温度センサ故障	72F04	自立出力リレー固着異常
40F01	燃焼部#1温度高温異常	72F05	給湯器電源リレー系統側固着異常
40F02	燃焼部#1温度低温異常	72F06	給湯器電源リレー系統側固着異常
40F03	燃焼部#1温度センサ不定故障	76F00	セット構成給湯器通信異常
42F00	モジュール温度センサ故障	76F01	後付構成用発電連係リモコン通信異常
42F01	モジュール温度高温異常	76F02	リモコンアンマッチ
42F02	モジュール温度低温異常	76F03	リモコン電源電圧低下異常
42F04	モジュール温度センサ不定故障	77F00	改質水ポンプ駆動回路異常
43F00	燃焼排ガス温度センサ故障	77F02	制御装置可燃ガスセンサ増幅回路異常
		77F03	制御装置LPガスセンサ増幅回路異常

エラー表示について

発電ユニットのエラーコード一覧 (2/2)

表示	故障内容
77F04	制御装置パラメータ破損異常
77F05	FCメンテデータ差異異常
77F06	FCパラメータ差異異常
77F08	原燃料流量計通信異常
77F09	カソード エア流量計通信異常
77F10	原燃料流量計測値フリーズ異常
77F11	カソード エア流量計測値フリーズ異常
78F15	直流ヒータ過電流警告
79F00	コントローラスイッチ部短絡故障
80F00	排熱回収水入口温度センサ故障
80F01	排熱回収水入口温度高温異常
81F00	排気熱交換器内温度センサ故障
81F01	排気熱交換器内温度高温異常
81F02	排気熱交換器内温度低温異常
82F00	排熱回収水出口温度センサ故障
82F01	排熱回収水出口温度高温異常
82F02	排熱回収水出口温度低温異常
83F00	補機室上部温度センサ故障
83F01	補機室上部温度高温異常
85F00	水道水温度センサ故障
86F00	混合湯温度センサ故障
86F01	混合湯温度高温異常
86F02	水道水温度センサ／混合湯温度センサ精度異常
88F00	自立ヒータ温度センサ故障
88F01	自立ヒータ上部温度高温異常
89F00	自立トランス温度センサ故障
89F01	自立トランス高温異常
93F00	停止時間タイムアウト
95F00	改質水タンク水量不足またはフロートスイッチ故障
A0F00	原燃料供給圧低または圧力センサ故障
A1F00	原燃料供給圧高または圧力センサ故障
B0F00	ホットモジュール高温状態検出
B0F02	改質触媒高温状態
B1F02	水張り時エア抜き警告
B4F01	点火ヒータ連続通電時間オーバー
B6F00	パソコン通信異常
B8F00	改質水タンク水無し状態検出
C0F00	スタックトータル電圧低下
C0F02	コンバータ過電流警告
C0F03	直流リンク過電圧警告
C4F00	直流不足電圧検出
C5F01	インバータDC/DC部温度高温異常

表示	故障内容
C5F02	インバータDC/AC部温度高温異常
C5F03	インバータ低温警告
C5F04	インバータ高温異常
C6F01	EEPROM異常
C7F00	ハードウェア故障
C7F01	インバータ温度センサ故障
C7F02	連系リレー故障
C7F04	24V補機電源電圧上限異常
C7F05	24V補機電源電圧下限異常
C7F06	24V補機電源通電警告
C7F07	2.5V補機電源電圧上限異常
C7F08	2.5V補機電源電圧下限異常
C7F12	5V補機電源電圧上限異常
C7F13	5V補機電源電圧下限異常
C7F14	スタック電流通信異常
C7F15	商用電流回路異常
C7F17	インバータソフトバージョン異常
C7F23	自立周波数不確定異常
C7F25	自立構成異常
C7F26	自立発電電圧不安定異常
C7F27	自立発電電圧不安定警告
C7F28	自立出力準備中シーケンス異常
C9F00	インバータ入力過電流
E0F00	商用電流検出異常（誤配線）
E1F00	CT自動補正不能
E1F01	CT誤取り付け警告
E4F00	商用電流検出異常
E7F00	N相過電流異常
F0F00	系統過電圧警告
F1F00	系統不足電圧警告
F2F00	系統周波数上昇警告
F3F00	系統周波数下降警告
F4F00	単独運転受動方式検出
F5F00	単独運転能動方式検出
F6F00	系統瞬時過電圧
F7F00	直流過電圧検出
F7F01	リンク不足電圧検出
F7F02	リンク過電圧検出
F7F03	出力電流直流分流出検出
F7F05	インバータ側通信異常
F7F06	瞬時過電流
F9F00	逆潮流検出
O1900	マイコンメーター内管漏洩警報防止

エラー発生時の処置方法について

エラー発生時の処置方法について

- リモコンにエラーコード「**F**」を表示します。
エラーコードの表示が「**F**」ではない場合は熱源機側の不具合です。熱源機の取扱説明書を参考ください。
- リモコンに下記エラーコードが表示された場合、処置方法に従い処置を行ってください。
- 下表以外のエラーコードについては、ガス会社または販売店にご連絡ください。
- エラーリセット（異常解除）の方法
 - ・セット構成の場合は、リモコンのON/OFFスイッチを一度押して「OFF」にしてから、再度押して「ON」にします。（14ページ参照）
 - ・後付構成の場合は、下記手順でリセットします。

① メイン画面より[メニュー]を選択してください。



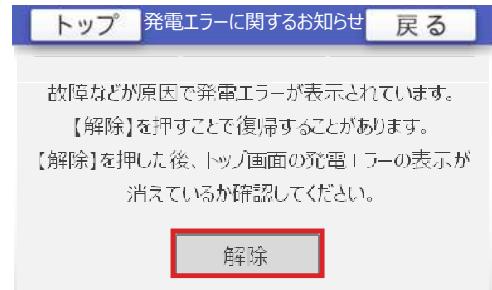
② メニュー画面より[お知らせ]を選択してください。



③ お知らせ画面より[発電エラーに関するお知らせ]を選択してください。



③ [解除]ボタンを押してください。。



- 停止工程に10～12時間かかります。
エラーをリセットしても、停止工程が終了するまで再起動しません。

エラー発生時の処置方法について

⚠ 警 告

●お客様自身で部品の点検・調整はしないでください。

感電・火災・水漏れの原因となります。



禁止

●機器の異常に気付いたときは、メンテナンス会社もしくは、ガス供給事業者に連絡してください。

異常のまま運転を続けると感電・火災・故障などの原因となります。



確認

表示	故障内容	原因	処置方法
01F00	・通常停止回数警告	起動停止の回数が多すぎます。	このまま使用を継続されると、故障の原因になるおそれがあり、保証の対象外となる場合がありますので、ガス供給事業者にご連絡ください。
01F01	・シャットダウン回数警告	発電ユニットが高温であるため起動できません。	冷却されるまでお待ちください。
03F00	・ホットモジュール起動許可条件成立待ち	起動時にアラームが発生したが、モジュール内部が高温のため、自動再起動ができない。	冷却されるまでお待ちください。
03F03	・シャットダウン後起動許可時間タイムアウト	改質水タンク補給回数警告	ガス供給事業者にご連絡ください。
03F05	・改質水タンク補給回数警告	水抜き、水張りが中止された状態で発電ユニットの起動操作が実施された。	発電禁止操作（19ページ参照）を行い、エラーをリセット（41ページ参照）し、水張り（15ページ参照）を実施後、発電ユニットを起動（16ページ参照）してください。
03F06	・水抜き状態時起動警告	定期交換部品の交換が必要です。	ガス供給事業者にご連絡ください。
05F00	・メンテナンス時間超過		
05F03	・可燃ガスセンサ時間超過		
05F04			
08F00	・自立運転保護動作	電力使用量が少ないため、保護停止しています。	給湯および電力使用量が350W以上必要です。
08F03	・自立時過負荷検出	電力使用量が700Wを超えていました。	33ページを参照してリセットしてください。 1時間経過しても起動しない場合は、ガス供給事業者にご連絡ください。

エラー発生時の処置方法について

表示	故障内容	原因	処置方法
10F00	・可燃ガスセンサ1 ガス漏れ異常	発電ユニット内部でガス漏れが発生した場合、もしくは発電ユニット外部から自動車の排気ガスなどの可燃性ガスが流入した場合に、ガスを検知して停止しています。	ガス供給を遮断していますが念のため発電ユニット専用ガス栓を閉じて、ガス供給事業者にご連絡ください。
10F10			
10F01	・可燃ガスセンサ2 ガス漏れ異常		
10F11			
15F00	・起動異常	着火、燃焼不具合で一定時間内で発電することができなかった。	翌日（発電ユニット内の温度が下がってから）再起動してください。
17F00	・バイメタルサーモ スタット作動	断水している可能性があります。	給水されていることを確認後、発電ユニットの水張り操作を実施してください。 再発する場合は、ガス供給事業者にご連絡ください。
81F01	・排気熱交換器内温度 高温異常	断水している可能性があります。	発電禁止操作を実施後に、エラーをリセット（42ページ参照）してください。給水されていることを確認後、発電ユニットの水張り操作を実施してください。水張り完了後、「発電禁止からの再開」を実施してください。再発する場合は、ガス供給事業者にご連絡ください。
82F01	・排熱回収水出口温度 高温異常		
A0F00	・原燃料供給圧低または 圧力センサ故障	ガス栓が閉まっているか、ガスマイコンメーターが遮断されています。	ガス栓が閉まっている場合は、ガス栓を開けてください。 ガスマイコンメーターが遮断している場合は、ガスマイコンメーターを復帰させてから、リモコンでエラーをリセットしてください。 操作方法がわからない場合はガス供給事業者までご連絡ください。
E0F00	・商用電流検出異常	購入電力の検出に異常がある可能性があります。	ガス供給事業者にご連絡ください。
E4F00	・商用電流検出異常		
F9F00	・逆潮流検出		
01900	マイコンメーター内管漏洩 警報防止（後付構成では発生しないエラーです。）	機器の異常ではありません。発電ユニット停止中に熱源機のガス使用が継続し、ガスマイコンメーターがガス漏れの有無を確認できなかった場合に表示します。	<ul style="list-style-type: none"> 全てのガス機器（暖房を含む）を最低70分停止してください。ただし、機器が凍結予防動作などを行った場合、この表示が消えことがあります。その場合はさらに70分以上ガス機器を停止してください。 作業を実施しても表示が消えない場合は、ガス供給事業者に連絡してください。 床暖房の長時間使用により頻繁に[01900]が表示される場合は、給湯や浴室暖房乾燥機などガス機器を使用しない時間帯に、床暖房リモコン等のタイマー設定により床暖房を70分以上停止する時間帯を設定ください。

長期間使用しない場合

- 旅行等のため、1ヶ月以上使用しないときは、リモコンで「不在停止」にし、発電ユニットを停止させてください。（手順は19ページを参照ください。）
- 1ヶ月以上不在にされる間に凍結のおそれがある場合（気温が氷点下になる可能性がある場合）は、発電ユニットの本体ブレーカを切らないでください。
電源が確保できない場合は、下記の発電ユニット水抜き手順に従い水抜きを実施してください。
水抜きをしないと故障の原因となります。（お手数ですがお客さままで実施ください。）
- 使用開始時には専門のサービスマンがお伺いしますので、ガス供給事業者にご連絡ください。
- 引越しをされる場合は、その2~3日前までに前もってガス供給事業者にご連絡ください。
- 1ヶ月以上使用しない場合、熱源機の水抜きも必ず実施してください。
手順は熱源機の取扱説明書をご参考ください。

■ 発電ユニットの水抜き方法

⚠ 注意

水抜き時タンク排水配管には触れない

場合によってはお湯が排出されることがあります。やけどの原因になることがあります。



水抜き時はエア抜き栓の正面に身体を置かない

場合によってはお湯が飛び出しがあります。やけどの原因になることがあります。



発電ユニット水抜き手順

①リモコンをOFFにし(ON/OFFスイッチ部のLEDランプを消す。)液晶画面部をタッチする。

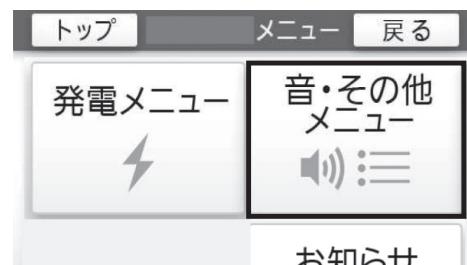
②メイン画面よりメニューを選択してください。
台所リモコンおよび浴室リモコン
(セット構成の場合)



発電リモコン
(後付構成の場合)



③メニュー画面より音・その他メニューを選択してください。

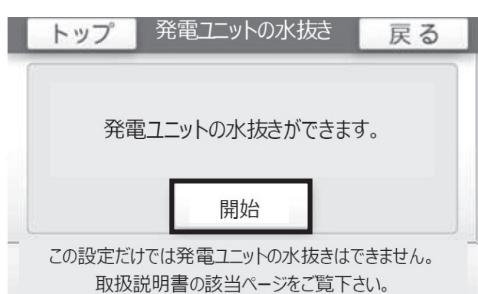


長期間使用しない場合

④音・その他メニュー画面より発電ユニットの水抜きを選択してください。



⑤開始ボタンを押してください。



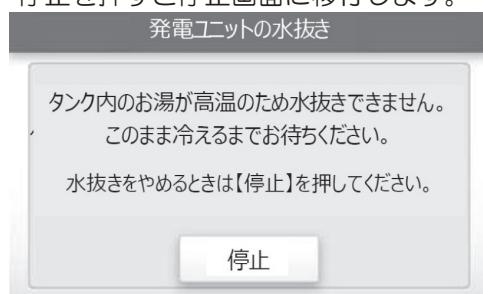
⑥タンク内低温時



水抜きを停止したい場合は停止ボタンを押すと、⑪に移行します。



※ タンク内水温が下がると⑥に移行します。
停止を押すと停止画面に移行します。

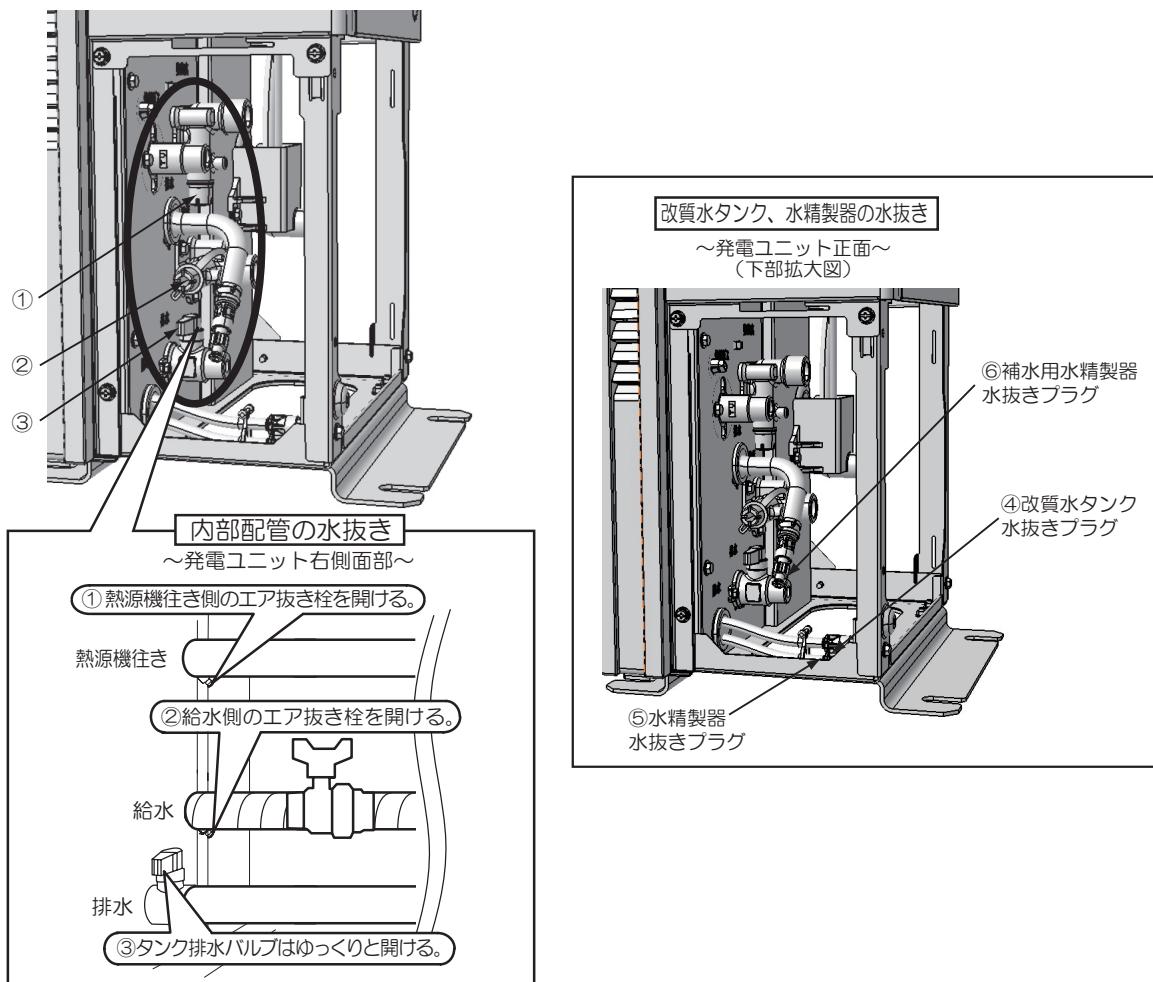


タンク内
高温時
※タンク内温度が
低い場合でも
10分間は冷却
します。

タンク内部温度冷却後

水抜きが完了すると、メイン画面に
自動的に移行します。
※ 30分経過しても水抜きが終了しない
場合は、水抜きを中止し、各バルブ確
認後再度①より実施してください。

長期間使用しない場合



⑦下記バルブの操作をしてください。

- ・給水バルブを閉じます。

※ 給水バルブを閉じずに以降の操作をすると、ユニット内部機器の寿命が著しく短くなりますのでご注意ください。

- ・熱源機往き配管のメンテ用バルブを閉じます。
- ・③タンク排水バルブを開けます。

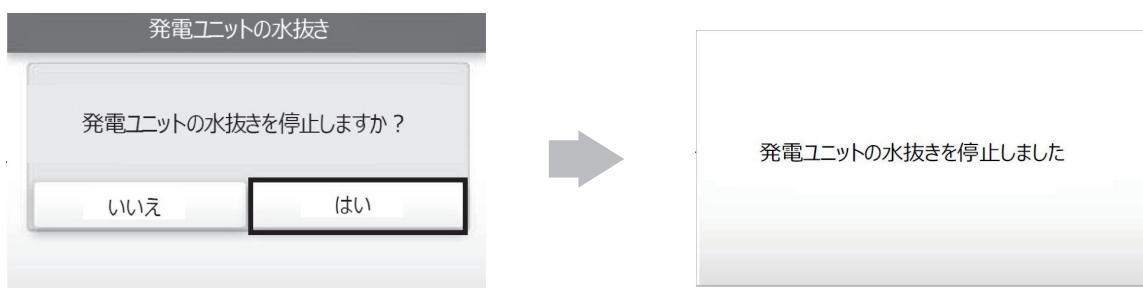
- ・②給水側、①熱源機往き側のエア抜き栓を反時計回りに3回転させます。

⑧⑨改質水タンクと⑤、⑥水精製器の水抜きプラグ計3ヶ所を反時計回りに1回転させ、改質水を抜きます。
(全て排水されるまで、約10分かかります。)

⑩⑪水抜き完了後（メイン画面が表示される）ホースから水が出なくなったことを確認し、④、⑤、⑥の水抜きプラグを時計回りに回して締めてください。

⑫⑬給水側（下側）、①熱源機往き（上側）のエア抜き栓を閉め、⑭タンク排水バルブを閉めます。

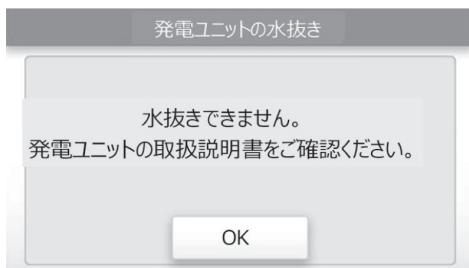
⑮水抜き途中停止方法



「いいえ」を押すと前の画面に戻ります。

長期間使用しない場合

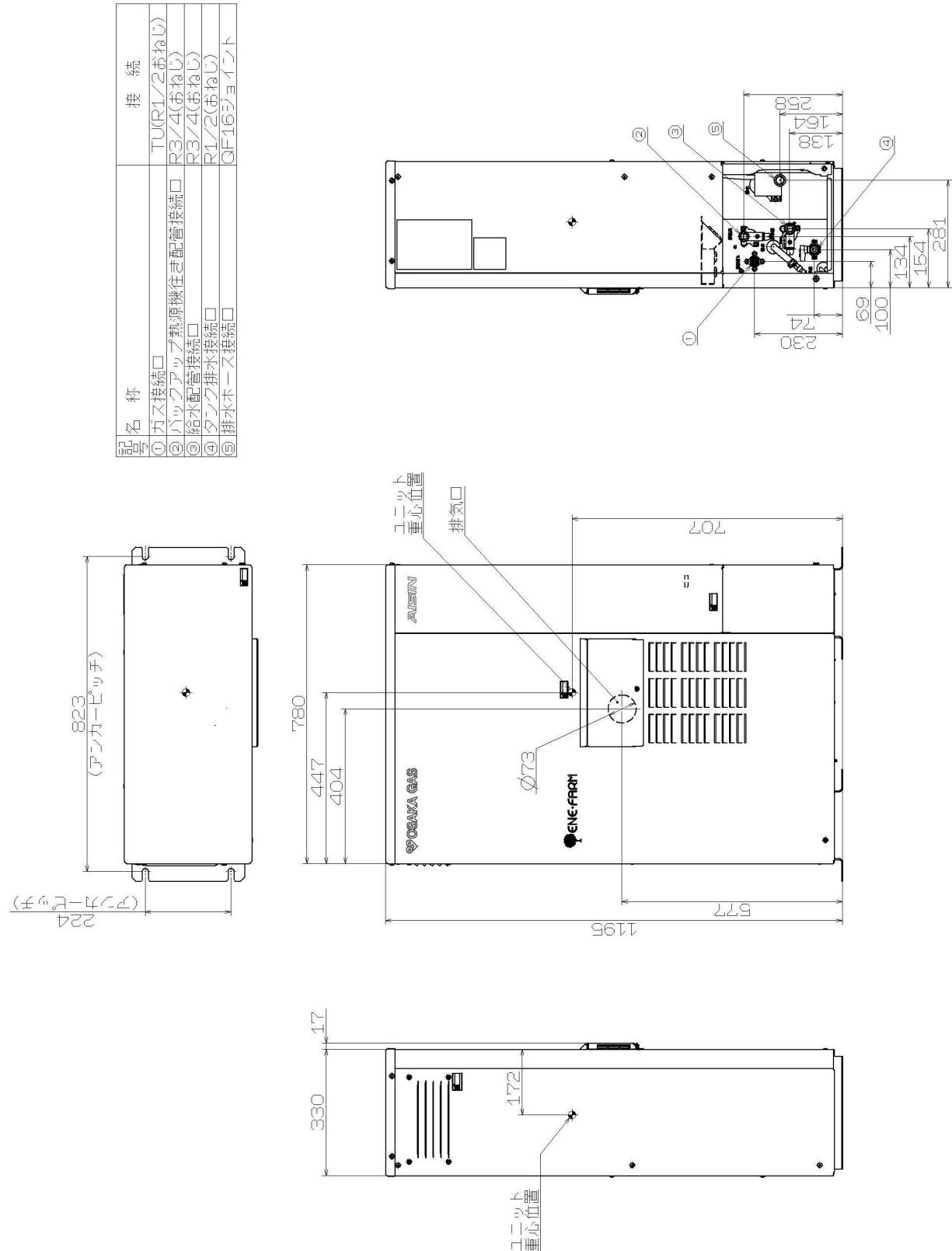
※ 水抜き手順で下記画面が表示される場合



水抜きは、発電ユニットが停止状態のみ受け付けます。
発電ユニットが完全に停止後、再度操作してください。

- 使用開始時には専門のサービスマンがお伺いしますので、ガス供給事業者にご連絡ください。

外形図



アフターサービスと保証について

修理を依頼するとき

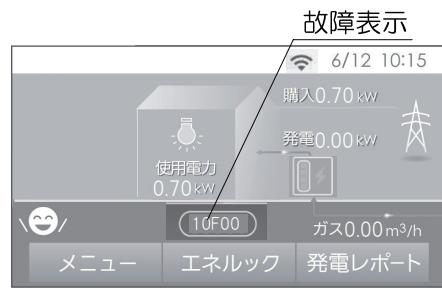
修理を依頼される前に、38~39ページの「故障・異常かな?と思ったら」の項目を見て、今一度ご確認ください。不具合があるときはご自分で修理せず、ガス供給事業者にご連絡ください。

- アフターサービスをお申しつけいただくときは、次のことをお知らせください。

1. 商品コード・・・192-AS05
192-AS06
2. 品名・・・エネファーム type S
(燃料電池発電ユニット)
3. ガス種・・・都市ガス(13A)／LPG
4. お買い上げ年月日
5. 故障の状況・・・できるだけ詳しく(故障表示など)
6. ご住所、お名前、電話番号
7. 訪問ご希望日



台所リモコンおよび浴室リモコン
(セット構成の場合)



発電リモコン
(後付構成の場合)

保証について

- この燃料電池発電ユニットには保証書がついています。
必ず「販売店名・お買い上げ日等」が記入されていることを確認してください。
- 保証書の内容をよくお読みになった後は大切に保管してください。
- 無料修理期間経過後の故障修理については、修理によって機能が維持できる場合、有料で修理いたします。

引越しまたは機器を移設する場合

- 発電ユニットを安全で快適にご使用いただくため次のことをご確認ください。
移設工事はお買い上げの販売店に依頼し、お客様ご自身ではなさらないでください。
- 引越しなどで燃料電池発電ユニットを移動・再設置する場合は専門の技術が必要ですので、
前もってお買い上げの販売店にご相談ください。
 - 燃料電池発電ユニットを廃棄する場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

補修用性能部品について

燃料電池発電ユニットの補修用性能部品の保有期間は
製造打ち切り後10年です。

- 性能部品とは製品の性能を維持するために必要な部品です。

熱源機を買い替える場合

- 熱源機との組合せによっては安全・性能が担保できずやけど等の事故が発生する可能性があります。
- 熱源機を買い替える場合は必ず大阪ガスにご相談ください。

アフターサービスと保証について

大阪ガス製エネファームフルメンテナンスサポートサービスのご案内

1. フルメンテナンスサポートサービスとは

フルメンテナンスサポートサービス（以下、「本サービス」といいます。）は、大阪ガス株式会社（以下、「大阪ガス」といいます。）または大阪ガスが指定するガス会社との間でガス使用契約を締結し、その使用場所で大阪ガス製エネファーム（以下、「エネファーム」といいます。）をご利用いただいているお客さま（以下、「お客さま」といいます。）を対象に、大阪ガスがエネファームの故障時の修理を無償で実施するサービスです。本サービスの内容は、次ページ以降の「フルメンテナンスサポートサービス利用規約」（以下、「利用規約」といいます。）によります。

2. 注意事項

- (1) 利用規約第3条第2項に定める事由に該当する場合は、本サービスの提供期間内においても、故障時の修理は有償となります。（以下、抜粋）
①ご使用上の誤り、または不当な修理や改造による故障および損傷
②お買い上げ後の取付場所の移動、落下等による故障および損傷
- (2) 利用規約第5条第1項に定める事由に該当する場合は、本サービスの提供を終了させていただきます。（以下、抜粋）
①大阪ガスの事前の同意なく、本サービスの対象機器の所有者が変更された場合
②大阪ガスの事前の同意なく、本サービスの対象機器の設置場所が変更された場合
③大阪ガスまたは大阪ガスの指定する大阪ガスの子会社（以下、あわせて「大阪ガスグループ」といいます。）とガス使用契約を締結し、本サービスの提供を受けていたお客さまが大阪ガスグループとのガス使用契約を解約し、大阪ガスグループ以外のガス会社との間でガス使用契約を締結した場合
※ 大阪ガスの指定する子会社：大阪ガスＬＰＧ株式会社、豊岡エネルギー株式会社（平成28年4月1日現在）
- (3) 前記（2）により本サービスの提供が終了した場合（利用規約第5条ご参照）や、利用規約に従い有償となる場合（利用規約第3条ご参照）には、数千円～数十万円の費用が必要となります。

アフターサービスと保証について

【フルメンテナンスサポートサービス利用規約】

フルメンテナンスサポートサービス（以下、「本サービス」といいます。）は、大阪ガス株式会社（以下、「大阪ガス」といいます。）または大阪ガスが指定するガス会社との間でガス使用契約を締結し、その使用場所で大阪ガス製エネファーム（以下、「エネファーム」といいます。）をご利用いただいているお客さま（以下、「お客さま」といいます。）を対象に、大阪ガスがエネファームの故障時の修理を無償で実施するサービスです。大阪ガスまたは大阪ガスが指定する業務代行店が、以下の各条にしたがい、本サービスを提供いたします。

第1条（本サービスの提供期間）

本サービスの提供期間は、次の通りとします。但し、①または②により定まるサービス提供開始日が、次条に定める本サービスの対象機器の設置日から起算して1年を経過している場合は、設置日から起算して1年を経過した日をサービス提供開始日とします。

①大阪ガスとの間でガス使用契約を締結し、エネファームをお使いいただく場合

サービス提供開始日：設置されたエネファームが初めて系統連系を実施した日またはガスの開栓日のいずれか遅い日

サービス提供終了日：サービス提供開始日から起算して10年を経過する日

②大阪ガスが指定するガス会社との間でガス使用契約を締結し、エネファームをお使いいただく場合

サービス提供開始日：設置されたエネファームが初めて系統連系を実施した日

サービス提供終了日：サービス提供開始日から起算して10年を経過する日

第2条（本サービスの対象機器）

本サービスの対象機器（以下、「対象機器」といいます。）は、エネファームを構成する燃料電池発電ユニット、燃料電池発電ユニットと同時に設置した当社指定のバックアップ熱源機、リモコンセット並びにバックアップ熱源機に接続されている大阪ガス製の端末機および別売部品とし、バックアップ熱源機以外の温水機器及び、給湯配管、風呂配管、温水配管、信号線等の施工部分、は含まないものとします。

2.前項の端末機とは、「床暖房リモコン」、「浴室暖房乾燥機」、「ヌックシリ工」等をいい、別売部品とは、「自動電源切替器」、「マルチ計測ユニット」、「ネットアダプタ」をいいます。

3.前条の定めにかかわらず、端末機および別売部品のサービス提供終了日は、接続しているエネファームのサービス提供終了日もしくは当該端末機または当該別売部品の設置日から起算して10年を経過する日のいずれか早い方とします。

第3条（故障時の修理）

本サービスの提供期間内に対象機器が故障したときは、大阪ガスはお客さまの依頼によりすみやかに技術者を派遣し、適切な修理を行います。修理に要した基本料、技術料および部品代金等の費用は無償となります。なお、本サービスの提供期間終了後においても、お客さまの依頼があるときは、修理が不可能または著しく困難な場合を除き、有償で故障の修理を行います。

2.前項の定めにかかわらず、次の各号のいずれかに該当する場合は、本サービスの提供期間内においても、修理は有償となります。

①ご使用上の誤り、または不当な修理や改造による故障および損傷

②お買い上げ後の取付場所の移動、落下等による故障および損傷

③火災、塩害、地震、風水害、落雷、煤煙、降灰、酸性雨、腐食性等の有害ガス、ほこり、異常気象、異常電流・電圧・周波数・電磁波、ねずみ・鳥・蜘蛛・昆虫類等の侵入、その他天変地異または戦争、暴動等破壊行為による故障および損傷

④水道管の錆など異物の流入による故障および損傷

⑤車両船舶に備品として搭載された場合に生じた故障および損傷

⑥音、振動、塗装の退色、メッキの軽微な傷、錆など設計仕様の範囲内の感覚的な現象の場合

⑦ガス発電・給湯・暖冷房システムのうち、大阪ガスまたは大阪ガス指定以外の業者の施工部分およびその施工部分に起因した故障および損傷

⑧業務用の場所（喫茶店、理美容院、飲食店、事務所等）で長時間ご使用になられた場合

⑨商品に表示しているガス以外のガスでご使用になられた場合

⑩温泉水、井戸水、地下水を給水したことによる不具合

⑪本規約の字句を書きかえられた場合。

⑫大阪ガスが定める定期点検以外での消耗品の交換に伴う、部材費、手数料、基本料

アフターサービスと保証について

- ⑬停電時以外で自立運転を頻繁に使用したことに起因する故障および損傷
- ⑭手動操作による「起動」「停止」を頻繁に繰り返し行い、機器の耐久性が低下したことによる故障および損傷
※ SOFCタイプの「不在停止」操作は、10回/年を目安とし、10日以上不在となる場合にご利用ねがいます。
- ⑮エネファーム燃料電池発電ユニット（SOFCタイプ）の最大発電出力の低下範囲が日本ガス機器検査協会の検査規定JIAFO35.11に定める下限値（定格出力の90%）の90%を下回らない場合
- ⑯機器の性能・耐久性維持のための定期点検など、大阪ガスからのお願いにご協力いただけずに発生した機器の耐久性低下による故障および損傷
- ⑰商品に同梱の工事説明書および取扱説明書に指示する方法以外の工事設計または取扱等が原因で生じた故障および損傷

第4条（本サービスの提供に対する協力等）

お客さまは、本サービスの提供が円滑に行われるよう、大阪ガスおよび大阪ガスの業務代行店に全面的に協力するものとし、次の各号に定める事項について承諾するものとします。

- ①本サービスの提供に要する電気、水道、ガス料金その他の費用がお客さまの負担となること
- ②本サービスの提供は、原則として、大阪ガスの通常営業時間中に行うこととし、止むを得ず大阪ガスの通常営業時間外に本サービスの提供を行う必要のある場合は、お客さまと大阪ガスが協議のうえ、大阪ガスが指定する時間帯に行うこと
- ③お客さまは、転宅または対象機器の譲渡、移転をする場合、大阪ガスまたは大阪ガスの業務代行店に事前に連絡すること

2.大阪ガスまたは大阪ガスの業務代行店は、本サービスの提供にあたり、充分な注意を払い、誠意をもってこれを行うものとします。

第5条（本サービスの提供の終了について）

次の各号のいずれかに該当する場合は、サービス提供終了日より前であっても、本サービスの提供を終了することについて、お客さまは承諾するものといたします。

- ①大阪ガスの事前の同意なく、対象機器の所有者が変更された場合
(大阪ガスが事前に所有者の変更に同意した場合は、本規約にかかるお客さまの地位は、対象機器の新所有者に移転するものとします。この場合、対象機器の旧所有者は、大阪ガスへ何らの請求も行えないものといたします。)
 - ②大阪ガスの事前の同意なく、対象機器の設置場所が変更された場合
 - ③大阪ガスまたは大阪ガスの指定する大阪ガスの子会社（以下、あわせて「大阪ガスグループ」といいます。）とガス使用契約を締結し、本サービスの提供を受けていたお客さまが大阪ガスグループとのガス使用契約を解約し、大阪ガスグループ以外のガス会社との間でガス使用契約を締結した場合
 - ④お客さまが、暴力団、暴力団関係企業をはじめとする反社会的勢力またはその構成員または準構成員に該当することが判明した場合や、自らまたは第三者を利用して次のいずれかに該当する行為をした場合
 - イ.暴力的な要求行為
 - ロ.法的な責任を超えた不当な要求行為
 - ハ.取引に関して、脅迫的な言動をし、または暴力を用いる行為
 - 二.風説を流布し、偽計を用いまたは威力を用いて大阪ガスの信用を毀損し、または大阪ガスの業務を妨害する行為
 - ホ.その他イないしニに準ずる行為
- ⑤その他止むを得ない事情により永続的にサービスの提供ができないと大阪ガスが判断した場合
- 2.前項の規定により本サービスの提供を終了した場合、お客さまに損害が生じたとしても、大阪ガスは何ら法的な責任を負わないものとします。但し、大阪ガスの責めに帰すべき事由に起因する場合は、この限りではありません。

第6条（本サービスの提供ができない場合等の免責）

次の各号のいずれかに該当する場合は、大阪ガスは本サービスの提供を免れるものとします。

- ①長期のご不在や、メンテナンススペースの確保が出来ていないなどの止むを得ない事情により、本サービスの提供を行うことができないと大阪ガスが判断する場合
- ②その他止むを得ない事情により一時的に本サービスの提供を行うことができない場合

アフターサービスと保証について

2.大阪ガスは、対象機器の故障発生に伴ってお客さままたは第三者に発生したいかなる損害についても法的な責任を負わないものといたします。但し、大阪ガスの責めに帰すべき事由に起因する場合は、この限りではありません。

第7条（管轄裁判所）

本サービスに関する一切の訴訟については、大阪地方裁判所を第一審の専属的合意管轄裁判所とします。

第8条（その他）

本サービスに関する疑義または本規約に定めのない事項については、お客さまおよび大阪ガスの双方が誠意をもって協議し、円満に解決を図るものとします。

【お客さま情報の利用目的】

当社は、本サービスの提供に関して、当社が直接または業務委託先等を通じて、または電話帳・住宅地図等の刊行物等により、お客さまの氏名、住所、電話番号等の情報（以下「お客さま情報」といいます。）を取得しますが、これらの情報は以下の目的に利用させていただきます。

- ①エネルギー供給およびその普及拡大
- ②エネルギー供給設備工事
- ③エネルギー供給設備・消費機器(厨房、給湯、空調等)の修理・取替・点検等の保安活動
- ④漏洩・火災自動通報、供給の遠隔遮断等のエネルギー供給事業に関連するサービスの提供
- ⑤エネルギー消費機器・警報器等の機器および住宅設備の販売（リース・レンタル等を含む）、設置、修理・点検、商品開発、アフターサービス
- ⑥上記各種事業に関するサービス・製品のお知らせ・PR、調査・データ集積・分析、研究開発
- ⑦その他上記①から⑥に附随する業務の実施

なお、当社は、本サービスの提供を円滑に進めるため、業務代行店等に業務の一部を委託することがあります。その際、当社からこれらの業務委託先に必要な範囲でお客さま情報を提供することがあります。その場合、当社は、業務委託先との間で取扱いに関する契約を結ぶ等、適切な監督を行います。

まずはじめに

ご使用前に

エネルック

停電時の自立運転

メニューからの
運転・設定

こんなとき

困ったとき

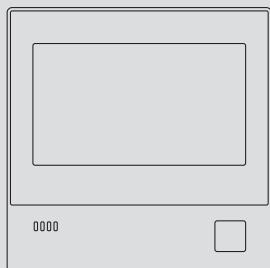
ご参考

後付構成用発電連係リモコン 取扱説明書

リモコン操作編

リモコン型番

138-N412型
138-N413型



まずははじめに

この取扱説明書の見かた

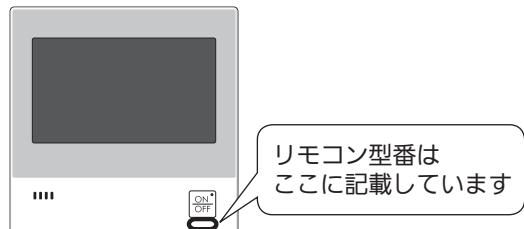
このたびは大阪ガスのリモコンをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

- この取扱説明書をよくお読みになって、正しくご使用ください。なお、ご不明な点があれば販売店または、もよりの大坂ガスにお問い合わせください。
- この取扱説明書は別冊の「エネファームtypeS燃料電池発電ユニット」の取扱説明書(保証書付)と併せて、いつでもご覧になれるところに保管してください。

後付構成用発電連係リモコンの操作を説明しています

- 燃料電池発電ユニットについては、別冊の「エネファームtypeS燃料電池発電ユニット」の取扱説明書で説明していますので、併せてお読みください。

- リモコン型番138-N412型は、無線LAN機能付です。
無線LANに関する操作は、別冊の「無線LAN設定編」をご覧ください。
リモコン型番138-N413型は、無線LAN機能なしです。



逆潮流有の設定を選択された場合は、画面表示が異なります(P10)

- 逆潮流有の設定を選択された場合とされていない場合で、発電に関する表示が異なります。
この取扱説明書では、逆潮流有の設定を選択されていない場合の表示例で説明しています。
- この取扱説明書では、「逆潮流有の設定を選択された場合」を「逆潮流の場合」として説明しています。

この取扱説明書での機器の呼びかた

- 燃料電池発電ユニットを**発電ユニット**、燃料電池発電ユニットと給湯機器を合わせたシステムを**エネファーム**と呼びます。
- 後付構成用発電連係リモコンを**発電リモコン**と呼びます。
- ガスマーター(マイコンメーター)を**ガスマイコンメーター**と呼びます。

絵表示の説明

»**しきみ** リモコンや燃料電池発電ユニットのしきみ
★**ヒント** 使いかたのヒント

!**注意** ご注意ください
►**参考** 参照先 または 参照ページ

文中の(P○)の数字は参照ページを表します

説明中のリモコン表示画面は一例です

実際の表示画面は、設置状態や使用状況によって異なります。

もくじ

まずははじめに

この取扱説明書の見かた	2
もくじ	3
必ずお守りください(安全上の注意)	4

ご使用前に

各部のなまえとはらき(リモコン)	6
表示画面(タッチパネル)のタッチのしかた	7
トップ画面	8
メニュー画面	12
エネルック画面	12
リモコンで日時をあわせる	13

エネルック

エネルックで使用状況を見る	14
【発電レポート】で電気の状況を見る	15
【エネルック】で詳しい使用状況を見る	16
発電モニター	16
使用量	17
料金	18
累積発電量	19
エネルックの設定を変える<エネルック設定>	20

停電時の自立運転　自立運転機能付の場合

停電時に電気を使う<自立運転>	25
-----------------	----

メニューからの運転・設定

設定を変える／	
メニューから運転操作をする<メニュー>	31
発電の設定を変える・運転をする	
<発電メニュー>	32
リモコンの設定を変える	
<音・その他メニュー>	35

こんなとき

リモコンのお手入れ	42
-----------	----

困ったとき

故障・異常かな?と思ったら	43
リモコンに「暗証番号を入力してください」と表示したとき	45
リモコンに故障表示が出ているとき<故障表示>	46

ご参考

アフターサービスについて	46
--------------	----

まずははじめに

必ずお守りください(安全上の注意)

発電ユニットの取扱説明書の内容も併せてご覧ください。

お使いになる方や他の方への危害・財産への損害を未然に防止するために、つぎのような区分・表示をしています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りいただき、内容をよく理解して正しくお使いください。

△危険

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡、重傷を負う危険、または火災の危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。

△警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。

△注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が軽傷を負う可能性や物的損害の発生が想定される内容を示しています。

お願ひ

安全に快適に使用していただくために、理解していただきたい内容を示しています。

△注意

リモコンには磁石を使用しています

磁石の力は非常に微弱ですが、ペースメーカーなど医療機器を使用している方は、医師とご相談のうえ使用してください。

リモコンのスピーカーに耳を近づけない

大きな音が出る場合があり、聴覚障害などを引き起こす原因になります。



禁止

お願ひ

リモコンは0°C～40°Cの室温で使用する

故障の原因になります。

リモコンを子供がいたずらしないよう注意する

表示画面(タッチパネル)は、必ず指でタッチする

表示画面(タッチパネル)は、鋭利なものや固いもの(ボールペン、ピンなど)で押したり、必要以上に強く押したりしない

正常に動作しなかったり、タッチパネルの表面を傷つける原因になります。

リモコンの掃除には、塩素系・酸性・アルカリ性の洗剤や研磨剤入りの洗剤、ベンジン・シンナーなどの有機溶剤、メラミンスポンジを使用しない変色・変形・傷・割れなどの原因になります。

リモコンに、水しぶきをかけない、蒸気を当てない炊飯器、電気ポットなどに注意。故障の原因になります。

リモコンを分解しない

故障や、思わぬ事故の原因になります。

● 自立運転機能付の場合

△ 危険

災害時など、ガス漏れの危険性がある場合は、自立運転をしない
火災などの原因になります。



禁止

△ 警告

自立運転専用コンセントが設けられていることを確認する



必ず守る
停電時に発電ユニットで発電した電気を使用するには、自立運転専用のコンセントが必要です。自立運転専用コンセントには「エネファーム停電時自立発電専用」／「出力電力700W」と表示されていることを確認してください。

自立運転専用コンセントには、途中で電源が切れると生命・財産に損害を受けるおそれのある、以下のような機器を接続しない



禁止

- すべての医療用機器
- 灯油などを用いた暖房機器
- 炊飯器、電子レンジなどの調理機器
- バッテリーを搭載していないパソコンなどの情報機器および周辺機器
- 冷蔵庫のような連続的に電力の供給が必要な機器
- その他、電源が切れると生命・財産に損害を受けるおそれのある機器

自立運転専用コンセントには停電時だけ電気が供給され、停電が復旧すると自動的に電気の供給が止まります。

消費電力が700W以上になる機器は接続しない

自立運転機能で使用できる電気の量は約700Wです。

必ずお守りください(安全上の注意)

自立運転専用コンセントと家庭内の普通のコンセントを延長ケーブルなどで絶対に接続しない



禁止

感電、発火などの原因になります。

停電時以外は自立運転専用コンセントに電気機器を接続しない



必ず守る

接続した電気機器に突然電気が流れ、機器が損傷する原因や、突然の動作による事故の原因になります。

停電していない時に、意図的にブレーカーを切って自立運転させない



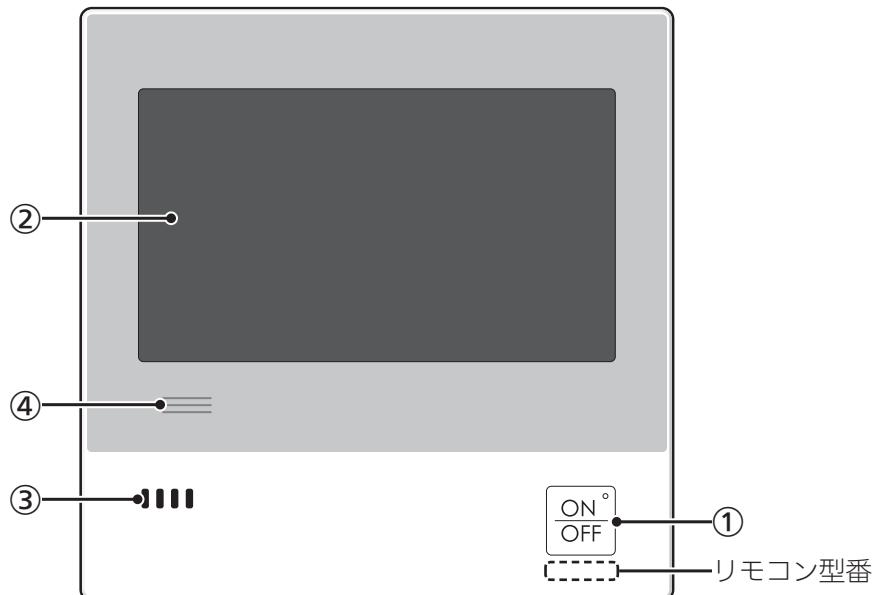
禁止

思わぬ事故の原因になります。また、本来の機能、メリットが損なわれます。

各部のなまえとはたらき(リモコン)

● 発電リモコン <別売品>

- リモコン型番：138-N412型、138-N413型



① ON/OFFスイッチ・ランプ

- 画面を表示させたり消したりするときに。
- 画面を表示するとランプ点灯、画面が消えるとランプ消灯します。
- 不在停止中はランプ点滅。(P33)

② 表示画面(P8,10,12)

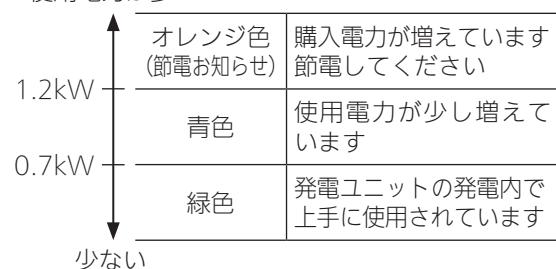
- タッチパネルです。(P7)
- 画面が消えているときにタッチすると、画面を表示します。
- リモコンの節電のため、「表示の節電」※機能を備えています。

③ スピーカー

④ 発電ランプ

- 発電ユニットで発電中に点灯します。
- 現在の使用電力の状態を、色で表します。

使用電力が多い



- 逆潮流の場合は、買電中か売電中かを表示します。

オレンジ色 (節電お知らせ)	使用電力が発電電力より多いので 買電しています
青色	使用電力が発電電力より少ないので 売電しています

※表示の節電について

- ON/OFFスイッチを押したり画面をタッチしたりしないまま約10分たつと、表示が消えます。
※表示が消えるまでの時間を短めに変更することもできます。(P37)

- 以下の操作で表示の節電が解除されます。
 - 画面をタッチする
 - ON/OFFスイッチを押す

- 【自立運転機能付の場合】
自立運転中は、表示の節電はしません。

表示画面(タッチパネル)のタッチのしかた

お願い

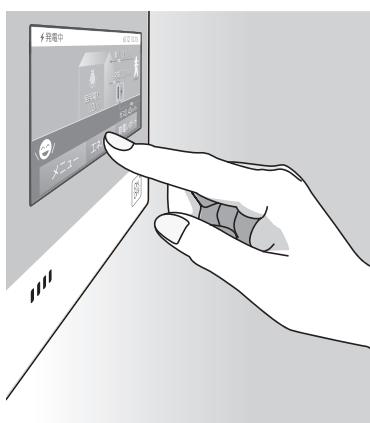
表示画面(タッチパネル)は、必ず指でタッチする

表示画面(タッチパネル)は、鋭利なものや固いもの(ボールペン、ピンなど)で押したり、必要以上に強く押したりしない

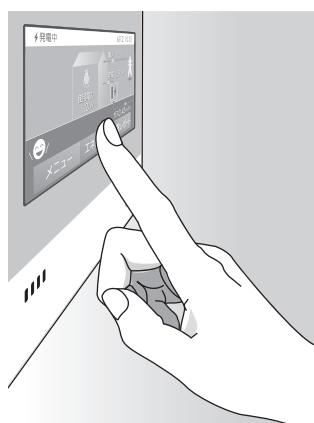
正常に動作しなかったり、タッチパネルの表面を傷つけたりする原因になります。



指の先か爪でタッチしてください



指の腹でタッチすると、スイッチが反応しないことがあります



スイッチに指が当たる前に、爪や指の先端がスイッチ以外の場所に当たると、スイッチがタッチを感じないことがあります。

- 圧力を感知するタイプのタッチパネルです。ある程度の力で確実にタッチしてください。
- 片方の指で画面を触りながらもう片方の指で操作するなど、2点以上同時にタッチすると、正常に動作しません。
- ※必要以上に強く押すと、タッチした部分に画面のゆがみやムラが出ます。パネルの特性で異常ではありませんが、何度も強く押すと故障の原因になる場合があります。

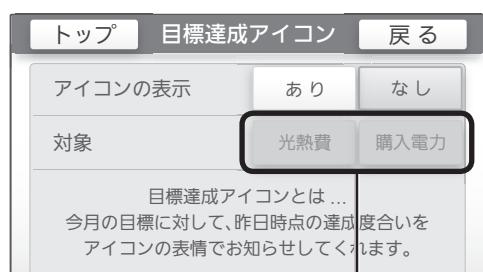
表示がグレーになっている部分は、タッチしてもスイッチ操作はできません

例) 前のページがないとき



タッチしても操作はできません

例) アイコンの表示を【なし】にしたとき



設定はできません

お知らせ

- 表示画面に市販の保護シートなどを貼り付けると、正常に動作しないことがあります。
- 画面の液晶には、一部に点灯しないドット(点)または、常時点灯するドット(点)が存在する場合がありますが、故障ではありません。

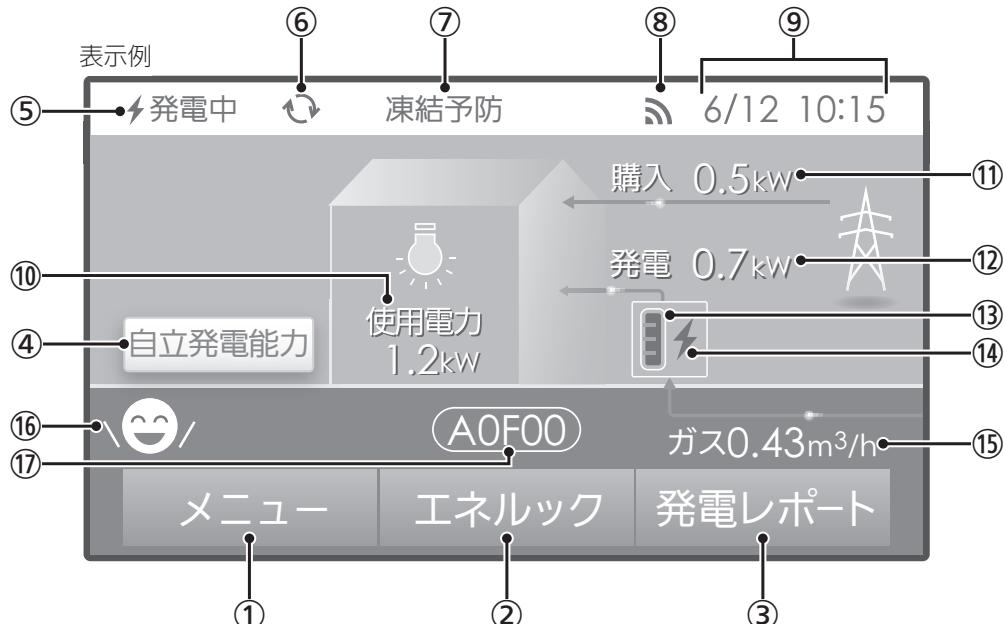
各部のなまえとはたらき(リモコン)

トップ画面

エネルギーの状況を確認する画面です。

逆潮流の場合は画面が異なりますので
P10~11をご覧ください

下記の表示画面は説明用です。実際は、運転の状態によって異なる表示をします。



● タッチできるスイッチ表示

① メニュースイッチ

いろいろな設定を変えたり、メニューから運転するとき。(P13,32,35)

② エネルックスイッチ(P16)

③ 発電レポートスイッチ(P15)

④ 【自立運転機能付の場合】自立発電能力スイッチ
自立運転時、発電能力を上げることができる条件が揃っているときに表示。(P29)

● その他の表示(タッチしても変わりません)

⑤ 発電状況表示(P9)

⑥ 発電モードマーク(P9)

⑦ 凍結予防表示

発電ユニットの凍結予防運転が作動しているときに表示。

⑧ 【無線LAN対応の場合】無線LAN状態表示

(別冊「無線LAN設定編」)

⑨ 日付・時計表示(P13)

⑩ 使用電力

現在の使用電力量を表示。

⑪ 購入電力

現在購入している電力量を表示。

⑫ 発電電力

現在の発電量を表示。

⑬ 貯湯量表示

オレンジ色：貯湯タンク内のお湯が満タンです
白色：貯湯タンク内のお湯が満タンではありません

⑭ 発電表示

発電中は⚡を表示。

⑮ ガス使用量

現在の発電ユニットでのガス使用量を表示。

⑯ 目標達成アイコン

昨日の時点で、目標値より使用実績が多いか少ないかを、アイコンの表情でお知らせします。



上手にご利用
いただいている



イイ感じ



ほぼ
目標どおり



目標値を
超えています

⑰ 故障表示

不具合が生じたときに表示。(P46)

(つづき)

発電状況表示の見かた

そのときの発電状態や、発電の設定を表示します。

発電中	
表示	状態
⚡ (点灯)	発電しています
⚡ (点滅)	起動中(発電準備中)です
⚡ ↔ ⚡ (交互表示)	発電停止の動作中です
⬇ ↔ ⬇ (交互表示)	(電気使用量が少ない状態が 続いたため) 発電停止の動作中です *
⬇ (点灯)	(電気使用量が少ない状態が 続いたため) 発電ユニットは停止しています *
(表示なし)	発電ユニットは停止しています

表示	状態
発電中	発電しています
起動中	起動中(発電準備中)です
停止中	発電停止の動作中です
(表示なし)	発電ユニットは 停止しています
発電禁止	発電を強制的に 禁止しています
発電×	発電ユニットが使用でき ない場合に表示します
⚡ 自立 ↔ ⚡ (交互表示)	自立運転しています
⚡ 自立・高 ↔ ⚡ (交互表示)	高出力モードで 自立運転しています

*電気使用量が少ない状態が続くと、発電が停止する
しくみになっています。(P32)

発電モードマークの見かた

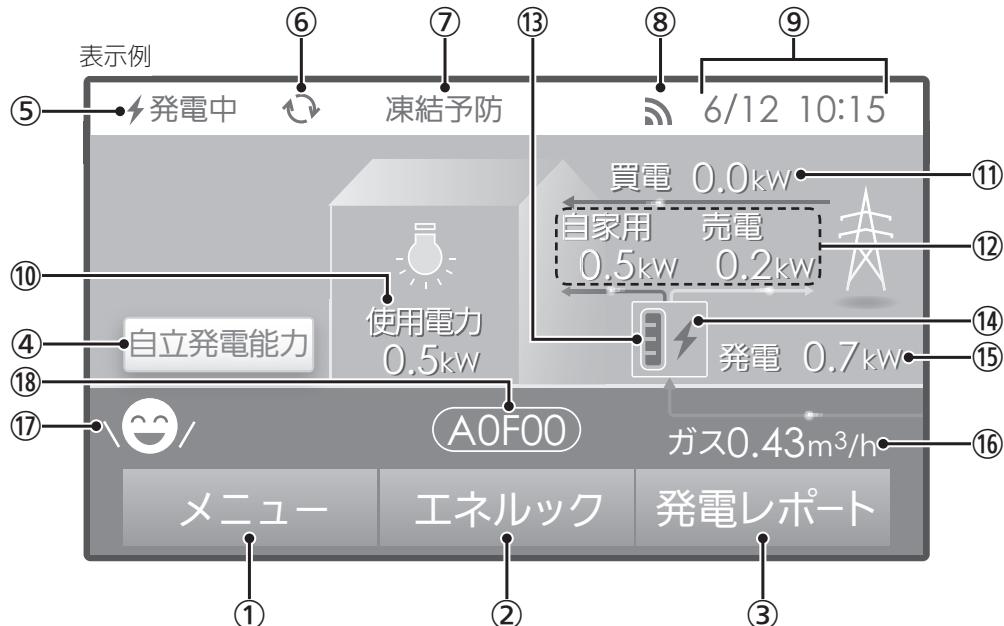
 タンクリフレッシュ 運転マーク	長時間お湯の使用がなかったときなどに、発電ユニットの貯湯タンク内の水質を維持するための運転をしています。
 ガスマイコンメーター 確認マーク	この表示は約24時間出ます。その間、発電ユニットは停止し、ガスマイコンメーターがガスもれの有無を確認します*。すべてのガス機器(暖房を含む)を最低70分停止してください。24時間停止後は自動で運転を再開します。 ※詳細は、「エネファームtypeS燃料電池発電ユニット」の取扱説明書「ご使用方法 運転・停止について」をご参照ください。

各部のなまえとはたらき(リモコン)

トップ画面(逆潮流の場合)

エネルギーの状況を確認する画面です。

下記の表示画面は説明用です。実際は、運転の状態によって異なる表示をします。



● タッチできるスイッチ表示

① メニュースイッチ

いろいろな設定を変えたり、メニューから運転するとき。(P13,32,35)

② エネルックスイッチ(P16)

③ 発電レポートスイッチ(P15)

④ 【自立運転機能付の場合】自立発電能力スイッチ
自立運転時、発電能力を上げることができる条件が揃っているときに表示。(P29)

● 他の表示(タッチしても変わりません)

⑤ 発電状況表示(P11)

⑥ 発電モードマーク(P11)

⑦ 凍結予防表示

発電ユニットの凍結予防運転が作動しているときに表示。

⑧ 【無線LAN対応の場合】無線LAN状態表示

(別冊「無線LAN設定編」)

⑨ 日付・時計表示(P13)

⑩ 使用電力

現在の使用電力量を表示。

⑪ 買電力*

現在購入している電力量を表示。

⑫ 発電電力のうちの自家への供給電力／売電力*

⑬ 貯湯量表示

オレンジ色：貯湯タンク内のお湯が満タンです
白色：貯湯タンク内のお湯が満タンではありません

*売電力・買電力は、どちらかのみ表示します。

⑭ 発電表示

発電中は⚡を表示。

⑮ 発電電力

現在の発電量を表示。

⑯ ガス使用量

現在の発電ユニットでのガス使用量を表示。

⑰ 目標達成アイコン

目標値より使用実績が多いか少ないかを、アイコンの表情でお知らせします。

(昨日までの使用状況を反映します)



上手にご利用
いただいている



いい感じ



ほぼ
目標どおり



目標値を
超えています

⑲ 故障表示

不具合が生じたときに表示。(P46)

(つづき)

発電状況表示の見かた

そのときの発電状態や、発電の設定を表示します。

発電中	
表示	状態
⚡ (点灯)	発電しています
⚡ (点滅)	起動中(発電準備中)です
⚡ ↔ ⚡ (交互表示)	発電停止の動作中です
⬇ ↔ ⬇ (交互表示)	(電気使用量が少ない状態が続いたため) 発電停止の動作中です ^{※1}
⬇ (点灯)	(電気使用量が少ない状態が続いたため) 発電ユニットは停止しています ^{※1}
(表示なし)	発電ユニットは停止しています

※1：電気使用量が少ない状態が続くと、発電が停止するしくみになっています。(P32)

表示	状態
発電中	発電しています
起動中	起動中(発電準備中)です
停止中	発電停止の動作中です
(表示なし)	発電ユニットは停止しています
発電禁止	発電を強制的に禁止しています
発電×	発電ユニットが使用できない場合に表示します
電圧抑制 ^{※2}	発電ユニットの出力を一時的に抑えています
売電中	発電した電力を売電しています
⚡ 自立 ↔ ⚡ 自立 (交互表示)	自立運転しています
⚡ 自立・高 ↔ ⚡ 自立・高 (交互表示)	高出力モードで自立運転しています

※2：自宅につながれている送電線の系統の電圧が高くなりすぎたとき、発電ユニット側の電圧が法律で定められた上限値を超えないよう、発電ユニットの出力を抑えます。系統の電圧が正常範囲に戻ると、この機能は自動的に解除されます。
詳細は、「エネファームtypeS燃料電池発電ユニット」の取扱説明書の「故障・異常かな？と思ったら」をご参照ください。

発電モードマークの見かた

タンクリフレッシュ運転マーク	長時間お湯の使用がなかったときなどに、発電ユニットの貯湯タンク内の水質を維持するための運転をしています。
ガスマイコンメーター確認マーク	この表示は約24時間出ます。その間、発電ユニットは停止し、ガスマイコンメーターがガスもれの有無を確認します [*] 。すべてのガス機器(暖房を含む)を最低70分停止してください。24時間停止後は自動で運転を再開します。 ※詳細は、「エネファームtypeS燃料電池発電ユニット」の取扱説明書「ご使用方法 運転・停止について」をご参照ください。

各部のなまえとはたらき(リモコン)(つづき)

メニュー画面

メニュー設定画面の表示例

下記の表示画面は説明用です。実際は、運転の状態によって異なる表示をします。

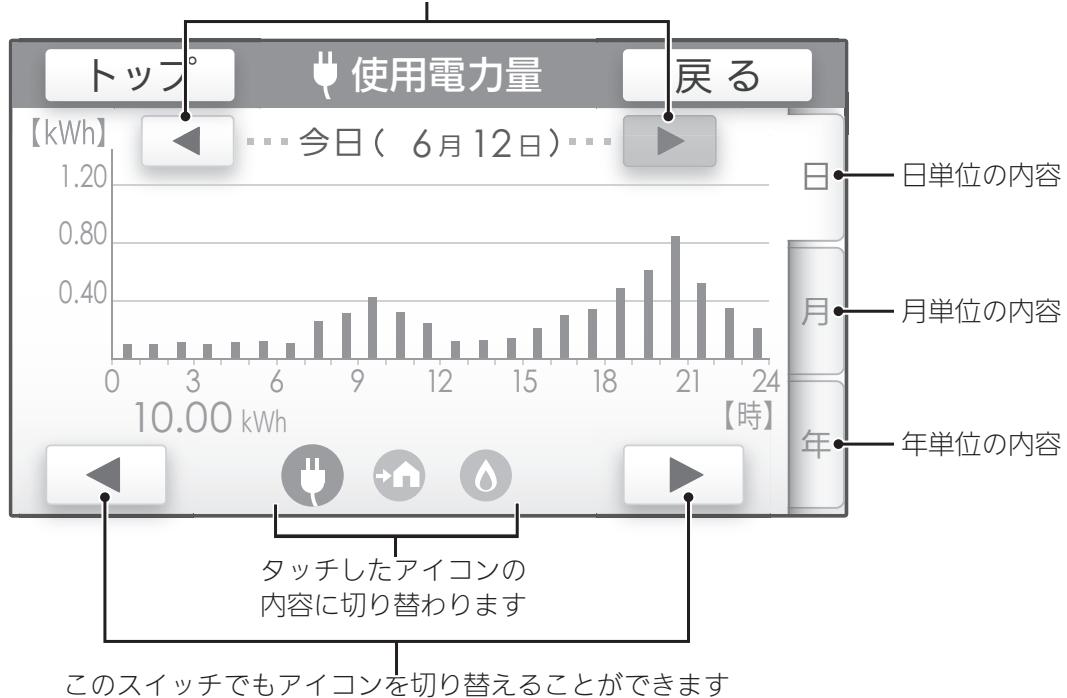


エネルギー画面

使用量のグラフの表示例

下記の表示画面は説明用です。実際は、運転の状態によって異なる表示をします。

日単位の場合は「今日」「昨日」、月単位の場合は「今月」「先月」、年単位の場合は「今年」「昨年」に画面を切り替えることができます

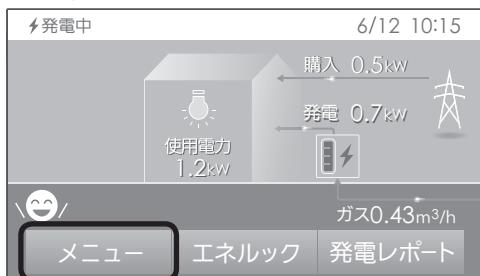


リモコンで日時をあわせる

手順

1 ①トップ画面で【メニュー】をタッチし

表示例



2 ②【音・その他メニュー】をタッチする



2 ①【日時あわせ】をタッチし



2 ②【日付と時刻】の▶をタッチする



例：2016年6月12日10時15分

3 ①日付と時刻を入力し



それぞれのカーソルをタッチしてから数字をタッチして入力

2 ②【決定】をタッチして確定する



【日時あわせ 完了】

★ヒント

- 画面が消えている場合は、画面をタッチするか、ON/OFFスイッチを押してください。

お知らせ

- 停電後または電源プラグを抜いたあとは、再通電したときに日時がリセットされている場合がありますので、日時をあわせ直してください。(日時の設定がされていないと発電しません)
- 無線LAN対応のリモコンの場合、インターネットを介して自動で日時あわせができます。別冊「無線LAN操作編」をご覧ください。

エネルックとは

● ガス・電気の使用状況をリモコンで確認できる機能です

- 現在の使用状況をトップ画面(P8,10)で手軽に確認できます。
また、詳しい使用状況は【発電レポート】(P15)、【エネルック】(P16)で確認できます。
- 必要に応じて、表示や料金単価・目標値などの設定を変更できます。(P20「エネルックの設定を変える」)
- エネルックの表示は、1時間に1回もしくは、エネルックスイッチをタッチしたときに更新されます。

確認できるエネルギーと表示する値について

● 発電ユニットで使用したガスと、家の電気の使用状況を確認できます

- 0:00から次の0:00までの使用分を「1日分」として、積算します。
- ガス使用量は、家庭内すべての使用量ではありません。発電ユニットを通らないガス(給湯機器、ガスコンロ、ガスファンヒーターなど)の使用分は、積算しません。
- 停電があった場合や発電ユニットの電源を切った場合は、当日分のデータが削除されたり正しい値を表示しなかったりします。

● 逆潮流の場合は、売電・買電の状況も確認できます

■ 売電・買電とは

- 売電とは、発電ユニットの発電電力が使用電力より多い場合に、余った電力を電力会社に売ることです。
- 買電とは、発電ユニットの発電電力が使用電力より少ない場合に、不足している電力を電力会社から買うことです。

● 表示する値は、実際の使用量や料金とは異なります

- リモコンに表示する使用量・料金などの値は目安です。
- エネルギートップ画面・現在状況画面に表示されている電力などの値は、タイミングによっては実際の値とはずれが生じることがあります。
- リモコンに表示する料金に基本料金は含まれません。
- ガス・電気の料金は、ご家庭に設置されている各メーターの使用量に応じて請求されます。リモコンに表示する金額で請求されることはありません。(特にガスについては、発電ユニット以外で使用する場合があるため、請求額が大きく異なります)
- ガス・電気の実際の料金単価は、使用量に応じて変動します。また、料金プランによっては、料金単価が時間毎に変わる場合もあります。
- 表示する値が記号の場合があります。
エネルックの値がリモコンに表示できる桁数より大きくなった場合は、「#」を表示します。
また、エネルックの値の計算が不可能な状態になった場合(例: 使用電力量が「0」だった場合に、自給率の計算(発電量÷使用電力量×100)の値が出せないときなど)は、「-」を表示します。

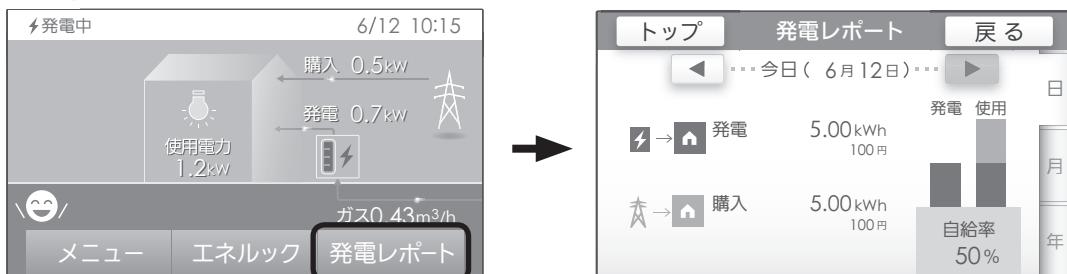
【発電レポート】で電気の状況を見る

- 電気の状況(発電量、使用電力量、購入電力量(逆潮流の場合は買電量)、自給率)を、日・月・年単位で確認できます。

手順

1 トップ画面で【発電レポート】をタッチする

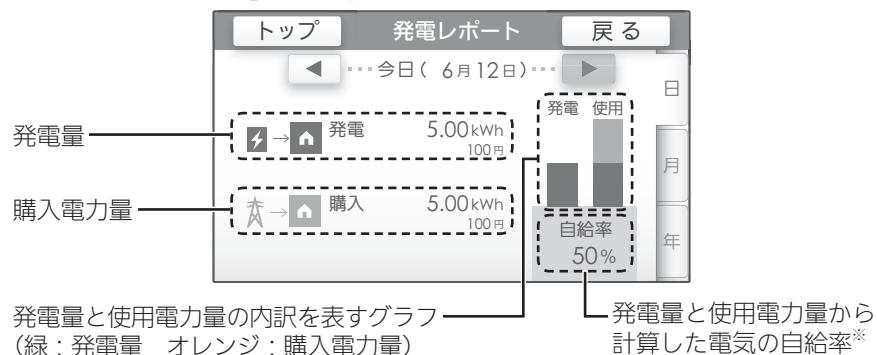
表示例



★ヒント

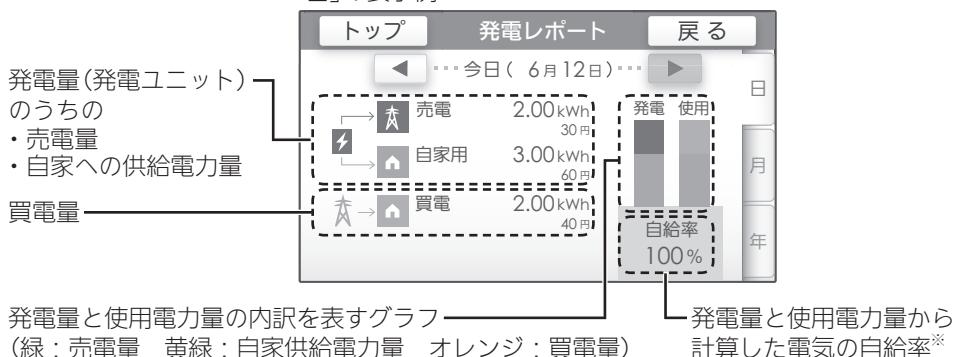
- 画面が消えている場合は、画面をタッチするか、ON/OFFスイッチを押してください。

「日」の表示例



【逆潮流の場合】

「日」の表示例



▶参照

- P12「エネルック画面」

»しきみ

- 自給率が300%を超えたたり、33%以下になつたりした場合は、グラフの途中が～で省略されます。

※自給率=発電量÷使用電力量×100

発電モニター



- 発電量の履歴を、日・月・年単位で確認できます。

手順

1 ①トップ画面で【エネルック】をタッチし

表示例



②【発電モニター】をタッチする



★ヒント

- 画面が消えている場合は、画面をタッチするか、ON/OFFスイッチを押してください。

表示例



▶参照

- P12「エネルック画面」

【逆潮流の場合】このような項目アイコンが出ます

確認したい項目アイコンをタッチするか、◀▶で切り替えられます

項目アイコン

	燃料電池発電量 発電ユニットの発電量と料金を確認できます。
	売電量 発電ユニットの売電量と料金を確認できます。

お知らせ

- ここで表示する料金は、電気の料金単価(P21)を元に表示します。

使用量



- 使用電力量・購入電力量(逆潮流の場合は買電量)・発電ユニットのガス使用量の履歴を、エネルギーの項目ごとに日・月・年単位で確認できます。

手順

1 ①トップ画面で【エネルギー】をタッチし

表示例



②【使用量】をタッチする



★ヒント

- 画面が消えている場合は、画面をタッチするか、ON/OFFスイッチを押してください。



項目アイコン	料金表示	目標表示
使用電力量	表示しません	「月」のみ表示
購入電力量	表示	「月」のみ表示
買電量*		
ガス使用量	表示	「月」のみ表示

*逆潮流の場合

料金



- 購入電力(逆潮流の場合は売電量・買電量)とガスの料金、料金全体の比率、項目ごとの詳細(グラフ)を、月・年単位で確認できます。詳細グラフでは現時点の目標と今月の目標も表示するので、省エネの意識づけに役立ちます。
- 料金単価の設定を変更する場合は、P21「料金設定」を変更してください。

手順

1 ①トップ画面で【エネルック】をタッチし

表示例



②【料金】をタッチする



★(ヒント)

- 画面が消えている場合は、画面をタッチするか、ON/OFFスイッチを押してください。

【逆潮流の場合】



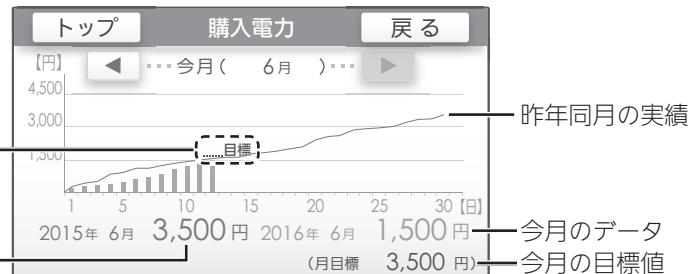
表示例



項目をタッチすると
詳細画面(グラフ)になります

現時点の目標値
昨年同月のデータ
(使用開始から1年間
は表示されません)

購入電力の「月」の詳細画面例



►参照

- P12「エネルック画面」

★(ヒント)

- 光熱費とは、購入電力・ガスの使用料金を合計したものです。

»(しくみ)

- 「目標」は「今月」のみ表示します。

お知らせ

- 昨年の値がない場合は、使用状況から予測して目標値の基準を自動的に算出します。

(つづき)

累積発電量



- 使用開始から現在までの発電の累積値が確認できます。

手順

1 ①トップ画面で【エネルック】をタッチし

表示例



②【累積発電量】をタッチする



★(ヒント)

- 画面が消えている場合は、画面をタッチするか、ON/OFFスイッチを押してください。

表示例



»(しきみ)

- 料金は千円単位で表示します。
(百円単位切り捨て)

【逆潮流の場合】

表示例





- エネルックをより便利に使うために、お好みに合わせて設定が変更できます。

エネルック設定内容

エネルックメニュー	項目	設定内容	初期設定	参照ページ
料金設定	電気 ^{※1}	0～999円/kWh	20円/kWh	P21
	買電 ^{※1}	0～999円/kWh	20円/kWh	
	売電 ^{※1}	0～999円/kWh	10円/kWh	
	ガス	0～999円/m ³	100円/m ³	
目標値設定	電気代	50～150%	100%	P22
	ガス代	50～150%	100%	
トップ画面の表示内容	目標達成	あり	あり	P23
	アイコン	なし		
対象		光熱費 購入電力 ^{※2}	光熱費	
エネルック初期化	実行		—	P24

※1：逆潮流の場合、「電気」ではなく「買電」「売電」を表示します。

※2：逆潮流の場合、「購入電力」は「買電」になります。

料金設定

手順

1 ①トップ画面で【エネルギー】をタッチし

表示例



2 ②【エネルギー設定】をタッチする



2 ①【料金設定】をタッチし



2 ②設定したい項目をタッチして選ぶ



※逆潮流の場合、「電気」は「買電」「売電」になります。

3 ①単価を変更し

電気料金の表示例



2 ②【決定】をタッチして確定する



★ヒント

- 画面が消えている場合は、画面をタッチするか、ON/OFFスイッチを押してください。

お知らせ

- 料金単価は「ガス使用量のお知らせ」「電気使用量のお知らせ」などの明細書を参考にしてください。(各明細書について不明な場合は、ガス供給事業者・電気供給事業者にお問い合わせください)

» しくみ

- 変更後の単価は、過去のデータにも反映されます。

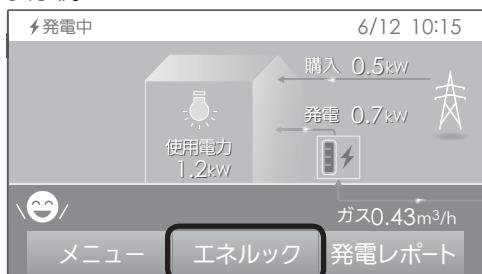


目標値設定

手順

1 ①トップ画面で【エネルック】をタッチし

表示例



2 ②【エネルック設定】をタッチする

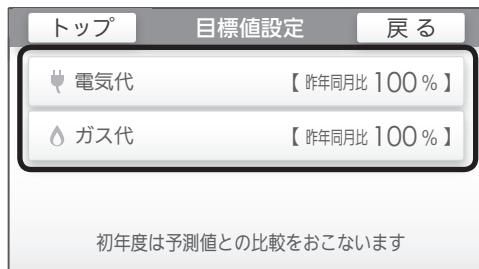
★ヒント

- 画面が消えている場合は、画面をタッチするか、ON/OFFスイッチを押してください。



2 ①【目標値設定】をタッチし

2 ②設定したい項目をタッチして選ぶ



3 ①目標値を変更し

電気代の表示例



2 ②【決定】をタッチして確定する

» しくみ

- 初年度は「昨年同月」の料金は表示しません。



お知らせ

- 【目標値のヒント】昨年の実績と同じ程度の電気代・ガス代でよい場合は100%に、昨年より節約したい場合は100%より少なく、昨年より多く使用する見込みがある場合などは100%より多く設定してください。
- 昨年の値がない場合は、使用状況から予測して目標値の基準を自動的に算出します。

トップ画面の表示内容

- トップ画面の目標達成アイコンを表示するかしないか・目標達成アイコンでどのエネルギーの状態を表示するかを変更できます。

手順

1 ① トップ画面で【エネルギー】をタッチし

表示例



2 ② 【エネルギー設定】をタッチする

★ヒント

- 画面が消えている場合は、画面をタッチするか、ON/OFFスイッチを押してください。



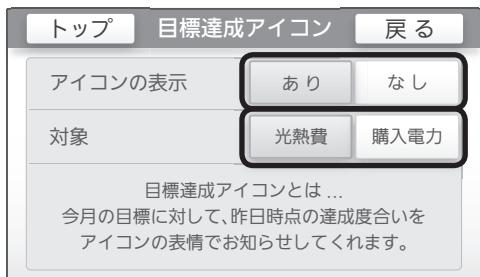
2 ① 【トップ画面の表示内容】をタッチし



2 ② 【目標達成アイコン】をタッチする



3 変更したい項目の設定をタッチする



※逆潮流の場合、対象は「光熱費」か「買電」かを選べます。

» しきみ

- 対象を変更すると、翌日から反映されます。

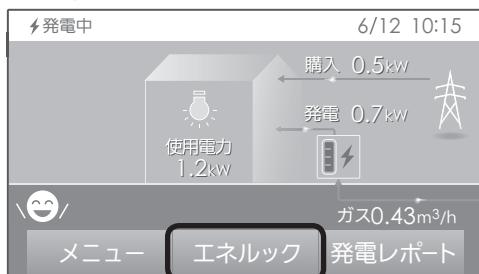
エネルック初期化

- 変更したエネルック設定の値や、エネルギーデータ(数値・グラフ)を初期化できます。

手順

1 ①トップ画面で【エネルック】をタッチし

表示例



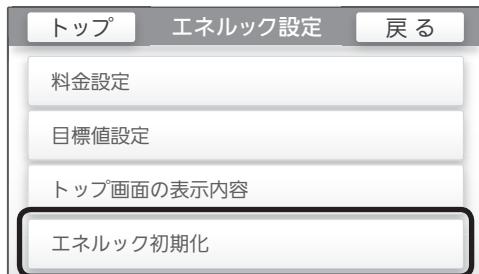
②【エネルック設定】をタッチする



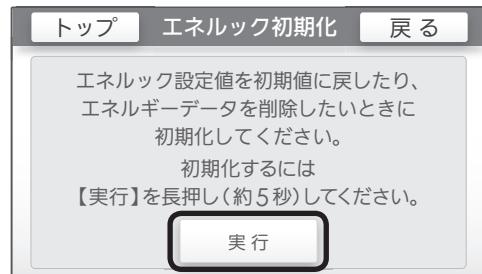
★(ヒント)

- 画面が消えている場合は、画面をタッチするか、ON/OFFスイッチを押してください。

2 ①【エネルック初期化】をタッチし



②【実行】を長押し(約5秒)する



お知らせ

- 累積発電量(P19)のデータは初期化されません。
- 初期化しても当日分の数値やグラフは表示します。

停電時に電気を使う <自立運転>

- 自立運転機能付の場合は、停電時にも電気が使えます。

停電時にも電気が使える「自立運転」のしくみ

- 発電ユニットの発電中に停電した場合、発電ユニットは自立運転によって発電を継続するので、電気を使うことができます。（自立運転のために必要な工事をおこなっている場合です）
電気機器は自立運転専用コンセントを通して使用できます。（自立運転専用コンセントには「エネファーム停電時自立発電専用」と表示しています。事前に設置場所を確認してください）
- 自立運転時の発電量は約700Wです。
- 給湯機器の電源は入らなくなりますが、給湯栓を開ければ約30°Cのお湯が出る場合があります。
- 自立運転は、停電時のみ使用してください。（普段使用すると、本来の機能やメリットを損ないます）

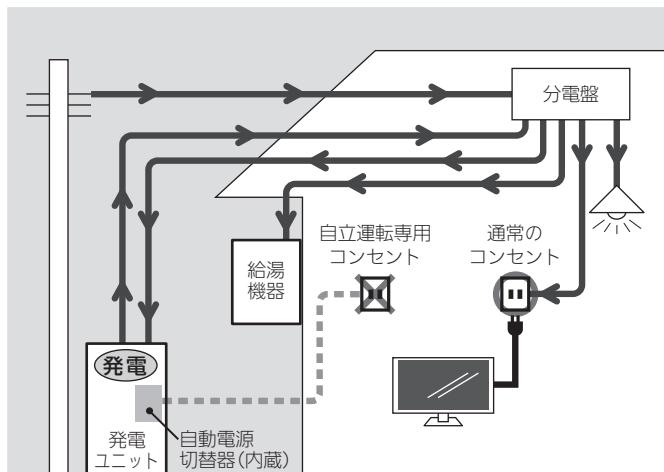


災害時など、ガス漏れの危険性がある場合は、自立運転しない
火災などの原因になります。

使用するコンセントと電気の流れ

通常

発電ユニットで作られた電気と、
電力会社から供給された電気を併用します

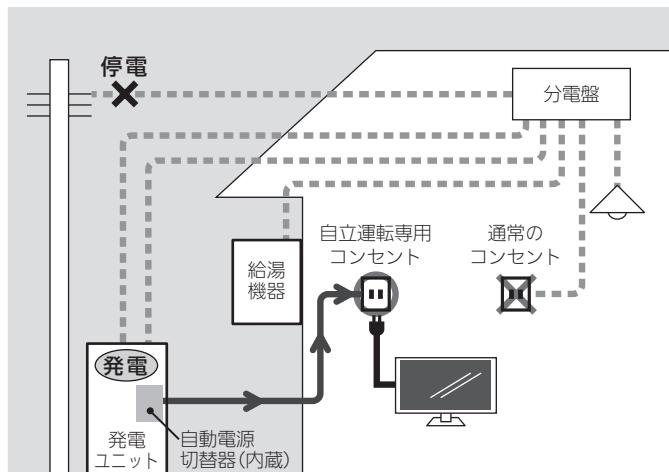


→ 電気が流れています

■■■ 電気は流れていません

停電時

発電ユニットで作られた電気を
自立運転専用コンセントから供給します



→ 電気が流れています

■■■ 電気は流れていません

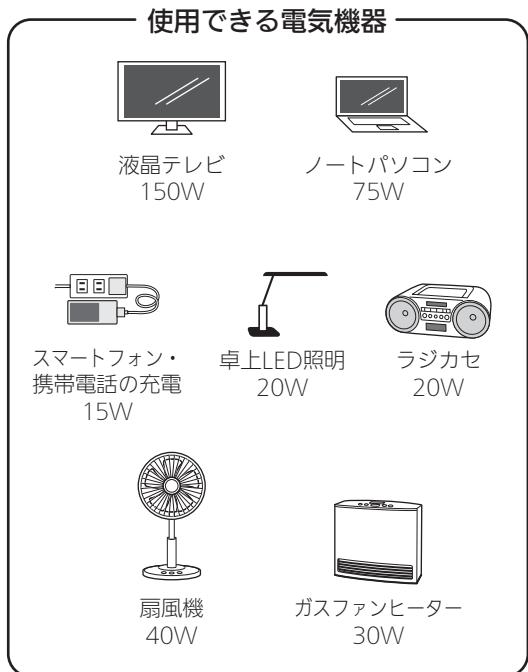
以下の場合は自立運転できません

- 停電したときに発電ユニットが発電を停止している場合
- 災害などでガスの供給が停止している場合
- 自立運転開始後に、以下の理由などで自立運転が停止したあと（停電が復旧するまで自立運転できません）
 - 「不在停止」や「発電禁止」で発電を停止した

停電に備え、使用できる電気機器を確認しておいてください

使用する電気機器の消費電力の合計が700Wを超えないよう、取扱説明書や本体の表示シールなどで電気機器の消費電力を確認してください。

● 消費電力の目安(例)



ガスファンヒーターの使用について

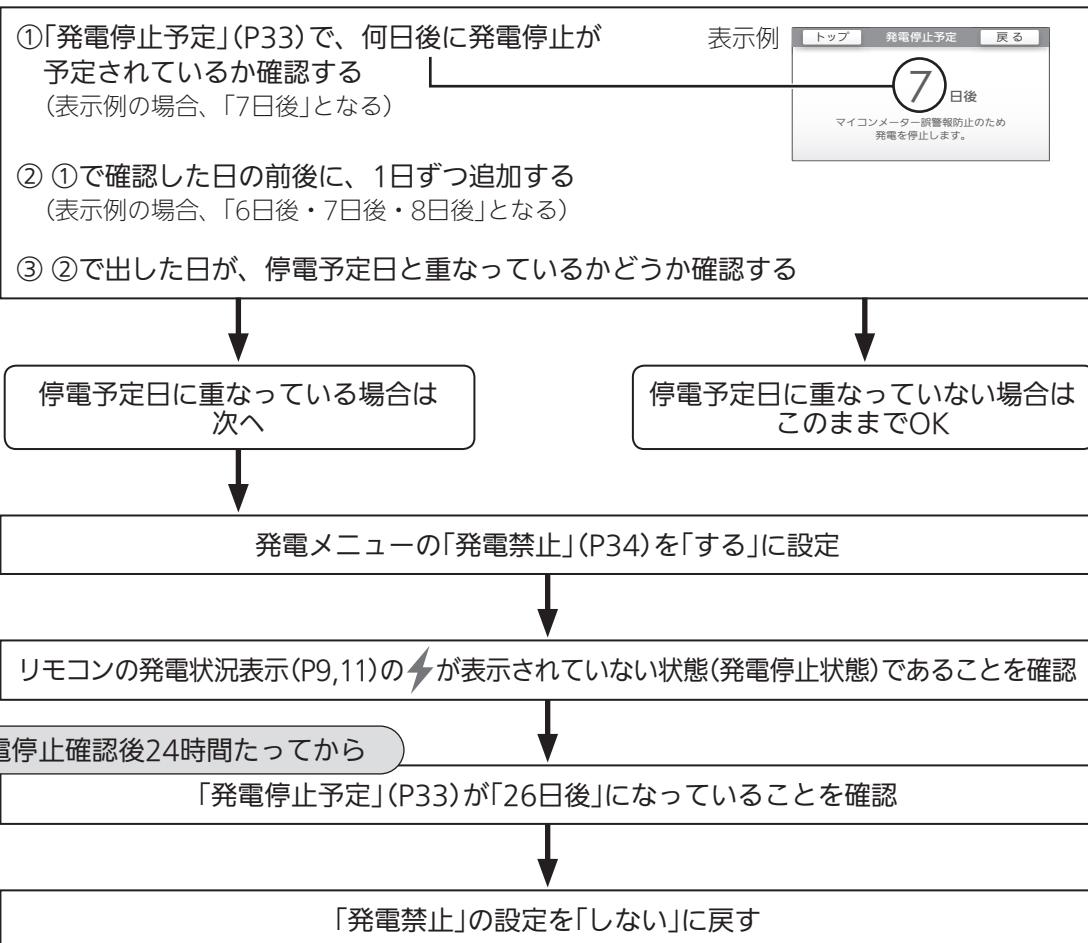
- ガスファンヒーターを使用中は部屋の換気に注意する。
必ず1時間に1~2回(1~2分)程度、窓を開けるなどして換気をおこなってください。
- 自立運転専用コンセントで使用できる電力が少なく、ガスファンヒーターを使用すると過負荷で停電する場合は使用しない。
- ガスファンヒーター運転中に停電が発生したときは温風の吹出口や機器背面(エアフィルター部や取手部分)に手を触れない。(やけどのおそれ)
- 自立運転専用コンセントでガスファンヒーターを使用しているときに異常を感じた場合には、ただちにガス栓を閉めてガスファンヒーターの使用を中止し、販売店または、もよりの大坂ガスに連絡する。

⚠ 警告

計画停電や工事などで停電が予定されている場合は

26日間毎日発電すると、1日発電が停止するしくみになっています。自立運転と発電が停止するタイミングが合うと、自立運転ができなくなります。停電予定日がわかっている場合は、事前に次の確認と操作をして、スムーズに自立運転できるよう備えてください。

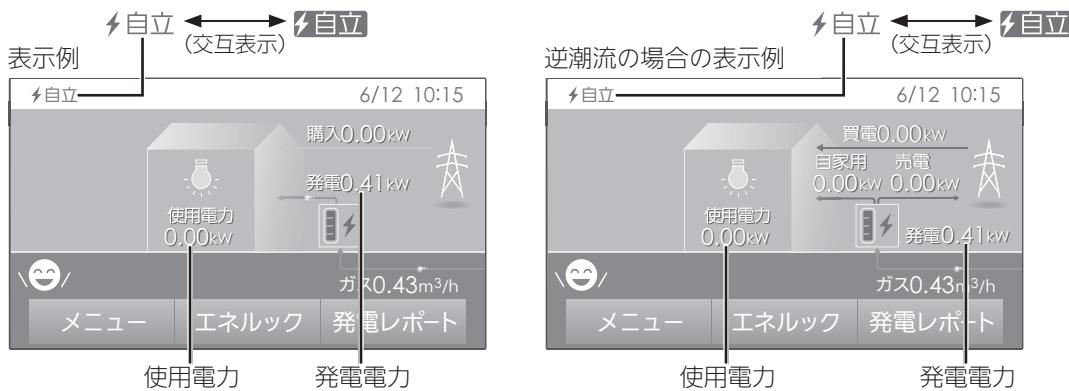
停電予定日の2日前には、この確認・操作をおこなってください



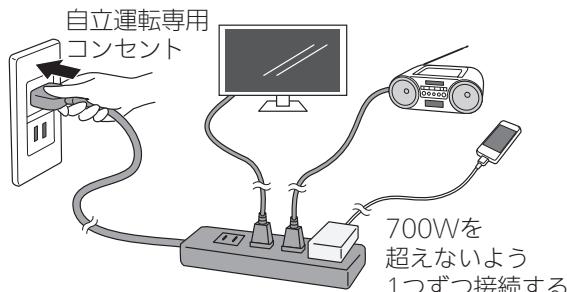
停電したら(自立運転のしかた)

手順

1 「自立」が交互表示していることを確認する

2 電気機器の電源プラグを
自立運転専用コンセントに
差し込む

【電気機器が使えます】



- 使用する電気機器との合計が700Wを超えないよう使用電力表示を見ながら、1つずつ電気機器を追加してください。(P26「消費電力の目安(例)」)
- 【電気機器の電源を入れたとき】電気機器の種類によっては一時的に使用できない場合があります。90秒ほど待つと使用できるようになるため、電気機器をつないだままにしてください。
※約90秒待っても使用できない場合は、使用電力が発電量を超えているため、すぐに電気機器の数を減らしてください。
- 発電ユニット内の貯湯タンクが満タンになると、自立運転ができなくなります。自立運転中は、なるべくお湯を使用するようにしてください。

■ 電気機器の使用中に電気が使えなくなったとき
(使用電力が発電量を超えています)

- ①接続した電気機器をすぐに取り外す
- ②リモコンに「自立」が交互表示するまで待つ
- ③「自立」が交互表示したら、手順2の要領で使用する

しばらくしても自立運転が復帰せず、リモコンに「自立用コンセントの出力が準備できました。使用する電気を減らし、【再開】を押してください。」とメッセージを表示しているときは、メッセージに従って操作をしてください。(自立運転が復帰します)

» しくみ

- 自立運転開始後は、すぐには700Wは使用できません。発電電力は徐々に上昇し、700W(表示は「0.70kW」)になるまでに約1分かかります。(ただし、発電ユニットの状態によっては1分以上かかることがあります)

! 注意

- 使用できない電気機器・使用してはいけない電気機器があるので、ご注意ください。(P26)
- リモコンの発電電力表示を確認しながら、使用できる消費電力の電気機器を接続してください。

! 注意

- 停電中、発電を停止すると、停電が復旧するまで発電をおこなうことができません。

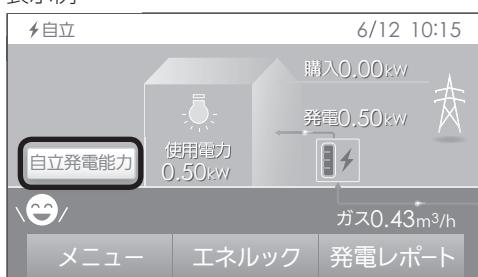
高出力モードで自立運転をする

自立運転時の発電量は700Wですが、条件によっては700W出力できないことがあります。その場合、トップ画面に【自立発電能力】が表示されている間は、強制的に700Wまで出力を上げることができます。以下の手順で高出力モードに設定して使用してください。

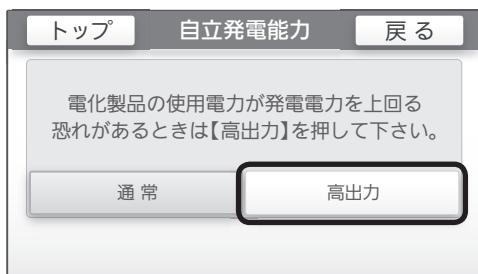
手順

1 トップ画面の【自立発電能力】をタッチする

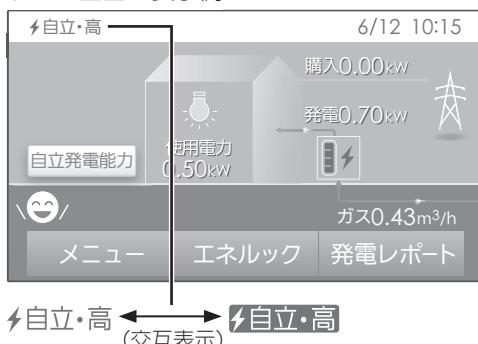
表示例



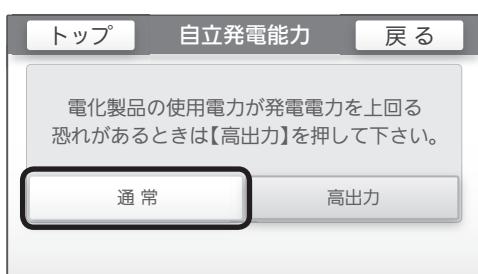
2 【高出力】をタッチする



トップ画面の表示例



3 700Wの出力が不要になれば、手順1~2の操作で【通常】をタッチして通常モードに戻す



700Wで使用し続けると、発電が停止しやすくなりますので、こまめに通常モードに戻してください

お知らせ

- 以下の状況では、高出力モードが自動的に解除されます。
 - ・自立運転専用コンセントの使用電力が少ない
 - ・外気温が高い
 - ・お湯使用量が少ない
- 再度、高出力モードで使用したい場合は、【自立発電能力】が表示されるまでお湯を使用してください。

自立運転を停止させるには

「不在停止」(P33)を「する」に設定し、発電を停止させる

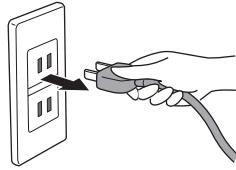
» **しくみ**

- 発電を停止させると、停電が復旧するまで発電できません。

停電が復旧したら

電気機器の運転スイッチを切り、
電気機器の電源プラグを自立運転専用コンセントから抜く

停電が復旧すると、
自立運転専用コンセントへの電気の供給が停止します。



! **(注意)**

- 電気機器をつないだままにすると、次回の自立運転時に接続した機器に突然電気が流れ、機器を損傷したり、突然の動作による事故の原因になります。

設定を変える／メニューから運転操作をする <メニュー>

- 【メニュー】から、いろいろな設定を変えたり、運転操作ができます。できる内容の詳細については、P32以降の手順の各項目をご覧ください。
- お使いのオプション機器によって、出ないメニューなどがあります。

メニュー内容

メニュー	項目		初期設定 (工場出荷時)	「全設定初期化」 で初期設定に 戻る項目	参 照 ページ	
発電メニュー	発電再開	※1	—	—	P32	
	不在停止		しない	—	P33	
	発電停止回数		—	—		
	発電停止予定		—	—	P34	
	発電禁止		しない	—		
音・その他 メニュー ^{※2}	音	音量	🔊中	○	P36	
		音声ガイド	する	○		
		音声ガイドスピード	標準	○		
	日時あわせ	日付と時刻	---/--- ---:--	—	P37	
		画面の明るさ	3段	○		
	画面設定	表示の節電	する	○	P37	
			標準	○		
		凍結予防表示中の節電	しない	○		
		全画面時計表示	なし	○		
		全画面時計表示までの時間	標準	○		
		お手入れ	—	—	P39	
	タッチパネル補正		—	—		
発電ランプ ^{※3}	明るさ	明るい	○	—	P40	
		節電お知らせ設定値 ^{※3}	1.2kW	○		
発電ユニットの水抜き			停止	—	—	
発電ユニットの水張り			停止	—	P41	
全設定初期化			—	—		
機器情報			—	—		

※1：電気使用量が少ない状態が続いているときに表示します。

※2：無線LAN対応の場合、無線LANに関する項目が出ます。(別冊「無線LAN設定編」)

※3：逆潮流の場合は表示しません。

発電の設定を変える・運転する



手順

1 ①トップ画面で【メニュー】をタッチし

表示例



②【発電メニュー】をタッチする

★ヒント

- 画面が消えている場合は、画面をタッチするか、ON/OFFスイッチを押してください。



2 項目を選んで、設定する

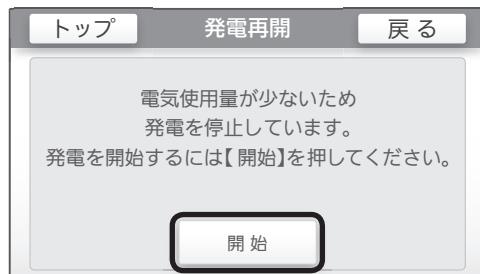


設定したい項目が表示されていないときは
ここをタッチしてページを送ってください

発電再開

発電再開

電気使用量が少ない状態が続いたために発電が停止しているとき(↓が点灯しているとき)、この操作で発電を再開できます。



》しくみ

- 電気使用量が少ない状態が続くと、発電がムダになるのを防ぐため、翌月1か月間発電を停止するしくみになっています。

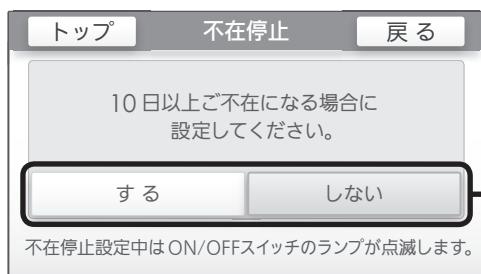
をする(つづき) <メニュー>

不在停止

不在停止

10日以上家をあけるなど、しばらく発電の必要がないときに。

※10日以上お湯を使用しない状態が続くと、自動的に不在停止になります。



【する】自動的にON/OFFスイッチが「切」になり、発電が停止します
(凍結予防は停止しません)
【しない】不在停止を解除

» しくみ

- 不在停止中は、ON/OFFランプ点滅。

♪ 注意

- 長期不在時に凍結のおそれがある場合は、この方法ではなく水抜きが必要です。(発電ユニットの取扱説明書)

不在停止を解除するには

- ①ON/OFFスイッチを押して「入」にする
- ②「不在停止中です。不在停止を解除しますか。」の画面を表示したら、【はい】をタッチする

お知らせ

- ON/OFFスイッチの「入」「切」に関係なく、給湯栓からお湯(水)を出すと、自動的に不在停止は解除されます。

発電停止回数

発電停止回数

今までに発電を停止した回数が確認できます。

表示例

トップ	発電停止回数	戻る
手動停止回数	0 回	発電禁止(P34)と不在停止(P33)の回数
合計停止回数	0 回	手動停止回数と発電ユニットが自動で停止した回数の合計

発電禁止(P34)と不在停止(P33)の回数

手動停止回数と発電ユニットが自動で停止した回数の合計

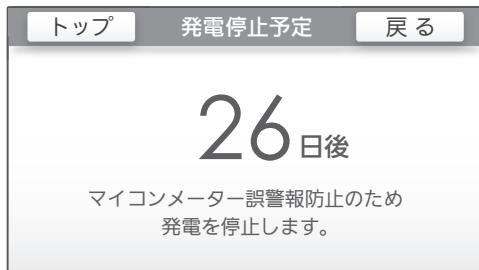
設定を変える／メニューから運転操作

(つづき)

発電停止予定

発電停止予定

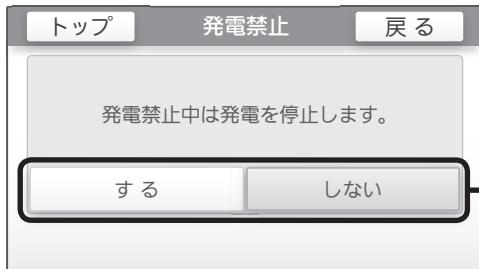
発電が長期間停止しなかった場合に、ガスマイコンメーターの誤警報防止のために発電が1日停止するしくみになっています。発電ユニットが停止するまで何日かを確認できます。



発電禁止

発電禁止

発電ユニットの水抜きをするときなど、強制的に発電を停止させたいときに。



- 【する】発電ユニットが停止します
(停止するまでに時間がかかります)
- 【しない】発電禁止を解除

!(注意)

- 必要なとき以外は、発電禁止を「する」にしないでください。機器の寿命低下の原因になります。

»(しくみ)

- 【する】に設定したあと再度【しない】に設定した場合は、発電ユニットの停止動作が完了してから発電を起動します。

をする(つづき) <メニュー>

リモコンの設定を変える

音・その他
メニュー
音:≡

手順

1 ①トップ画面で【メニュー】をタッチし

表示例



②【音・その他メニュー】をタッチする



2 設定したい項目をタッチする



設定したい項目が表示されていないときはここをタッチしてページを送ってください

「お手入れ」以降の項目はP39へ

さらに設定したい項目をタッチし
P36へ



→P36へ

さらに設定したい項目をタッチし
P37へ



設定を変える／メニューから運転操作をする／メニュー

★ヒント

- 画面が消えている場合は、画面をタッチするか、ON/OFFスイッチを押してください。

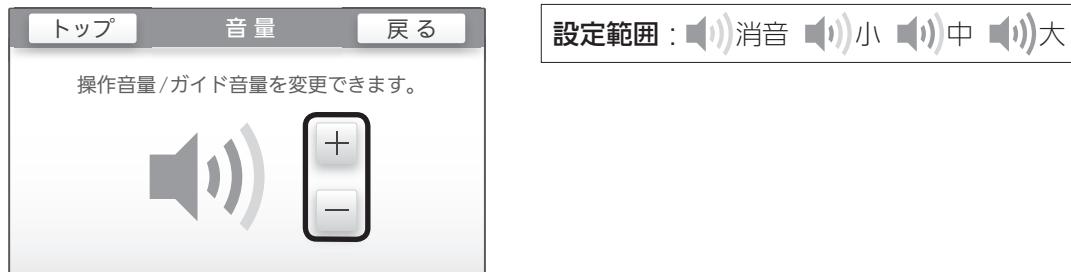
(つづく)

設定を変える／メニューから運転操作

(つづき)

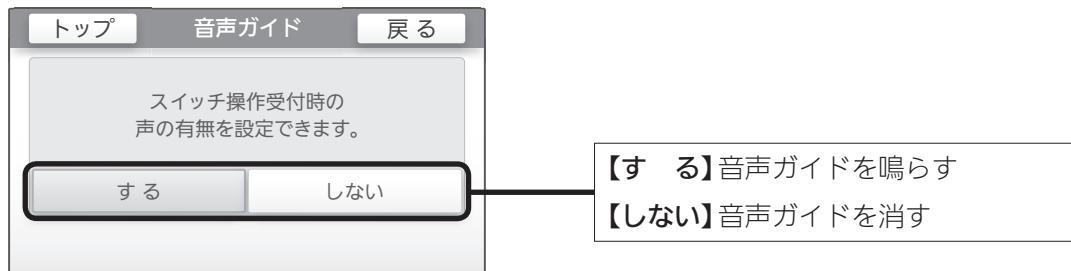
音 → 音量 音量

リモコンの音量を変えたいときに。



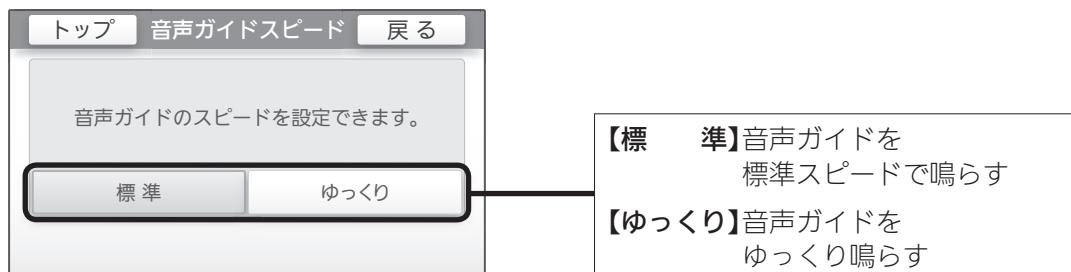
音 → 音声ガイド 音声ガイド

音声ガイド(声によるお知らせ)を消したいときに。



音 → 音声ガイドスピード 音声ガイドスピード

音声ガイド(声によるお知らせ)のスピードを変えたいときに。



日時あわせ 日時あわせ

日付と時刻を調整したいときに。

※無線LAN対応のリモコンの場合は、別冊「無線LAN設定編」をご覧ください。



- ▶ 参照
 - P13「リモコンで日時をあわせる」
- ! 注意
 - 日時を変更するとエネルックのデータが上書きされたり「0」になることがあります。

カーソルをタッチ→数字を入力→【決定】

をする(つづき)

画面設定 → 画面の明るさ

表示画面の明るさを変えたいときに。

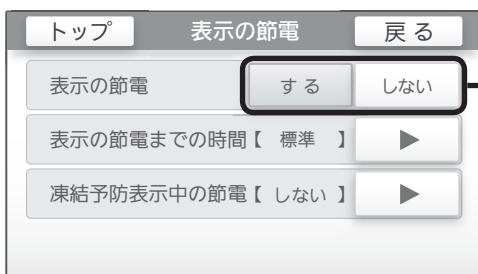


設定範囲：1～5
【+】にすれば画面が明るく、【-】にすれば暗くなります。

画面設定 → 表示の節電

表示の節電に関する設定の変更ができます。

表示の節電「する」の表示例



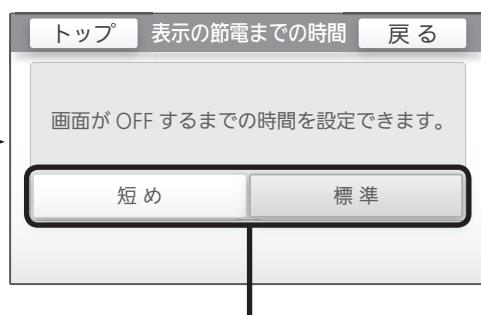
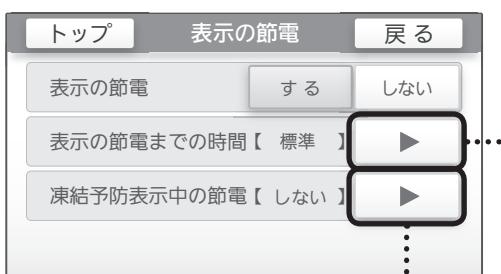
【する】下記「表示の節電「する」をタッチしたときの設定項目」へ

【しない】P38「表示の節電「しない」をタッチしたときの設定項目」へ

▶ 参照

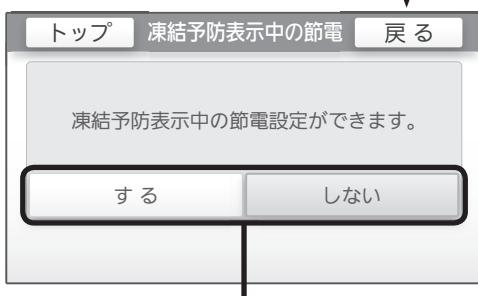
● P6「※表示の節電について」

● 表示の節電「する」をタッチしたときの設定項目



【標準】約10分で表示の節電になる

【短め】ON/OFFスイッチ操作後や画面タッチ後は約2分、リモコン操作なく点灯した場合は約1分で表示の節電になる



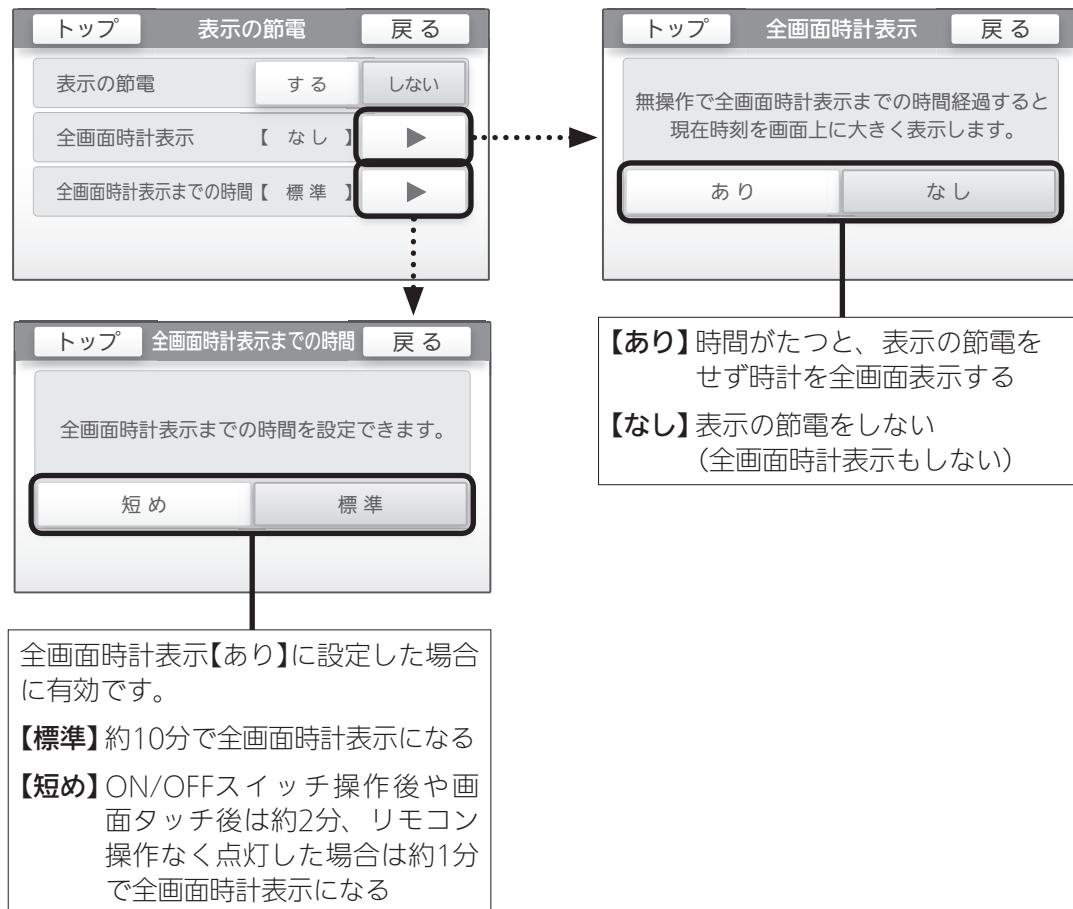
【する】凍結予防運転中でも表示の節電をする

【しない】凍結予防運転中は表示の節電をしない

設定を変える／メニューから運転操作

(つづき)

● 表示の節電「しない」をタッチしたときの設定項目

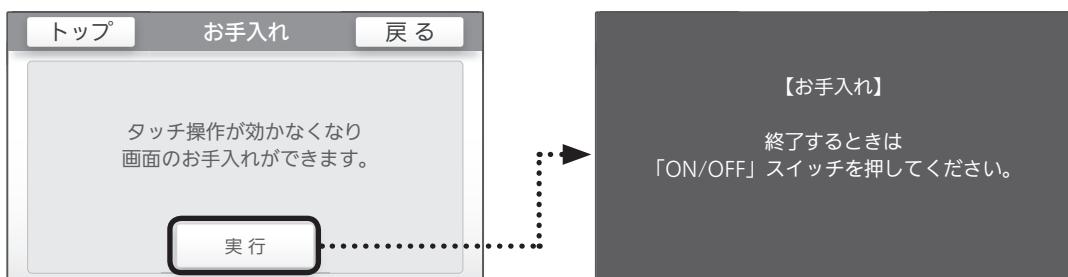


をする(つづき)

お手入れ

お手入れ

タッチパネルのお手入れをしたいときに。



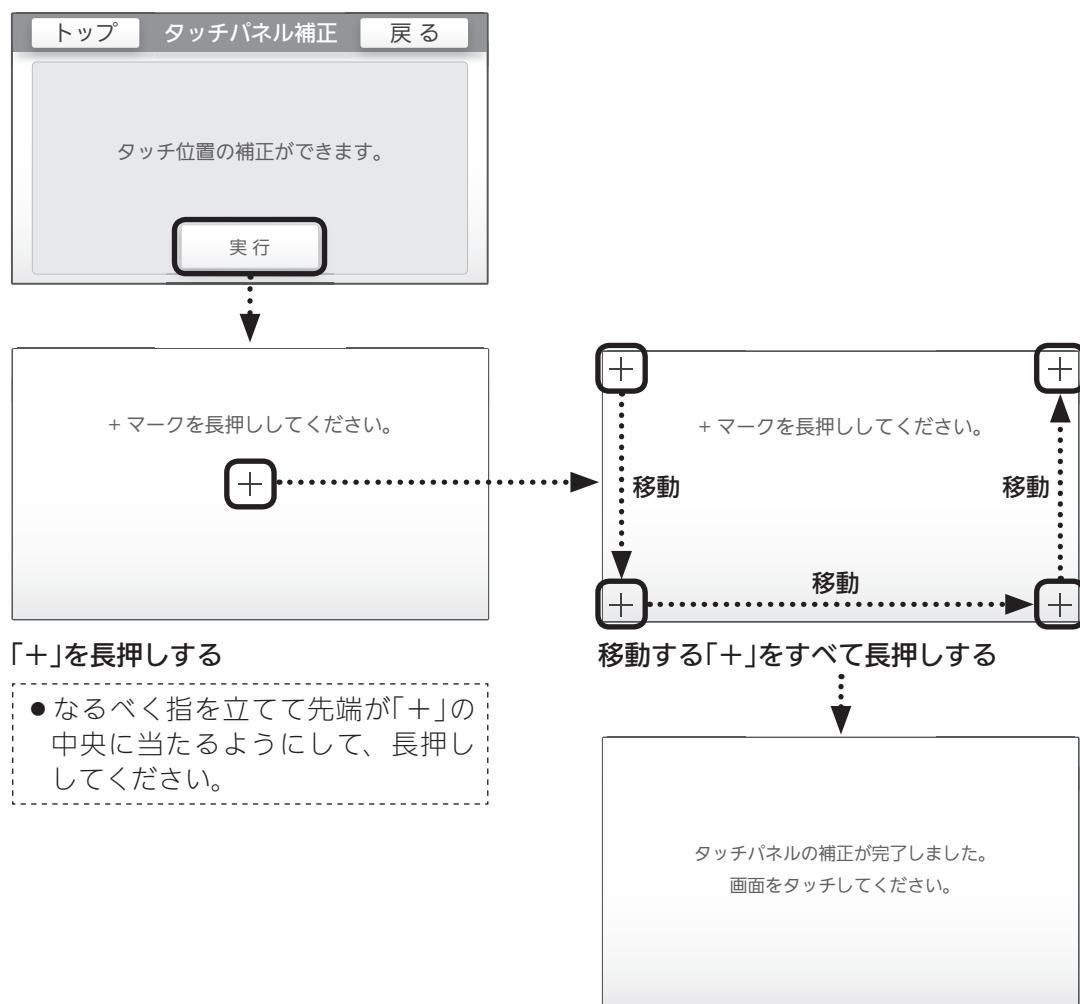
» しぐみ

- ON/OFFスイッチを押すか、操作後約10分経過すると、お手入れモードは解除されます。

タッチパネル補正

タッチパネル補正

タッチ位置のずれを直したいときに。



» しぐみ

- 画面をタッチすると、タッチパネル補正画面に戻ります。

★ヒント

- 完了の画面にならない場合は、指の一部が「+」の認識範囲以外の部分に先に触れている可能性があります。

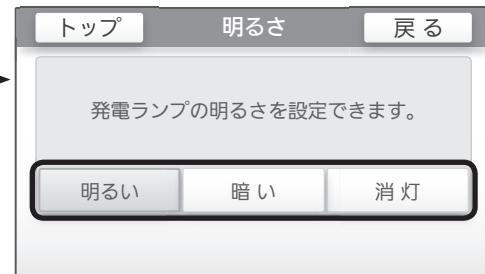
(つづく)

設定を変える／メニューから運転操作

(つづき)

発電ランプ

発電ランプ



- 日常的に使用電力が多く、発電ランプが頻繁にオレンジ色(節電お知らせ)になる場合などに、設定値を多めに設定してください。
- 逆潮流の場合は項目を表示しません。

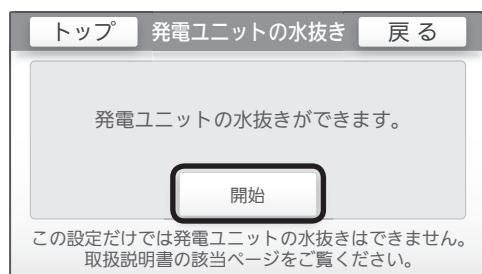


発電ユニットの水抜き

発電ユニットの水抜き

この設定だけでは発電ユニットの水抜きはできません。

必ず「エネファームtypeS燃料電池発電ユニット」の取扱説明書の該当ページをご覧ください。



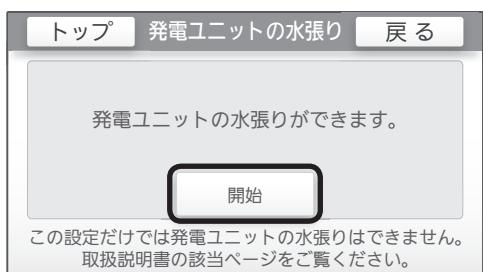
をする(つづき)

発電ユニットの水張り

発電ユニットの水張り

この設定だけでは発電ユニットの水張りはできません。

必ず「エネファームtypeS燃料電池発電ユニット」の取扱説明書の該当ページをご覧ください。

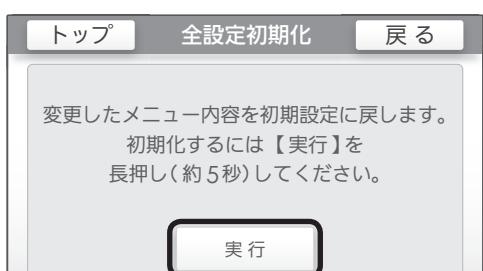


全設定初期化

全設定初期化

メニューの設定を初期設定に戻したいときに。

無線LAN対応の場合は、無線LANの設定も初期化されます。



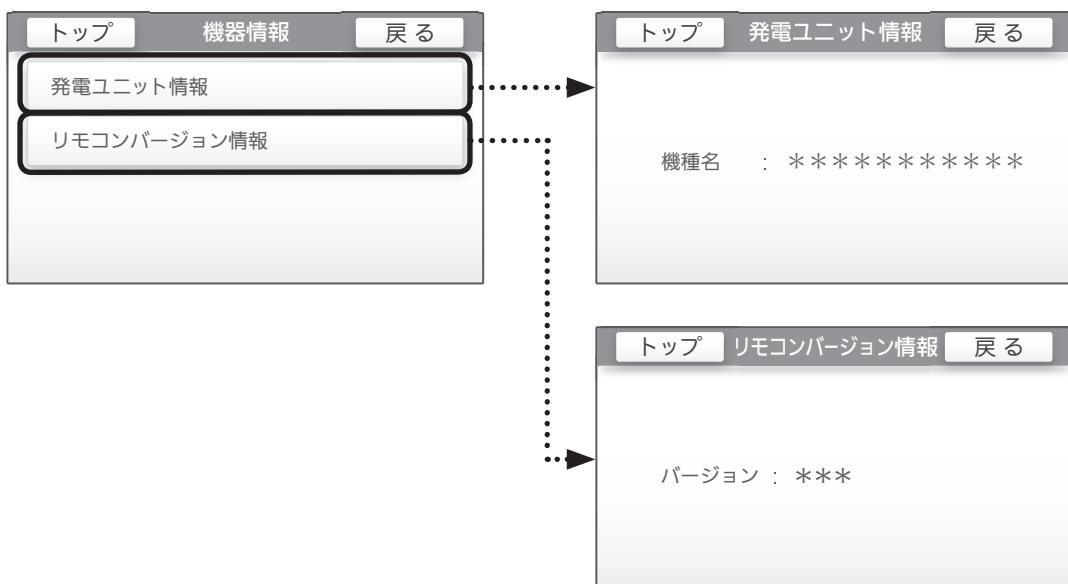
▶ 参照

- メニュー一覧の「全設定初期化」で初期設定に戻る項目(P31)
- 無線LAN設定編の取扱説明書「初期設定」

機器情報

機器情報

アフターサービスなどで必要なときに。



※「*」には英数字が表示されます。

こんなとき

リモコンのお手入れ

- リモコンの表面が汚れたときは、湿った布で軽くふいてください。
- ON/OFFスイッチが「切」でも、画面をタッチすると反応するしくみになっています。
画面のお手入れ時にリモコンの誤操作を防ぐためには、【メニュー】→【音・その他メニュー】→【お手入れ】(P39)の設定をしてください。

お願い

リモコンの掃除には、塩素系・酸性・アルカリ性の洗剤や研磨剤入りの洗剤、ベンジン・シンナーなどの有機溶剤、メラミンスポンジを使用しない
変色・変形・傷・割れなどの原因になります。

故障・異常かな？と思ったら

- 発電ユニットの取扱説明書の内容も併せてお読みください。

リモコンの表示や画面など

こんなときは	こんなことが考えられます	処置
ON/OFFランプが点灯しない	停電している。 発電ユニットの電源が切れている。	復旧を待つ。 電源の確認を。 (発電ユニットの取扱説明書)
日時がリセットされている	停電後または電源を切ったあとは、再通電したときに日時がリセットされている場合があります。	日時をあわせ直す。(P13)
表示の節電の状態にならない	音・その他メニューの「表示の節電」が、「しない」になっている。 または、「凍結予防中の節電」が「しない」になっている。 【自立運転機能付の場合】 自立運転中は、表示の節電はしません。	P37 異常ではありません。
リモコンの画面表示がいつのまにか消えている	リモコンの節電のため、「表示の節電」機能を備えています。ON/OFFスイッチを押したり画面をタッチしたりしないまま、約10分たつと表示が消えます。	以下の操作で表示の節電を解除できます。 ●画面をタッチする ●ON/OFFスイッチを押す
タッチしたところと違うところが反応する	片方の指で画面を触りながらもう片方の指で操作するなど、2点同時にタッチすると、正常に動作しません。 使用していくうちに、タッチの位置にずれが生じることがあります。	1か所だけタッチする。 「タッチパネル補正」でズレを調整する。(P39)
画面をタッチしても反応しない	画面に市販の保護シートなどを貼り付けると、正常に動作しないことがあります。	保護シートをはがす。
画面に黒い点や常に点灯している点がある	画面の液晶は高度な技術で作られていますが、一部に点灯しない点または、常時点灯する点が存在する場合があります。	異常ではありません。
リモコンのスイッチや表面のビニールが破れてきた、はがれてきた、浮き上がって空気が入っている	出荷時に表面に貼ってある保護のビニールは、はがさずに使用してはがして使用してもかまいません。はがさずに使用した場合は、よく触れる部分などが破れてきたりはがれてしまいますが、そこからリモコンに水が入って故障することはありません。	気になる場合は保護シートをはがす。
リモコンに  の表示が出て発電が止まっている	電気使用量が少ない状態が続いたため、発電を停止しています。	発電を再開できます。(P32)
リモコンに  の表示が出ている	この表示は約24時間出ます。その間、発電ユニットは停止し、ガスマイコンメーターがガスもれの有無を確認します*。24時間停止後は自動で運転を再開します。 ※詳細は、「エネファームtypeS燃料電池発電ユニット」の取扱説明書「ご使用方法 運転・停止について」をご参照ください。	すべてのガス機器(暖房を含む)を最低70分停止してください。
見る角度によっては画面が見えにくくなる	画面は正面からは見やすく、一定の角度を超えて画面を見ると見えにくい場合があります。	異常ではありません。
【逆潮流の場合】 「電圧抑制」の表示が出る	自宅につながれている送電線の系統の電圧が高くなりすぎたとき、発電ユニット側の電圧が法律で定められた上限値を超えないよう、発電ユニットの出力を抑えます。(このとき「電圧抑制」を表示します) 系統の電圧が正常範囲に戻ると、この機能は自動的に解除されます。	長時間表示が消えない場合は、電力系統側での対策が必要です。電力会社か、販売店または、もよりの大坂ガスに相談してください。

故障・異常かな？と思ったら(つづき)

リモコンにメッセージを表示したとき

内容	こんなことが考えられます	処置
「セルフチェックを実施しています。」と 「完了後、発電を自動的に再開します。」が 交互に出る	発電ユニットの異常を検知してセルフチェックを しています。この表示が出ている間は発電が停止 しています。	この表示が消えると発電を再 開します。
「暗証番号を入力してください。」	長時間停電したあとや、長時間電源を切っていた あとなどに、再通電してON/OFFスイッチを「入」 にすると、この画面になる場合があります。	暗証番号を入力してください。 (P45)
「ただいま表示をOFFにすることはできま せん。」	自立運転中や、故障表示中など、表示を消灯させ てはいけない状況のときにON/OFFスイッチを 「切」にすると、この表示が出ます。	操作可能な状態になると、こ の表示は出なくなります。
「発電ユニットの点検時期を過ぎています。」		販売店または、もよりの大坂 ガスに連絡してください。
「発電ユニットの点検時期が近づいています。」		
「発電ユニットの点検が必要です。」		
「発電ユニット停止までお待ちください。」		発電ユニットが停止し、「メ ンテナンスを依頼してく ださい。」のメッセージが表示され たら、販売店または、もよりの大坂 ガスに連絡してください。
「メンテナンスを依頼してください。」		販売店または、もよりの大坂 ガスに連絡してください。 (発電は停止しています)

自立運転に関して

こんなときは	こんなことが考えられます	処置	
停電中	電気機器の電源が 入らない	電気機器を通常のコンセントに接続している。 電気機器の使用電力が発電量を超えている。	電気機器を自立運転専用コン セントに接続する。
			使用する電気機器の数をすぐ に減らし、自立運転専用コン セントが使えるようになるま で待つ。(P28) 「自立用コンセントの出力が準 備できました。」とメッセージ が出ていているときは、メッセ ージに従って操作をする。(P28)
		自立運転が停止している。(P25)	停電が復旧するまで発電でき ません。
	リモコンのON/OFFス イッチが「入」にならない	自立運転が停止している。(P25)	停電が復旧するまで発電でき ません。
停電復旧後	お知らせ音(ピピッ)が鳴 り、「発電継続のために、 お湯を使ってください。」 の表示が出ている	貯湯タンクが満タンになって発電が停止するのを予防するた め、貯湯タンクが満タンに近づくと表示と音でお知らせしま す。	おふろのお湯はりをするなど して、お知らせ音と表示が消 えるまでお湯を使う。
	画面表示がいつのまにか 消えている	発電ユニットに不具合が生じた可能性があります。	停電復旧後、故障表示が出 ている場合は処置をする。(P46)
	電気機器の電源が 入らない	電気機器を「自立運転専用コンセント」に接続している。	電気機器を通常のコンセント に接続する。 停電が復旧すると、自立運転 専用コンセントへの電気の供 給が停止します。

リモコンに「暗証番号を入力してください」と表示したとき

長時間停電したあとや、長時間電源を切っていたあとなどに、再通電してON/OFFスイッチを「入」にすると、リモコンに下のような画面を表示する場合があります。
以下の手順で暗証番号を入力してください。

● メッセージと「発電X」が交互に出るとき



次の手順で、暗証番号を入力してください。

- ①【メニュー】をタッチ
- ②【お知らせ】をタッチ
- ③【暗証番号に関するお知らせ】をタッチ
- ④暗証番号入力画面で、
数字をタッチして2桁の暗証番号を入力



- ②【決定】をタッチして確定する
暗証番号がまちがっていると、メニュー
画面になるので、再度やり直す

※操作をせずに約10分放置すると、トップ画面に
戻ります。その場合は、【メニュー】から再度操
作をしてください。

● 暗証番号入力画面を表示したとき



- ①数字をタッチして
2桁の暗証番号を入力
- ②【決定】をタッチして確定する
暗証番号がまちがっていると、メニュー
画面になるので、再度やり直す

※操作をせずに約10分放置すると、トップ画面に
戻ります。その場合は、【メニュー】から再度操
作をしてください。

お知らせ

- はじめてお使いになるときに暗証番号を登録します。お忘れにならないよう、覚えやすい数字(例：電話番号の下2桁など)を登録してください。
- 暗証番号を正しく入力しないと、発電ユニットが機能しません。
- 暗証番号がわからなくなったらときは、販売店または、もよりの大坂ガスにご相談ください。

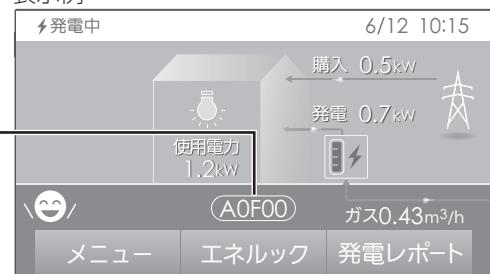
困ったとき

リモコンに故障表示が出ているとき <故障表示>

- 不具合が生じたとき、(発電エラー)と5桁の英数字が交互表示します。表示の内容と処置方法については、「エネファームtypeS燃料電池発電ユニット」の取扱説明書をご覧ください。

故障表示

表示例



ご参考

アフターサービスについて

- この取扱説明書の「故障・異常かな?と思ったら」と「エネファームtypeS燃料電池発電ユニット」の取扱説明書を調べていただき、なお異常のあるときは、販売店または、もよりの大坂ガスにご連絡ください。

お客さま保存版

無線LAN機能対応エネファーム



かんたん接続設定ガイド



リモコン
(138-N412)

エネファームのリモコンを
インターネットに接続することで、
エネファームの状態を大阪ガスが見守ります。

またスマートフォンを
リモコンに接続すると、
エネルギーのモニタリングが
できます。



無線LANルータ



スマートフォン

99大阪ガス

SHC803F



接続設定について

発電見守りサービスやスマートフォンアプリをご利用いただくためには、お客さま自身によるリモコンと無線LANルータの接続設定が必要です。

リモコンのガイダンスに従って操作するだけで、簡単に設定することができますので
本ガイドをご覧いただき、ぜひサービスの利用を始めてみてください。

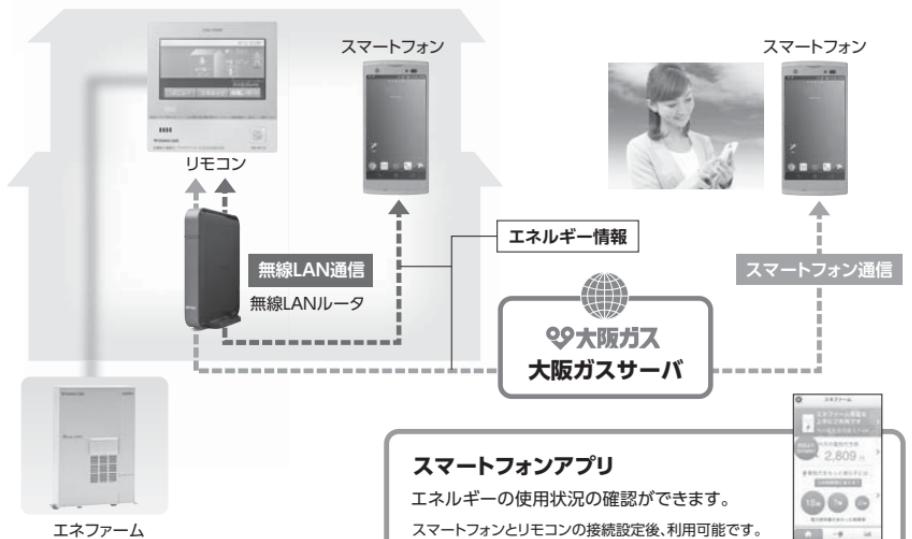
接続イメージ

手順 1

無線LANルータとの接続設定を行ってください。

手順 2

アプリをご利用の場合は
スマートフォンとの接続設定を行ってください。



スマートフォンアプリ

エネルギーの使用状況の確認ができます。

スマートフォンとリモコンの接続設定後、利用可能です。



接続手順

事前確認事項

1 インターネット環境の確認

P.2

2 無線LANルータの無線機能確認

P.2

.....アプリをご利用いただく場合.....

3 スマートфонのOS/バージョン確認とアプリのインストール

P.2

4 スマートфонと無線LANルータの接続確認

裏表紙

各種接続を設定

手順 1

リモコンと無線LANルータとの接続

P.3~4

手順 2

リモコンとスマートфонの接続

P.5~6

エネファームアプリを使う

アプリの機能紹介

P.7~8



ご利用スタート

事前確認事項

1 インターネット環境の確認

- 常時接続のインターネット環境があること。
- 無線LANルータを経由してインターネットに接続できる環境があること。

2 無線LANルータの無線機能確認

- 【必須】IEEE802.11bまたはg,n(nは2.4GHz帯のみ)に対応していること。

(b g n)などと表記されている場合もあります。)

※無線LANルータの本体(側面や背面)に貼付されているシールやパッケージの表示で確認できます。詳細は無線LANルータの説明書をご確認ください。



- 【必須】WPA2もしくはWPAの暗号化方式に対応していること。

- 【推奨】自動接続設定用のプッシュボタンがあること。(設定が簡単になります。)

★プッシュボタンには以下のような名称があります。

●AOSS2またはAOSS / ●らくらく無線スタート / ●WPS ※仕様を満たしても、エヌファームアプリが正常に動作しない場合があります。

アプリをご利用いただく場合

3 スマートフォンのOSバージョン確認とアプリのインストール

- iPhone………iOS7.0以上
- Android………OSバージョン4.0以上

※スマートフォンのバージョンは、「設定」→「端末情報」(「設定」→「一般」→「情報」)で確認が可能です。

機種によって操作が異なる可能性がありますので、詳細はスマートフォンの説明書をご確認ください。

※通信会社に指定はありません。※スマートフォン機種によっては利用できない場合があります。



「エヌファームアプリII」のインストール

「エヌファームアプリII」のインストール方法(例)

※機種・OSバージョンにより画面表示は異なることがあります。



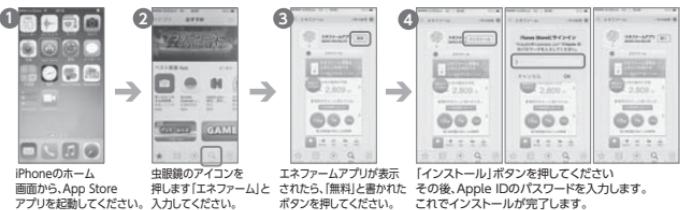
左のアイコンの

「エヌファームアプリII」をご利用ください。

iPhoneの場合



App Store



1

2

3

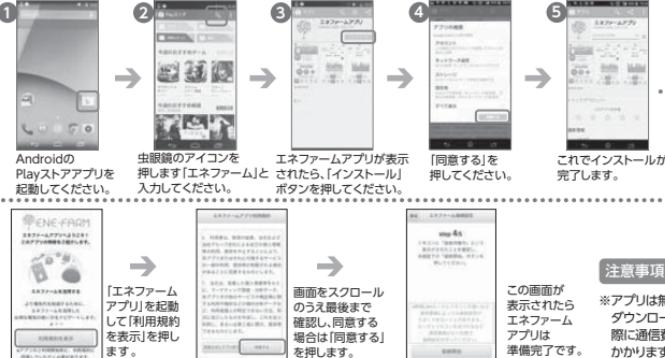
4

5

Android™の場合



Google Play™



1

2

3

4

5

注意事項

この画面が
表示されたら
エヌファーム
アプリは
準備完了です。

※アプリは無料ですが
ダウンロードの
際に通信費用が
かかります。

4 スマートフォンと無線LANルータの接続確認

- スマートフォンが無線LANルータにつながっていること。



分からぬ場合は裏表紙をご確認ください。

※詳細は無線LANルータ及びスマートフォンの説明書をご確認ください。

スマートフォンとの接続は

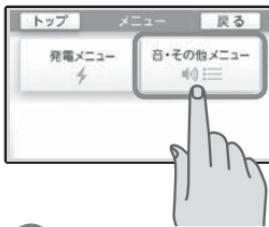
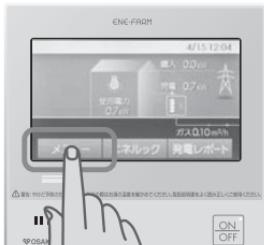
P.5

事前確認は以上です。

手順 1 へお進みください。

エネファームを無線LANルータに接続する

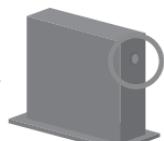
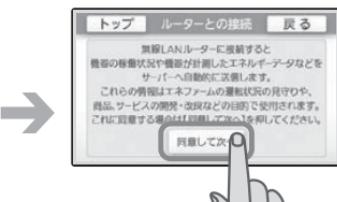
手順 1 リモコンと無線LANルータとの接続



1 リモコンの「メニュー」を押します。

2 「音・その他メニュー」を押します。

※設定をする前に必ずリモコンの時刻設定を行ってください。

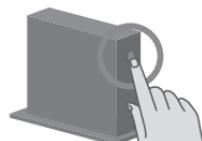
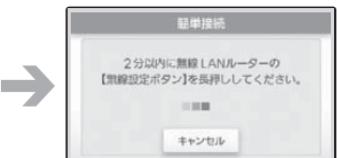
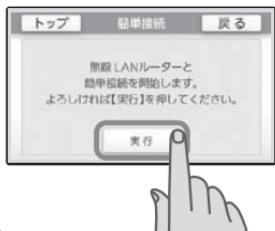


5 「ルーターとの接続」を押します。

6 利用規約画面が表示されますので
同意いただける場合は、「同意して次へ」を
押してください。

7 無線LANルータ
プッシュボタン

*イラストは一例です。

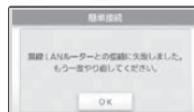


9 「実行」を押して、画面を進めます。

10 無線LANルータのプッシュボタンを自動設定が開始する
※自動設定の開始を確認する方法は無線LANルータに
※プッシュボタンの操作方法は無線LANルータにより異なり

参考: ⑩の後に以下の画面が出たら…

下記をご確認いただき、問題なければ再度設定を行ってください。



・リモコンと無線LANルータの距離は離れていないですか。

※無線LANルータが押し入れの中や、リモコンと違う階に設置されている場合、接続できない可能性があります。
接続時にはリモコンと無線LANルータを近づけてみてください。

リモコンの接続状態確認について

- 無線LANルータとの接続設定を行なうと、リモコンに接続状態が表示されます。接続設定後、右記画面で接続状態をご確認ください。

る

ガイダンスに従い、操作を行うだけで 簡単に接続できます。

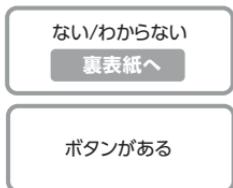


- ③ 「音・その他メニュー」の中から「無線LAN」を押します。



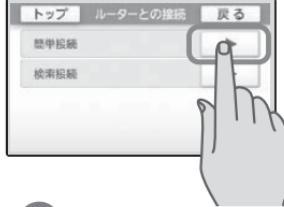
- ④ 「無線LAN」の中から「無線LAN設定」を押します。

※「無線LAN」の項目がONになっていることを確認してください。

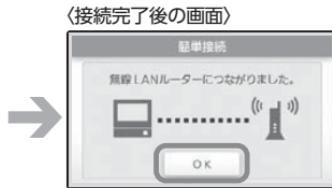
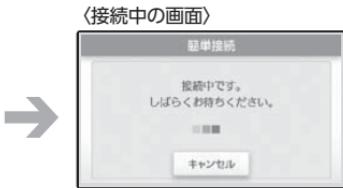


タに自動設定用の
★があるか確認します。

●プッシュボタンには以下のような名称があります。
●AOSS2またはAOSS / ●らくらく無線スタート / ●WPS



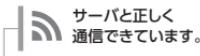
- ⑧ 「簡単接続」を押します。



まで押し続けてください。

よって異なります。(例:ランプが点滅)

ます。※プッシュボタンを押すと設定によっては既存の無線LAN機器の接続ができなくなることがあります。既存の接続設定方法を確認してから実行してください。



サーバと通信できていません。
無線 LAN ルーターとは接続できていますが、
サーバとの通信に失敗しています。
無線 LAN ルーターがインターネットに接続
されているかを確認してください。



■ 外
リモコンで無線 LAN ルーターの
電波を検知できていません。
・無線 LAN ルーターが正しく起動していますか。
・リモコンと無線 LAN ルーターの距離は
離れていないですか。

これで手順①は完了です。

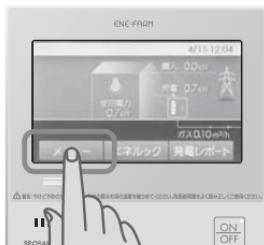
アプリをご利用いただく場合は

手順②へお進みください。

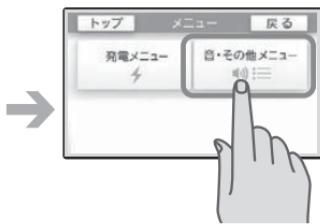
エネファームアプリを設定する

手順 2 リモコンとスマートフォンの接続

リモコンの操作



1 リモコンの「メニュー」を押します。



2 「音・その他メニュー」を押します。



3 「音・その他メニュー」の中から「無線LAN」を押します。

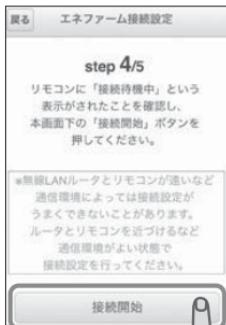
スマートフォンの操作

スマートフォンをリモコンと同じルータ・SSIDに接続してください。
※P9 Q1をご確認ください。
その他、事前準備については、
P2 ③をご確認ください。



7 「次の手順へ」を押し、step4までアプリ画面を進めます。

スマートフォンでエネファームアプリを立ち上げ「次の手順へ」



8 「接続開始」を押します。

ご注意 リモコンは ⑥ の状態で一定時間スマートフォンからの接続開始を待ちます

一定時間を超えるとタイムアウトしますので ⑦～⑨の操作をそれまでに実施してください

スマートフォンは最大
10台まで接続可能です。

※ただし複数台のスマートフォンから同時に操作を行う場合、通信環境によってはアプリの動作が不安定になる場合があります。

すでに手順1の「リモコンと無線LANルータの接続」を完了されている場合は、手順2の操作のみでアプリをご利用いただけます。

リモコンからサーバへの通信がしばらく途切れの場合、スマホとリモコンの接続が解除されることがあります。リモコンの通信状況を確認のうえ、再度手順2を実行してください。

参考:以下の画面が出たら…

リモコン画面



① 上記の画面が出たら
「OK」を押します。

② 上記をご確認いただき、問題なければ
手順2の①より設定しなおしてください。

→ 無線LANルータ、またはリモコン付近に電波を妨害するものがないかもしれません。

*電子レンジ動作時は通信できない場合があります。

*スマートフォンとリモコンが同一のSSIDに接続されていますか。

*SSIDについての詳細はP9 Q1をご確認ください。

→ 手順 2

スマートフォン画面



ガイダンスに従い、操作を行うだけで 簡単に接続できます。



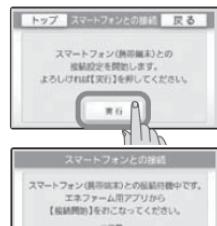
手順 1 より続けて設定する方はここから



4 「無線LAN」の中から
「無線LAN設定」を押します。



5 「スマートフォンとの接続」を
を押します。

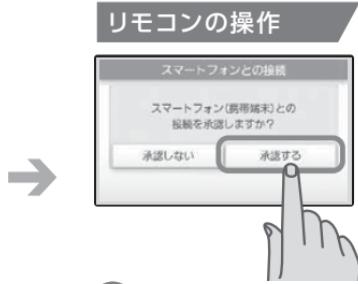


6 指示に従いこの画面になつたら、
次にスマートフォンを操作します。

へ」を押して進みます。



9 アプリ画面にstep5が表示されたことを確認します。
※表示まで30秒程度かかる場合があります。



10 「承認する」を押します。

先の画面の内容を
ご確認いただき、
問題なければ
「もう一度試す」を
押して手順の
①より設定しなおし
てください。

→ 手順 2

準備完了 ご利用 スタート!



エネファームアプリを使う

エネファームアプリがあなたの電気の使い方を

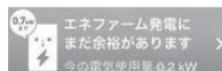
エネファームは最大で発電できる量が決まっています。(最大発電量0.7kW)
この最大発電量を上回って電気を使用している時間に節電を行うことで、
より効果的に電気代を削減することができます。

現在の電気使用状況

画面上段

現在の電気の使用状況を色でお知らせします。4種類の色で現在の状態をチェックして、お得な電気の使い方を考えてみてください。

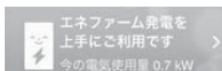
電気使用量 0.3kW以下



エネファームの発電にまだ余裕があります。

電気使用量が少なく、エネファームの発電能力にまだ余裕があります。この表示がされている時に家電を使用するのがお得です。

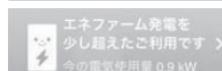
0.7kW以下



エネファーム発電を上手にご利用です。

電気使用量を全てエネファームの発電で賄えています。またエネファームの発電能力を活用できているので、上手にご利用いただけています。

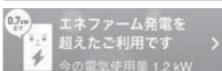
0.7kWから1.2kWまで



エネファームの最大発電量を少し超えたご利用です

電気使用量が0.7kWを超えており、オレンジの警告色になります。あと少しだけ電気の使用を控えると購入電気をなくすことができます。

1.2kW以上



エネファームの最大発電量を超えたご利用です

電気使用量が1.2kWを超えており、赤の警告色になります。できる限り電気の使用を控えると電気代を削減することができます。

今月の電気代予測

画面中段

当月の電気代予測(目安)を表示します。この電気代予測を目安に、一ヶ月の電気使用の計画をお考えください。前回アプリを起動した時点よりも電気代が下がる予想になった場合には「前回よりdown」というアイコンでお知らせします。

TOP画面

エネファーム

エネファーム発電を上手にご利用です
今のお電気使用量 0.7 kW

前回よりDOWN!
11月の電気代予測
2,809 円

電気代をもっと減らすには...
この時間帯に省エネ!

18時

7時

20時

電力使用量が多かった時間帯



トップ



現在状況



履歴

節電おすすめ時間

画面下段

電力会社からの購入電気量が多い時間順に表示します。この時間に節電すると、無理なく購入電気を減らすことができてお得です。また、電気使用量が多いほど、円の大きさが大きくなります。

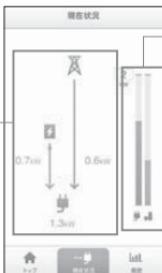
注意事項

- リモコンの通信状況やアプリの利用頻度によっては全てのデータが取得できない場合があります。
- アプリに表示されるエネルギー消費量は、リモコンやスマートフォンの日時が正しく設定されていないと、アプリの表示が正常にできません。

ナビゲートします!

現在 状況

★メニュータブからもリンク
現在の電気使用量や発電量がひと目で分かります。
※現在状況は宅内でのみ表示可能です。



- グラフ表示 電気使用量と発電量をグラフで比較表示

：エネファームの発電量をグラフで表示します。

：ご家庭での電気使用量をグラフで表示します。

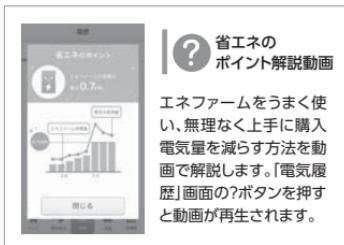
- ：グラフの上限(KW)を表示します。数字をタッチすると、上限の変更が可能です。

※上限よりも電気使用量・発電量が多い場合は、点線で表示。

電気使用・発電・売電状況を表示。10秒周期で更新します。

エネファーム レポート

前月の電気使用量や発電量、
エネファーム設置後の発電量などが確認できます。



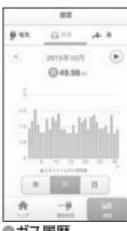
エネルギー 履歴

★メニュータブからもリンク
過去のエネルギー情報を分かりやすく表示します。



- グラフ表示 発電量と電気使用量をグラフで表示します。
 - エネファーム発電量
 - 電気使用量

ガス履歴では、エネファームで消費したガス消費量を表示します。



- 表示単位 表示する期間を変更できます。
※選択されている期間は青色で表示。
年: 単年ごとの電気代を表示します。
月: 単月ごとの電気代を表示します。
日: 単日ごとの電気代を表示します。
グラフは月単位で表示します。
グラフは日単位で表示します。
日: 時間単位のグラフを表示します。

リモコンに保存しきれない
過去のデータも閲覧可能です。

なんでも

Q&A



エネファームアプリや
無線LANルータ接続についての疑問に
わかりやすくお答えいたします。

Q1

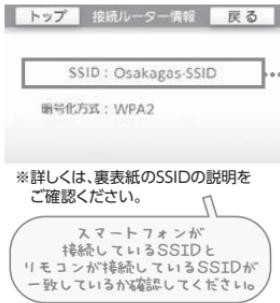
手順② 「リモコンとスマートフォンの接続」が完了できません。



A

正しく操作をしていただいても通信環境によっては正常に完了できない場合が
ありますので、何度かスマートフォンとリモコンの接続をお試しください。また、
スマートフォンとリモコンが同一のSSIDに接続されていることをご確認ください。

リモコン



iPhoneの場合



Android™の場合



Q2

手順通りに操作をしても
接続設定がうまくできません。

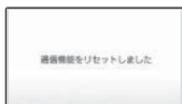


A

以下の手順を順番に
ご確認ください。

② リモコン設定メニューから「通信機能のリセット」を実施してください。

- リセット後、通信が可能になるまで数分程度かかる可能性があります。
- 通信機能のリセットによって各種設定が削除されることはありません。



① 無線LANルータを台所リモコンに近づけてから再度設定を実施してください。

- 無線LANルータが押し入れの中や、リモコンと違う間に設置されている場合、リモコンが検知できる電波が弱くなり接続できない可能性があります。



③ 無線LANルータの電源を一度切り、電源を入れなおした後で接続設定を実施してください。

- 無線LANルータの電源を切ることで、お客様がお使いの他の通信機器に影響がないかを確認したうえで実施してください。
- 無線LANルータの再起動には、一般的に5分程度かかります。



Q3

アプリの動作が不安定です。



A

複数台のスマートフォンから同時にアプリをご使用になると通信が不安定になる場合があります。

また、ご家庭の通信環境によってはアプリの通信が不安定な状況になることがあります。



Q4

電気履歴でデータが0の箇所があります。



A

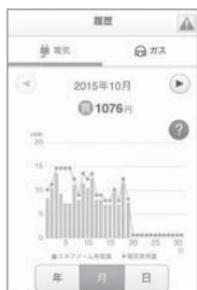
エネファームリモコンの状態によってはデータが0で表示される場合がありますが異常ではありません。

リモコンからデータが取得できていない場合、アプリのエネルギーデータが0で表示されます。データを取得できない原因としては以下の場合が考えられます。

・アプリを長期間利用していないかった。

・リモコンの通信状態が悪く、サーバにデータを送信できていなかった。

・スマートフォンがインターネットにつながっていない状態でアプリを起動した。



Q5

エネファームアプリを検索すると2種類のアプリが出てきました。どちらのアプリも使えるのでしょうか。

A

「エネファームアプリII」のみご利用いただけます

お使いのエネファームでは右のアイコンの「エネファームアプリII」のみご利用いただけます。



アプリに表示されるエネルギー料金と実際の請求金額が違います。

A

実際のエネルギー会社からの請求金額と全く同じになるとは限りません。

アプリでは電力会社・ガス会社の料金をサーバから取得して自動で計算をしますが、実際のエネルギー会社からの請求金額と全く同じになるとは限りません。1か月の区切り方が違う、計測方法が違うなどの理由で、実際の請求金額とアプリに表示される料金が異なる可能性があります。また設定によってはリモコン上の料金表示とも異なる可能性があります。



Q7

接続設定がうまくいかなかった場合、どこに問い合わせすればいいですか？

A

大阪ガスグッドライフコールまでお問い合わせください。

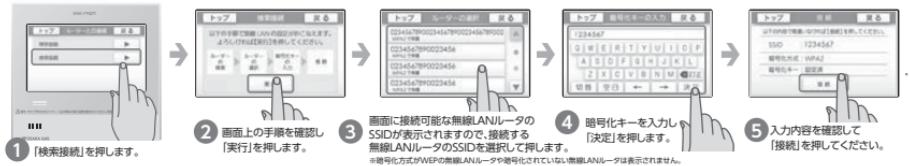


グッドライフ
コール
フリーダイヤル
0120 000-555

リモコンと無線LANルータの接続 ~無線LANルータに接続設定用のプッシュボタンがない(またはわからない)場合~

●無線LANルータに接続設定用のプッシュボタンがない(またはわからない)場合は以下の手順で設定を行ってください。

リモコンの操作



(接続中の画面)



(接続完了後の画面)



リモコンと無線LAN
ルータとの接続は
これで完了です。

P.5の

手順 2

へお進みください。

[SSID]

SSIDは無線LANルータを接続するための起
動のよ�名です。無線LANルータの機能
面で記載されておりますので確認ください。
※SSIDは、(ネットワーク)や「ネットワーク」と呼ばれるこ
とがございます。

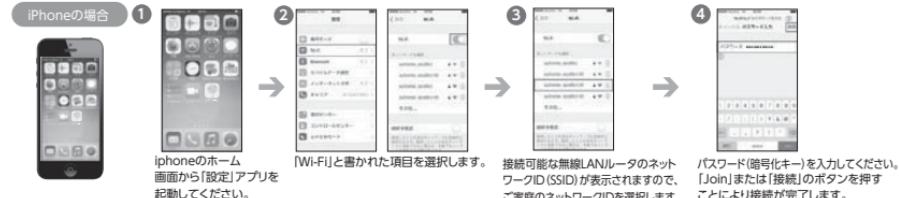


[暗号化キー]

暗号化キーとは、無線LANルータに接続する
ためのパスワードになります。無線LANルータの
側面や底面に記載されておりますので確認く
ださい。

*「暗号化キー」は、「パスワード」と呼ばれることがあります。

スマートフォン(iPhone／Android)と無線LANルータは以下の手順で接続してください。



注意事項

※インターネット環境:無線LANルータ・スマートフォンはお客様までご準備ください。(機種により正常に動作しない場合があります。)
※スマートフォンアプリはAndroid4.0以上、およびiOS7.0以上のOSに対応しています。(タブレットには対応していません。)

※無線LANルータはWPA2/WPAの暗号化方式に対応したものが必要です。

※リモコントの無線機能はIEEE802.11b/g/n(11b/g/nは2.4GHz帯のみ)に対応しています。左記に対応する無線LANルータをご準備ください。
※スマートフォン・リモコンの無線LAN接続設定はお客様まで実施ください。

※ご使用の無線LANルータ、スマートフォン、通信環境によってはご利用できない場合があります。

※サービスのご利用には常時接続のインターネット環境が必要となります。常時接続のインターネット環境がない場合、一部機能がご利用
できません。

※インターネット、スマートフォンのご利用に関する料金はお客様自身でお支払いください。

※燃料電池発電ユニットのソフトウェアを大阪ガスサーバから自動的にダウンロードし、更新する場合があります。

※サービス内容などは予告なく変更することがあります。

お気軽にお電話ください

大阪ガスグッドライフケル

フリーダイヤル
0120-000-555
【受付時間】月～土 8:00～21:00/日・祝 9:00～21:00

■「iPhone」「App Store」は、Apple Inc.の登録商標です。■「Android」「Google Play」は、Google Inc.の登録商標です。■この冊子の情報は、2016年4月現在のものです。変更することがありますのでご了承ください。■印刷色のため色調などは多少異なることがあります。■商品写真については実物と異なる場合があります。■この冊子の内容を許可なく転載することを禁じます。